

美術年報

1997



徳島県美術家協会

徳島県美術家協会美術年報

目 次

はじめに	徳島県美術家協会長 佐野 比呂志	1	
徳島県美術家協会規約		3	
平成6年度事業報告		4	
平成7年度事業報告		7	
役員名簿(平成7・8年度)		10	
徳島県美術展開催運営要項		16	
第51回県展記録		20	
徳島県美術展審査員一覧		28	
第50回記念県美術展出品・入選等状況		32	
第51回県美術展出品・入選等状況		33	
第4回放美展記録		34	
第5回放美展記録		38	
各部記録(平成7・8年度)			
・日本画部	部会長代行 中川 健	44	
・洋画部	部会長 永山 隆二	48	
・写真部	部会長 西條 征二	60	
・彫刻部	部会長 松永 勉	68	
・美術工芸部	部会長 山上 馨	72	
・書道部	部会長 新居 藍州	79	
・デザイン部	部会長 福井 章	87	
会員名簿			
・日本画部	96	・美術工芸部	106
・洋画部	98	・書道部	107
・写真部	102	・デザイン部	120
・彫刻部	105		
第50回記念徳島県美術展(県展)公募規定			122
第51回徳島県美術展(県展)公募規定			123
第50回記念県美術展特別・招待・無鑑査・賛助出品者名			124
第51回県美術展特別・招待・無鑑査・賛助出品者名			126

あとがき

はじめに

平成7年、春の放美展もいよいよ軌道にのり、第4回展が盛会のうちに無事終了した。5月3日(水)～7日(日)の祝日を入れた会期、郷土文化会館の会場には鑑賞を楽しむ愛好者がとだえることがなく、目的が十分達成できた。

秋11月には恒例の第50回記念県美術展が実施された。第1期書道部門、11月11日(土)～18(土)、第2期は日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、デザインの6部門、11月20日(月)～26日(日)の期間。展示総数1362点、各部門1名の記念大賞も設け、図録も大賞作品はカラー写真で掲載され、面目を一新し、50年の大いなる節目としての記念展となる。

平成8年第5回放美展は、5月8日(水)～12日(日)の5日間の会期、5回という節目の展覧会でもあり、県民にも春の公募展としてすっかり定着し盛会となった。第6回展もすでに日程その他の計画も決定していることとて、更に進展を続けていくよう努力を重ねていく覚悟である。

第51回県美術展は、第1期が日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、デザインの6部門で、11月10日(日)から17日(日)まで開催され、第2期が書道で、11月19日(火)から26日(日)まで開催されて、展示総数1242点、年を重ねてさすがに内容は充実、各部門の審査員も等しく高いレベルであると評された。これもひとえに、出品者の方々が、県展の宿命でもある厳選にも負けずに、挑戦を続ける真摯な努力にほかならない。出品者の皆様にあらためて敬意を表する次第である。なお第51回展からあらためて奨励賞を新設することになった。

次に各部門における活動や、関係美術団体、個人の活躍も例年におとらず、県美術文化振興のために大きな足跡を残したことを心からよろこびたい。

個人の活躍のうち特記しておきたいことを次にあげる。

平成8年2月に、橋本正弘展が、日展入選作品の大作20点を並べ、特に注目をあび、好評であった。続いて3月に桐島豊子個展、5月に毛利谷子個展、三谷ミヤ子個展と女流作家のいちじるしい活躍を見た。7月には、日展で特選も受賞した彫刻の上田久利氏も個展を開き、秋は乾繁春展とつづき多くの観賞者をよろこばせた。

中央展での活躍もこの年は、活気的であった。彫刻の笠井正彦氏が、第31回昭和会展で日動美術財団賞、更に美協理事でもある井下俊作氏が、第15回安田火災美術団奨励賞展で、見事最高賞の優秀賞に輝いたことは、心からおよろこびを申しあげる。なお秋には第35回日本現代工芸美術展で、多智花佐代子さんが、現代工芸会員賞を受賞し、審査員の資格を得ることになった。また写真部の理事荒井賢治氏が、二科展で推薦に選ばれ会友となったことも見事である。更に第28回日展書道部門で日展入選18回の堂々たる経歴をもつ勝瀬景流氏が、念願の特選を受賞し、県内在住者で文展も含めて日展特選受賞者は、初めての快挙を成しとげた。あらためて衷心より祝福申し上げる。協会員の今後ますますの活躍と進展を祈念してやまない。

続いて追悼のことばとなるが、県展彫刻部門の初期、10回の長期にわたり審査員として活躍され、県美術界の最長老彫刻家太田三郎先生が、2月5日94才で死去された。先生は徳島公園「小便小僧」の作者として、県民に広く敬愛されていた。先生の彫刻家としての名声は県民の誇りとしても末永く残ることを信じる次第である。次に美術工芸の理事として、県美協美術工芸部門の中心的存在であった森浩さんが63才で急逝された。大谷焼に現代感覚を吹きこみ、美術工芸の域にまで成しとげたその功績は大きいといえる。心から哀悼の意を表する。

さいごに四国放送（放美展）、徳島新聞社（県展）、並びに美術家協会の皆様方の御発展を祈り、はじめのことばとする。

平成 9 年 3 月

県美術家協会会長

佐 野 比 呂 志

徳島県美術家協会規約

昭和23.	9. 12	規約制定
32.	7. 14	新規約制定
33.	4. 29	規約一部改正
42.	4. 23	〃
46.	4. 29	〃
47.	5. 29	〃
49.	8. 22	〃
52.	7. 23	〃
56.	5. 5	〃
58.	6. 5	〃
61.	6. 21	〃
平成4.	6. 27	〃
	6. 6. 25	〃

第1章 総 則

第1条 本会は徳島県美術家協会と称し、事務所を徳島市内におく。

第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。

第3条 本会は徳島県に関係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。

- ①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫刻
⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン

第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。

- (イ)展覧会 (ロ)講習会 (ハ)講演会
(ニ)観光美術の振興 (ホ)その他必要な事業

第2章 役員および会員

第5条 本会に次の役員をおく。

- 会 長 副会長（2名）
理 事（若干名） 監 事（2名）

会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員任期は2年として留任をさまたげない。

第6条 本会は顧問、参与および名誉会員を理事会の推せんによりおくことができる。

第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。監事はこの会の経理を監査する。

第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計会務の報告、役員選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。

総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあつては3名、

31名以上の部にあつては、さらに10名毎に1名選出できる。

第9条 理事会は必要に応じ会長が招集し総会の決議による会務および緊急事項を執行する。

第3章 部 会

第10条 各部に次の役員をおく。

- 部会長・委員（部会員数の3割以内）
部監事（2名）

役員は部総会で選出する。役員任期は2年とし留任をさまたげない。

第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計会務の報告、役員選出その他重要事項の審議を行う。

ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。

第12条 委員会は必要に応じ部会長が招集し部会務を執行する。

第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。

第14条 各部の経費は部会1人当たり、1,550円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

第4章 経 費

第15条 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。

第16条 会費は年額3,100円とし、入会金は1,000円とする。

第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(参 考)

☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内置く。

☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館（徳島公園内の県立図書館）内へ移す。

☆昭和25年12月18日 協会バッヂを選定（図案は塚塚副会長）

☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事（3名～4名）によることとする。

☆昭和46年4月29日 6部（日本画・洋画・写真・彫塑・美術工芸・書道）のうえに商業美術（58年度からデザインに改称）が加わり7部組織となる。

平成6年度 事業報告

- (1) 総 会
 - 平成6年6月25日
 - 県郷土文化会館 小ホール
 - 平成5年度事業報告及び決算報告
 - 監査報告・承認
 - 規約改正
 - 平成6年度事業計画及び予算審議
 - その他
- (2) 理 事 会
 - 平成7年2月25日 県展、放美展、県文化奨励賞等について
- (3) 第49回県美術展
 - 第1期 平成6年11月9日(水)～16日(水)
前期 11. 9～11. 12
後期 11. 13～11. 16 書道の602点展示
 - 第2期 平成6年11月18日(金)～23日(水)
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・デザインの617点
展示
 - 第49回展受賞者表彰式
平成6年11月13日(日) 県郷土文化会館 第8会議室
- (4) 第3回放美展
 - 平成6年4月27日(水)～5月1日(日)
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道・デザインの
514点展示
 - 受賞者表彰式
平成6年4月29日(金) 県郷土文化会館 第8会議室
- (5) 美術年報の発刊
 - 県展記録、各部門の歩み、会員名簿など
- (6) そ の 他
 - 第49回県展運営委員会・県展事務局員会議
(平成6. 5. 14、6. 9. 17、6. 12. 24)
 - 第49回県展運営委員会
(平成7. 2. 18)
 - 県展50年記念誌編集委員会
(平成6. 5. 14、7. 2. 18)
 - 第3回放美展運営委員会
(平成6. 4. 16、6. 6. 11、6. 12. 17、7. 1. 28)

◦ 県芸術祭移動県展

牟岐会場（6. 11. 25～28）

海部会場（6. 11. 30～12. 4）

鴨島会場（6. 12. 6～9）

穴吹会場（6. 12. 11～14）

(7) 各代会行事

◦ 日本画部

第49回新作日本画展（6. 7. 1～3）68点出品 県郷文

◦ 洋画部

第9回洋画部会展（6. 6. 2～5）74点出品 県郷文

◦ 写真部

「姫路城」撮影会（6. 6. 5）34名参加

◦ デザイン部

デザイン展「ごみを考える」（6. 9. 7～11）40点出品
文化の森21世紀館

(8) 各種後援

- 第9回正峰会書作展（6. 4. 15～4. 17）
- 第18回全美展（6. 4. 21～4. 24）
- 渭東カメラクラブ写真展（6. 4. 22～4. 24）
- 第38回成蹊書道会展（6. 5. 3～5. 5）
- 第10回チャリティー田中双鶴書作展（6. 5. 3～5. 9）
- 第8回四国大学書道コース教員9人展（6. 5. 20～5. 22）
- 第17回写真同人「炎」作品展（6. 5. 20～5. 22）
- 第17回八虹展（6. 6. 2～6. 5）
- 第49回新作日本画展（6. 7. 1～7. 3）
- 第10回あすなろグループ美術展（6. 7. 1～7. 3）
- 第53回世代美術展（6. 7. 21～7. 24）
- 上田溪水書作展（6. 7. 28～7. 31）
- 第10回徳島美術学院15周年特別記念展（6. 8. 3～8. 8）
- 第18回キッキング18人展（6. 8. 5～8. 7）
- 第15回日展徳島展（6. 8. 6～9. 4）
- 第57回書芸院展（6. 9. 1～9. 4）
- 第3回砂光篆会作品展（6. 9. 2～9. 4）
- 第7回阜玄書道会展（6. 9. 2～9. 4）
- 高橋敬ふるさと散歩スケッチ展（6. 9. 5～9. 8）
- 第20回克展（6. 9. 9～9. 11）
- 第23回徳島雪心会書作展（6. 9. 15～9. 18）
- 第24回直心会展（6. 9. 16～9. 18）

- 第12回双愛書道会作品展 (6. 9. 21～9. 23)
- 第24回東玄書道会展 (6. 9. 23～9. 25)
- 第21回旺玄会徳島支部展 (6. 9. 28～10. 2)
- 第49回青美展 (6. 9. 29～10. 2)
- 第17回泉心会書作展 (6. 9. 29～10. 2)
- 第 6 回睦月会書展 (6. 10. 10～10. 12)
- 第 9 回藍美展 (6. 10. 27～10. 30)
- 第 2 回聖邨一門書作展 (6. 10. 29～10. 31)
- 新居藍州書作展 (6. 10. 29～10. 31)
- 第26回石井美術の会作品展 (6. 10. 29～10. 31)
- 第39回成蹊書道会小品展 (6. 11. 5～11. 7)
- 第15回書研社展 (6. 11. 12～11. 14)
- 第25回ナルトぴんぼけクラブ写真展 (6. 11. 23～11. 25)
- 第12回中央絵画クラブ展 (6. 12. 1～12. 4)
- 大耿会書作展 (6. 12. 2～12. 4)
- 第29回書道研究清潮書作展 (6. 12. 7～12. 9)
- 第23回歳末チャリティー色紙・作品即売展 (6. 12. 16～12. 18)
- 第24回四国大学書道クラブ学外展 (6. 12. 16～12. 18)
- 第15回清水亟愼(年越し)油絵個展 (6. 12. 27～7. 1. 9)
- 第21回桂鳴書展 (7. 2. 10～2. 12)
- 第20回四国大学文学部書道コース卒業制作展 (7. 2. 24～2. 26)
- 第 4 回一書展 (7. 3. 10～3. 12)
- 第26回ナルトぴんぼけクラブ写真展 (7. 3. 19～3. 21)
- 第13回書道研究所書作展 (7. 3. 24～3. 26)

平成7年度 事業報告

- (1) 総 会
 - 平成7年6月24日
 - 県郷土文化会館 5F第7会議室
 - 平成6年度事業報告及び決算報告
 - 監査報告・承認
 - 役員改選
 - 平成7年度事業計画及び予算審議
 - その他
- (2) 理 事 会
 - 平成7年8月30日 県展、放美展、県文化奨励賞等について
 - 平成8年3月23日 県展検討委員会の結果等について
- (3) 第50回記念県美術展
 - 第1期 平成7年11月11日(土)～18日(土)
前期 11.11～11.14
後期 11.15～11.18 書道の609点展示
 - 第2期 平成7年11月20日(月)～26日(日)
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・デザインの753点
展示
 - 第50回記念展受賞者表彰式
平成7年11月10日(金) ホテルクレメント徳島
- (4) 第4回放美展
 - 平成7年5月3日(水)～5月7日(日)
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道・デザインの
550点展示
 - 受賞者表彰式
平成7年5月3日(水) 県郷土文化会館 第7会議室
- (5) 「徳島県美術展50年の歩み」刊行準備
 - 各部会から2名の編集委員が選ばれて準備する
- (6) そ の 他
 - 第50回記念県展運営委員会・県展事務局員会議
(平成7.5.20、7.9.9、7.12.13)
 - 第50回記念県展運営委員会
(平成8.2.17)
 - 第4回放美展運営委員会
(平成7.4.22、7.6.10、7.12.9、8.2.3)

- 県芸術祭移動県展
 - 穴吹会場（7. 11. 29～12. 4）
 - 鴨島会場（7. 12. 8～12. 10）
 - 那賀川会場（7. 12. 12～12. 18）

(7) 各部会行事

- 日本画部
 - 第50回新作日本画展（7. 6. 23～25）県郷土文化会館
- 洋画部
 - 第10回記念洋画部会展（7. 6. 1～4）県郷土文化会館
- デザイン部
 - デザイン部会展（7. 9. 19～24）県立近代美術館
 - 干支「子」展（7. 12. 20～8. 1. 6）徳島市シビックセンター

(8) 各種後援

- 現代日本画秀作展（7. 4. 5～4. 25）
- 美馬準一・幾美賀カップル展（7. 4. 14～4. 16）
- 第19会全美展（7. 4. 20～4. 23）
- 第10回記念正鋒会書作展（7. 4. 28～4. 30）
- 第11回チャリティー田中双鶴書作展（7. 5. 2～5. 8）
- 第9回荒井天鶴個展（7. 5. 11～5. 14）
- 第13回中央絵画クラブ展（7. 5. 18～5. 21）
- 第9回四国大学書道コース教員9人展（7. 5. 26～5. 28）
- 第40回成蹊書道会展（7. 6. 16～6. 18）
- 第18回写真同人「炎」作品展（7. 6. 23～6. 25）
- 第50回新作日本画展（7. 6. 23～6. 25）
- 第18回八虹展（7. 7. 13～7. 16）
- 第2回大耿会書作展（7. 7. 14～7. 17）
- 第1回6書展（7. 7. 18～7. 21）
- 第54回世代美術展（7. 7. 20～7. 23）
- 第11回あすなろグループ美術展（7. 8. 4～8. 6）
- 第19回／95 18人展（7. 8. 11～8. 13）
- 第58回書芸院展（7. 9. 7～9. 10）
- 第13回双愛書道会作品展（7. 9. 8～9. 10）
- 第18回泉心会書作展（7. 9. 14～9. 17）
- 第24回徳島雪心会書作展（7. 9. 15～9. 17）
- 第25回記念直心会書展（7. 9. 15～9. 17）
- デザイン部25周年記念部会展（7. 9. 19～9. 24）

- 第4回砂光篆会作品展 (7. 9. 22～9. 24)
- 第8回阜玄書道会展 (7. 9. 22～9. 24)
- 第40回書協人展 (7. 9. 22～9. 24)
- 第22回旺玄会徳島支部展 (7. 9. 23～9. 25)
- 第27回石井美術の会作品展 (7. 9. 28～10. 1)
- エナジー95／第1回徳島県障害者芸術祭 (7. 9. 28～10. 2)
- 第21回克展 (7. 9. 30～10. 2)
- 第25回東玄書道会展 (7. 10. 5～10. 8)
- 第50回記念青美展 (7. 10. 5～10. 8)
- 第3回聖邨一門書作展 (7. 10. 27～10. 29)
- 第30回書道研究清潮書作記念展 (7. 11. 1～11. 3)
- 第10回藍美展 (7. 11. 2～11. 5)
- 第7回睦月会書展 (7. 11. 4～11. 6)
- 井上翔写真展 (7. 11. 25～11. 27)
- 第16回書研社展 (7. 12. 1～12. 3)
- 第11回徳島美術学院展 (7. 12. 13～12. 18)
- 第24回歳末チャリティー色紙・作品即売展 (7. 12. 15～12. 17)
- 第25回四国大学書道コース学外展 (7. 12. 15～12. 17)
- 中川定典写真展 (7. 12. 15～12. 17)
- デザイン部会員干支「子」展 (7. 12. 25～8. 1. 6)
- 退教協作品展 (8. 1. 29～8. 1. 31)
- 第14回書道研究所書作展 (8. 2. 2～2. 4)
- 第22回桂鳴書展 (8. 2. 9～2. 11)
- 第27回ナルトぴんぼけクラブ写真展 (8. 2. 10～2. 12)
- 第21回四国大学文学部書道コース卒業制作展 (8. 2. 23～2. 25)

徳島県美術展開催運営要項

第1条 (名称・開催目的)

本展は徳島県美術展「以下(県展)という」と称し広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

第2条 (主催団体)

県展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

第3条 (開催運営の組織)

県展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」とを設置する。

運営委員、事務局員の任期は2年とする。但し再任は妨げない。

〔県展運営委員会〕

運営委員会のメンバーは、県美術家協会会長・副会長2名及び各部会から2名、徳島県から1名、徳島新聞社から3名の合計21名でこれを構成する。

運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

- 1 開催運営の基本事項について審議決定すること。
- 2 審査員候補の推薦すること。
- 3 審査方法、表彰に関すること。
- 4 収支予算、決算の承認に関すること。
- 5 その他県展開催に必要なこと。

〔県展事務局〕

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会各部から2名、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社2名の計17名でこれを構成する。

事務局員の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

- 1 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関すること。
- 2 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備に関すること。
- 3 審査員の下交渉、配宿、空港券の手配、審査日時、場所、接遇等の準備、手配に関すること。
- 4 収支予算案の作成に関すること。
- 5 開会式、表彰式の準備に関すること。

- 6 広報PRに関すること。
- 7 その他県展開催の下準備に関すること。

第4条 (出品部門)

県展の出品部門は日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

第5条 (展示作品)

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から次の作品とする。

- 1 一般公募作品の中から主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。

その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。

- 2 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

- (1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。

◇次のものを無鑑査とする。

- (1) 特選を連続3回得たもの。
- (2) 年間を問わず特選を4回得たもの。
- (3) 年間を問わず特選又は準特選を6回得たもの。(特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする)
- (4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

◇次のものを特別出品とする。

- (1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、名誉会員、参与、審査員及び各部の会長、顧問、参与。

(注) ① 招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた事由がない限りその資格を失うものとする。

② 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

③ 40回展までの準特選は2回をもって特選と同値とする。

第6条 (審査員)

審査員は県外審査員とする。

審査員の選任は県美術家協会の各部会から一定数の人数を推薦し、この中から事務局で選任作業を行い県展運営委員会の議を経て決定する。

第7条 (審査)

審査は公開により行う。

第8条 (入選、入賞数)

- 1 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する場合があるが、原則として次の範囲内に止める。

部門 \ 区分	特 選	特別賞 (51回展の場合)	準特選	奨励賞	入 選
日 本 画	2	徳島新聞社長賞	3	3以内	若干点
洋 画	3	四国放送社長賞	5	5 "	"
写 真	4	徳島県美術家協会会長賞	8	8 "	"
彫 刻	1	徳島県知事賞	2	2 "	"
美術工芸	2	徳島県議会議長賞	3	3 "	"
書 道	8	徳島県教育長賞	13	13 "	"
デザイン	2	徳島市長賞	3	3 "	"

※特別賞は各部とも特選の中から最優秀作品1点に対し送られるものです。

賞はいずれも同格で毎年部門により1つずつ順位を変更し賞を贈ります。

2 入賞は1人1賞とする。

第9条 (表彰)

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

- 1 特 選……賞状、賞金7万円
- 2 準特選……賞状、賞金3万円
- 3 奨励賞……賞状、記念品
- 4 入 選……全員に賞状

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

- 1 徳島県知事賞 1名
- 2 徳島県議会議長賞 1名
- 3 徳島県教育長賞 1名
- 4 徳島市長賞 1名
- 5 徳島新聞社長賞 1名
- 6 四国放送社長賞 1名
- 7 徳島県美術家協会会長賞 1名

※特別賞の選考方法については別にこれを定める。

第10条 (収支予算)

県展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

- 1 出品料
- 2 入場料
- 3 図録売り上げ及び広告料
- 4 各種補助金
- 5 その他

県展の支出経費は事務局長の承認を経て行い必ず証票をとり、毎年12月末に決算を行い、2月に開催する運営委員会に報告し承認を得るものとする。

第11条 (出品料・協賛費)

県展の出品料及び協賛費は次の通りとする。

- 1 県美術家協会の出品料は1点2,500円、2点目から1点につき1,500円とする。
- 2 一般の方の出品料は、1点3,500円、2点目から1点につき1,500円とする。
- 3 招待、無鑑査、特別出品者及びその他審査を受けない者の協賛費は、1点2,500円とする。

第12条 (入場料)

県展の入場料は次の通りとする。

- | | | | | | |
|---|-------|-----|------|----|------|
| 1 | 一般大学生 | 前売り | 500円 | 当日 | 600円 |
| 2 | 高校生 | 前売り | 250円 | 当日 | 300円 |
| 3 | 中学生 | 前売り | 150円 | 当日 | 200円 |

第13条 (附 則)

本要項の規定は昭和61年9月から実施する。

本要項の改訂、修正は県展運営委員の3分の2以上の議決を経てこれを行うものとする。

平成4年2月22日 一部改正

平成4年5月16日 一部改正

平成8年5月25日 一部改正

第51回県展記録

会期 (第1期) 平成8年11月10日(日)~17日(日)

(第2期) 平成8年11月19日(火)~26日(火)

会場 県郷土文化会館

日本画

- 〔審査員〕 工藤 甲人
 〔招待〕 村上 凌雪 橋本 正弘 中川 健 岡 英彦 土方るみ子
 西野 和男 土井 洋子
 〔賛助出品〕 篠原 三叢 森 薫苑 高田 端雪 長谷 寿 吉崎 進
 釣島 冬樹
 〔特選〕 斎藤 久代 (徳島新聞社長賞)
 村松多美子
 〔準特選〕 中西 芳雄 林 幸子 中本 貞代
 〔奨励賞〕 久保脇吉二 西村美也子 岩瀬 洋子
 〔入選〕 中村 利明 秦 照子 三木 義博 脇屋 未帆 秋元よし子
 清松 有希 南 清子 糸田川佳子 宮越 千佳 杉山 正子
 市川 義幸 藤原 満代 江上 豊 川原 光恵 永井 貞枝
 濱口 芳春 白河 邦子 北島 節子 板東 博美 三ッ本繁美
 坂本美代子 佐藤 晴子 鶴 悦子 曲田 裕美 松野 寛枝
 江本美千代 井村ひろみ 橋本 隆雄 吉坂美智子 藤村美津子
 柳田 一子

洋画

- 〔審査員〕 中根 寛
 〔特別出品〕 佐野比呂志 永山 隆二 長井 公雄
 〔招待〕 清水 亟悞 川原 康孝 楠瀬 等 高橋 敬 立岩 巖
 露口 敏幸 服部 裕 岡本 征二
 〔賛助出品〕 浅田 二郎 天野 節 大神 良代 柏木 雅雄 河田 安市
 黒崎 志郎 後藤田仁一 樹田 務 松川 寛 岡田 守
 〔特選〕 島川 君子 (四国放送社長賞)
 玉田 秀子 島上 二郎
 〔準特選〕 大西利津子 関 京子 田淵 浜子 三好 初子 大西 文代
 〔奨励賞〕 乾 繁春 川中比沙子 浅山 久子 大西 道夫 宮本 俊介
 〔入選〕 川田 績 水間 利生 伊勢 浩章 長田 武夫 西條 明彦
 秦 克之 井藤 茂雄 松浦 忠夫 尾形 正二 前野 亮治
 宮田 京子 関 政明 藤井 香世 山瀬 稔 藤本 茂
 唐渡 覚 小松 正司 阿部 昌子 西條 敏夫 三谷ミヤ子
 岡田 克美 片岡 光子 若山 一恵 乃一 英祐 宇高 桂子
 杉本 澄子 平野 聖治 豊実 和夫 元廣 俊子 片山 富市
 青木 幸子 町田 美香 結城 栄子 近藤 清子 鈴木 敬子

島村 英之	丸関 朋子	林 廉太郎	大平 数子	山田 越子
辻野 正廣	福良 哲子	久米 正明	村田 恭一	二條 均
藤丸 家栄	安喜 純子	桐島 豊子	吉田収二郎	曾我部秀子
木下 和江	相良 安彦	湯岑エミ子	大野 文雄	北 美智子
騎場 政美	島田美奈子	佐藤 昭子	後藤ユリ子	吉永 房子
宮井 一三	椋本 幸男	佐藤 久美	西川 敬子	佐々木 超
田中 康子	河本多恵子	真野 孝彦	岩佐 千代	藤本 晴子
青木千奈美	岩佐 京子	吉田 実	大塚 政孜	河田 純
岡田 和泰	喜多 直彦	村本恵美子	原 貴義	正木 房子
近藤 克子	中本真由美	三木 洋子	麻植 尊正	小川しのぶ
西山 和佳	松浦 節子	居村 哲也	岸本 花子	折原 香子
松永 茂樹	南城ミツ子	下内 裕次	浜田 益子	武田 洋子
大津 憲文	中辻奈美枝			

写 真

〔審査員〕 斎藤 康一

〔特別出品〕 福島 正仁

〔招待〕 増田 清次 井上 光雄 木田 英之 西條 征二 勝西 雅夫
 藤井 梵 武内 亨 笹田 敏雄 櫛淵 魏 酒井 博司
 三好 和義 上野 照文 森 賢一 橋本 圭祐 安長 剛
 前浦 芳久 荒井 賢治 林 敏彦 多田 晴美 古井 謙吉

〔特選〕 大和 健司 (県美術家協会会長賞)

森住 博 野藤みきよ 久保 英樹

〔準特選〕 中村 茂人 吉村 敏嗣 塩本 勝義 後藤 和美 中野 建吉
 竹内 勝 船越 正文 藤本 宗子

〔奨励賞〕 河田 清 井形 清 粟田ふさえ 三好 友明 坂東 進
 井上 憲治 野藤 敏美 森川 浩司

〔入選〕 野藤みきよ(4) 増田 寿(4) 横山 勤一(2) 逢坂 和幸 柳川 信子(2)
 宮本 好美(2) 平尾加寿夫 中山 良男 竹岡 章 粟田ふさえ(2)
 岩朝十寸夫(2) 佃 利美 川上たかと 中野 建吉(4) 佐藤 考利
 長谷 昌男 板東 敏晴(4) 井上 憲治(2) 大野 武(4) 内田 和子
 庵床 精一 吉川 和雄 大石 峯雄 矢野 志江 塚原 真澄
 佐治 孝(2) 山城三重子 吉本 悦子 清水エミ子(2) 清水 宗保(5)
 武知 良和 井藤 光章 今出 弘 谷 賢太郎 庄野 正行
 岩本 忠幸 山添 久市 藤本 宗子(3) 佐野 始志 大津 勝治(6)
 守原 修(2) 河口 勝次 西原やすこ 前田美紀子(2) 中辻 末光
 吉村 敏嗣(2) 内田 忠秋(2) 森住 博(6) 前坂 祥文(2) 梅本 貞範(6)
 大和 健司(3) 土橋 成行(3) 国見 良幸 宮本 幸治 赤木 昭子(2)
 木村美沙子 長瀬 正任(2) 樽谷 治 中川 岳 須見 博文
 潮 満寿子 宮野 菁伍(2) 姫田 慎治(2) 氏師 敏晴 佐野 辰夫(3)

木下 昇(2)	原田 武二	清水 定七	柳本 正(4)	多川 静守(9)
梅久 匠	阿部 美昭(2)	森山 利明	久米 勝一	菅本 亨
小林 保子(2)	妹尾 早苗	三宅 道子	竹内 勝	中尾 裕昭
瀬尾美智代(3)	笹本 靖夫	佐古 吉男(2)	小山 秀夫(2)	岡村 清(5)
河田 清	小川 剛	尾崎 利男(2)	岸上 俊博	鹿兒島旦芳
宮川 茂	逢坂 登	大林 義治	三好 友明(2)	森内 昭雄(2)
矢部 弘子	妹尾 武宣(2)	船越 正文(8)	久保 英樹(6)	板東 泰雄(2)
溝渕 寛治(2)	大浦 孝悦	藤本 道正	後藤 和美	富永 章子(2)
尾崎 益貴(2)	宮崎 行弘(3)	田村 泰弘(2)	折野 理悦(3)	林 晴之(2)
稲井 芳男(2)	坂東 進(2)	坂東 裕子	坂東 鶴雄	高橋 繁春
藤島 福生				

彫 刻

〔審査員〕	恩田 静子				
〔特別出品〕	河崎 良行				
〔招待〕	佐藤 隆	大津 文昭	濱口 恵	井下 俊作	鎌田 邦宏
	松永 勉				
〔賛助出品〕	長岡 強				
〔特選〕	蒔田 寿	(県知事賞)			
〔準特選〕	居上 真人	阿部 佳代			
〔奨励賞〕	西島 登	加藤みっ子			
〔入選〕	中川 伸一	江越 丈士	川真田武夫	田口 雅子	美馬 智子
	野口 智加	渋谷 吉昭	東 光司	益田 耕次	笠井 正彦
	吉見 俊介	椋本 幸男	三木 健司	中田 敏之	中込 潤
	阿部 佳代	四宮 達司			

美術工芸

〔審査員〕	中井 貞次				
〔特別出品〕	山上 馨				
〔招待〕	新居 猛	高橋 勇	森 昌男	多智花佐代子	松下 雄介
	松下 慶一	森 賢一	橋 恵		
〔賛助作品〕	村上 正典	中川 存			
〔特選〕	吉田 敏明	(県議会議長賞)			
	西 浩子				
〔準特選〕	井後 宏	森 克江	隅田 良佑		
〔奨励賞〕	小栗加代子	富田ちえ子	日岡 健二		
〔入選〕	川真田 弘	佐々木明乗	佐木川みのる	角田美富根	越 由子
	斎藤 和彦	橋本 一成	環 君子	井後 善朗	佐治 孝
	井村アイ子	徳川 道泰	桜井 慎治	伊豫 義之	北島 洋史

宮本 孝(2)	山本 義子	武田 美子	平井 恵子	木内紀久乃
宇山 裕子	野村 裕子	吉田 眞弓	宮本 眞弓	西川 和美
久次米文夫	大島リッコ	近藤 鶴代	三原 春美	東 重吉
山田 和子	四十宮年代	竹内寿和子	丸居 哲雄	堺 都美子
山川志都子	山本 和子	野田 理人	森 悦光	矢野順三郎
加藤 伴江	戸田 智	川真田泰裕	吉成 亀雄	高原真理子
檜原 道雄	森 明治	住友 良英	新見 清香	寒川 治雄
岡崎 益子	川口みどり	橘 美根子	青木 房江	田村 祐子
檜原アサコ	生野久米一	田村 佳代	新居美紗子	今田 宣子
麦倉 紀子	山口 好子	鶴山 早苗	宮本 晴美	前野 亮治
前野 育代	龍木 秀子	吉田 満子	篠原 紀子	藤井 哲信
森本 明子	阿部 一雄	落久保重利	島田 弘美	林 宣子
太田 裕子	松山 豊	綱木 麻雄	千葉 智子	渋谷志津子
三宅 眞弓	大西 英徳	阿部 俊江	村上由希子	林 広
ウェンディ・ワルソー	パト・モロランド(2)			

書 道

〔審査員〕	栗原 蘆水	榎倉 香邨	種谷 扇舟		
〔特別出品〕	荒井 天鶴	田中 双鶴	田中 栢翠	新居 藍州	
〔招待〕	久保 幽香	讚岐 泰泉	宮井 青雨	長原 皐鵬	高原 清泉
	西 南龍	成尾 荘秀	渡辺 草石	原田 霄月	芝原 醒鶴
	前川 古舟	清水 桂月	美馬幾美賀	春藤 大耿	岸 潮風
	中谷 史子	長谷 美峰	勝瀬 景流	川上 虹泉	三間 好鶯
	近藤 静苑	上田 溪水	日下 溪翠	岡島 順子	荒井 彭仙
	竹田 和代	山口 華城	藤若 美風	武市 鳴雲	中尾 勝子
	佐藤 眞	富久 鳴泉	永松 春苑	島田 小園	吉岡 景鵬
	坂本 霄風	浜 佳香	隅田 英二	松本 清香	多田 清芳
	玉城 乾香				
〔無監査〕	薄田 玲泉	能仁 華瑤			
〔贊助出品〕	東 南光				
〔特選〕	高田 孝子 (県教育長賞)				
	馬居美智恵	田中 育子	三浦富美代	河野紀代子	益田 昌子
	大西ひとみ	春川 登			
〔準特選〕	浜田真由里	鈴木エリ子	原 貞子	福永久美子	富永 恵以
	田村富士子	増田 愛子	板東 準子	宇山 安俊	山口 文子
	折田 浩子	岩本 雅三	伊丹 明美		
〔奨励賞〕	高田 嘉代	米澤 司子	河野多美子	由宇 典代	須原 理恵
	向井 京子	丸岡 智子	森 裕美子	市原 泰江	岸 緑
	桑村 清	芝 憲彦	村田 泰輝		

〔入 選〕

漢 字 の 部

(前期)

吉岡 愛子	近藤満寿美	生田 茂子	田村 栄子	高畑 明美
九十九知美	近藤 久子	横田あかね	山下 庸子	藤川 幸栄
横山 弘美	清水 恵美	奥本 益世	佐々木陽子	青木 博美
上野喜久子	阿部 千明	鳩成 広美	立石 桂子	谷 貴美子
稲田 紀子	黒川八代治	井村 信子	福田 政子	岩佐 舞
蔭尾 勝子	佐藤 博子	朝波 新吾	鎌村 明子	安丸 美孝
黒橋由加里	田上 洋子	脇田 薫	赤松 茂幸	林 佳代
片山 芳明	折上 和美	細川 武治	佐坂 琴美	豊浦 佳子
馬淵 直枝	松永 浩子	谷口 統雄	松田トクエ	北村 浩子
志尾多磨子	富永トモ子	柴田 勝	住友 敬明	丸岡 茂夫
新田 幸枝	乾 温史	松本 照子	富山 雅美	紅露 照雄
中川恵美子	笠原 笑子	奥田 文子	秦 照子	吉本 和代
大下 富江	桑田 次雄	速川 孝恵	橋本 康喜	八木 澄江
長尾 愛子	林 みゆき	横田 雅夫	片山 浩	松下 守
西野 道夫	品川亜沙美	久保田みき	須崎由美子	河野 雅美
松本 美帆	森岡 暁子	川原 千夏	福田世津子	播磨 恭子
佐藤 千紘	杉本 妙子	野村 淳平	橋本 一成	西野 幸
阿部 公恵	福家 佳余	藤永 真里	西村 泰紀	三角 稔恵
伊東 朋未	内藤 千夏	岸田 章余	山腰 知子	山内 紀隆
中西 由歌				

(後期)

牧野美弥子	西岡 詩朗	吉田 有子	笠松八重子	粟飯原優子
酒井やすえ	吉田 京子	河見 忠信	石井 孝代	大塚美代子
加藤 玲子	小松 美佳	清田千江子	藤村 恭子	相原 美香
矢部 知子	奥野 信夫	沖田 章代	魚井 勝夫	豊田 典子
酒井 しず	元木 英文	真鍋 一美	吉成 嘉代	須見智香子
天野 和子	安田ひろ子	伊藤 秀子	石川 房子	菱崎 信義
富永泰寿子	春藤 秀子	竹下 智子	森 孝司	中尾 保
益岡 和子	丸岡 眞弓	矢野美由紀	真鍋 洋子	藤田喜美代
花本ふくみ	高井 初子	高田由里子	福岡千江子	花木トヨコ
粟田 小照	上田美千代	園尾 淑子	丸岡扶佐子	横田 和子
大櫛 宏子	有井 清	笹田 茂子	中川 笑子	武田 陽子
大野シゲ子	折野 茂幸	黒田 美穂	坂東 濟子	久積 晃
丸谷美代子	洲崎 忠雄	以西 寛敬	海原 進	小西貴美子
黒田 早苗	久保 朝子	斎浦 るみ	戸出 浩子	村沢健太郎
藤野 超	京野 美鈴	矢野由美子	吉田 郁世	栗野 安代
砂山 美希	林 和美	田村 実	小出 幸子	川村 真澄
種ヶ嶋美恵子	山城美三子	山地 靖子	加藤 珠美	庄野 美紀

古川 恵巳	井村 美帆	横田 典子	七條 加奈	原田真由美
藤崎 直美	小津美奈子	今市 千景	田中 里依	南部めぐみ
廣田 佳余				

仮名の部

(前期)	東 弥生	安丸 美孝	山本 定子	川崎 景子	近藤 鶴代
	坂野 雅子	廣瀬 晃代	佐藤 松子	篠原 加奈	尾田 艶子
	小寺 倫代	西 直子	原田チエ子	井川 幸子	草苺 明美
	山中 真紀	播磨 恭子	武市 勝恵	小西 敬子	岡本 美紀
	町田 哲子	中谷つや子	豊原 淳子	樫原 孝子	米田 重子
	大久保愛子	平野 幸子	川口 裕代	炭谷 嘉子	筒井智恵子
	溝渕久美子	矢本 妙子	岩崎さつき	崎野亜希子	山崎 秀美
	山中 佳子	阿瀬川寛司	吉田美重子	瀬藤 豊子	加藤かつ子
	由利 里子	岸田いち子	吉本 道子	吉岡 栄子	平野 俊子
	谷脇登美子	野口 和子	関根 史子	原田 喜代	竹中喜代子
	出口未喜子	柴田満里子	上田 久子	井内 愛	高橋 宗見
	三原 昌代	森 貴美子	木村トヨ子	甲谷 慶子	生田 勝子
	大西 啓子	椎本 敬子	四宮可治子	脊川 章子	辻 映子
	倉本 節子	赤川久美子	大島 弘子	福良美代子	山本 美幸
	久次米智子	川口 珠枝	竹内 英子	鶴澤 静佳	井内 光子
	椎野 国子	徳山 正光	竹中 敏恵	水口 久枝	新納 房子
	宮本 敏夫	林 孝枝	古郷 弘江	福田世津子	

(後期)	須見智香子	横井三知代	近藤千恵子	下泉 梨恵	河野 静江
	西村 泰子	宇津 清子	佐野チヨミ	湊 紀子	上田 晋
	薮 品子	井上小百合	魚井イチエ	福田 雪江	吉成真由美
	田村 典子	西浦 智頼	武市 恵美	株本マサノ	坂東 光子
	姫野 君子	笹田 真里	向井美由希	藤原 育代	三浦由城子
	向井 幸子	藤野 陽子	吉田 幸代	足達 玉美	亀石 二三
	石井 瞳	中野 幸代	田渕 美和	伊丹 志織	山本 晶子
	西字 明美	田上貴実子	港 美智代	山本 恵子	久住 律子
	中西 甫子	清水 嘉子	西岡 咲子	高田 光	堤 薫子
	北島 昭子	曾我部富美	別役千代子	柴田 良	井川 敏子
	矢野 一代	佐藤美智代	川人 皓	瀧倉 理恵	渡辺 正史
	井上 ちさ	井上 彰夫	宮崎 早苗	中野 幸子	阿部 智代
	朝井 邦子	柏原 栄子	冨永 重行	青山 秀香	上田 久恵
	大島 幸子	大西 順子	中田 幸子	佐川 公子	武田 詩夜
	近藤真千子	木田 嘉子	井上 まり	宮守 とみ	祢木真佐子
	皆谷 露子	岡島 公子	遠藤 由子	繁崎登美子	湊 泰子
	根津不美子	森 弥生	村尾 慶子	田中 久恵	

近代詩文の部

(前期)	石田 久子	江原美津子	大久保利江	大西 英子	大西ひとみ
	小野 幸久	加島 俊彦	川下小夜子	川端喜美子	木田 史子
	久米 安弥	小坂ハナエ	近藤 照子	阪口 光子	佐藤 恵子
	佐原 武子	柴田 公代	下野 順子	瀬戸内美代子	高瀬 善郎
	竹井 澄子	竹川 秀穂	武樋 清子	谷口 陽子	玉城 豪
	豊村 啓輔	内藤ますみ	長野 裕子	沼田 裕司	野田 洋子
	浜口 敏子	福田 和子	福永 培子	藤本 優子	船崎 友子
	丸田 三恵	森本知世子	柳川 具子	山口 文子	横谷千代美
	吉田さい子	和田 悦代	上原三千代	篠原佳代子	島田 利枝
	宮田 昭二	吉川 尚子	朝三 和子	遠藤玻都恵	大井 時子
	楠 恵利子	笹田 和美	多田美恵子	長井 洋子	引地 美貴
	福本 朗子	三澤多美子			

(後期)	岩本 雅三	大井多鶴子	大島 清子	大西千鶴子	大野 秀子
	笠井 鎮子	勝瀬嘉壽子	河野 富子	川又 敏香	櫛淵 洋子
	栗山 弘子	児玉 幸子	坂尾 俊一	桜田 貴子	佐藤 正江
	沢村 清美	島 栄子	新開ひとみ	高岡 清	高橋美知江
	武市三奈子	武田 淳子	谷口 昭子	谷本 清子	出原とし子
	鳥井佐知子	中島 和子	仁木志毛江	野田 富子	野本 寛之
	平岡 郁子	福谷 明美	藤井フサエ	藤原 松枝	丸岡 良子
	森岡 禎子	森本 陽子	山口 信子	山崎ひとみ	吉坂希実子
	吉田佐知子	和田富美子	大西 英徳	柴田 美和	瀬部 洋子
	福本 茂	若林 節子	池辺さとみ	遠藤 禎子	大柴 麻子
	河内 育美	高岡喜美子	田福 理子	長尾由美子	廣峰 一恵
	古川悠紀子	山本 陽子			

前衛の部

(前期)	林 浩一	稲江 司子	松村 裕子	高松 輝子	山下恵津子
	荒井 和子	池田紀代子	佐藤 恵子	佐藤由紀代	山西 博子
	野口 晶世	井上 智美	小川 貴代	仁木理恵子	伊藤 真美
	橋本麻衣子	山本 晶子			

(後期)	阿川 英子	永井 厚子	柏尾美恵子	西岡 珠子	井内寿満子
	田村 定雄	梶川 佳奈	大坂 昌代	中川 富量	中川 博雅
	福本早矢賀	小山 裕美	福井 利恵	小野 史恵	真田 秋江
	大胡恵理香	永濱 由美			

デザイン

- 〔審査員〕 安西 水丸
〔特別出品〕 福井 章
〔招待〕 浅野 昌哉 斎藤 繁次
〔無鑑査〕 坂野美恵子
〔賛助出品〕 坂本三千一
〔特選〕 斎藤志津子(徳島市長賞)
北島 豊嗣
〔準特選〕 的井 瑞枝 片山恵津子 天羽 恵子
〔奨励賞〕 宮岡江理子 新井 博之 浅野 敦司
〔入選〕 岡田 綾子 天野 美砂 大梅 牧子 敷島のり子(2) 川崎 孝志
古井 克子 阿部真一郎 山下真由美 美馬 悦子 加藤 真紀
吉成 敏史 中西 涼子 岸田 典子 永栄 恭子 水口 知己(2)
小倉 哲也 野口 幾代 石田 武 鈴江 芳美 斎藤 剛
吉本たみこ 笠井 教代(2) 堀 恵理子 溝渕 幸子(2) 竹内 恭子
福本 弥生 幸田 晴美(2) 福山めぐみ(2) 元木公美子(2) 矢竹 望(3)
中川 麻美 伊賀 加奈 安岡 香織 四十宮隆志(2) 西山 由美
市田 愛子 佐田久笑理 志摩 修司 浅野 真季 南 美穂

第50回記念県展記録は「徳島県美術展50年の歩み」に記載してあります

徳 島 県 美 術

部門 回数	日 本 画	洋 画	写 真	彫 塑
1	委 員	〔野 間 仁 根 家 永 騏三郎	委 員	
2	大 栗 旌 折	野 間 仁 根	上 田 備 山	〔太 田 三 郎 坂 東 文 夫
3	委 員	伊 原 宇三郎	同 上	〔太 田 三 郎 坂 鹿 東 内 文 芳 洲
4	委 員	須 田 国太郎	同 上	同 上
5	上 村 松 篁	田 村 孝之介	小 野 由 行	〔太 田 三 郎 坂 東 文 夫
6	西 山 英 雄	伊 藤 継 郎	川 崎 亀太郎	同 上
7	山 口 華 楊	田 川 勤 次	棚 橋 紫 水	新 田 藤太郎
8	池 田 遙 村	須 田 剋 太	同 上	〔太 田 三 郎 坂 東 文 夫
9	水 田 竹 圃	小 出 卓 二	同 上	同 上
10	管 楯 彦	〔鈴 木 信太郎 野 間 仁 根	同 上	同 上
11	奥 村 厚 一	井 上 長三郎	岩 宮 武 二	同 上
12	浜 田 観	福 沢 一 郎	棚 橋 紫 水	同 上
13	小 松 均	藤 井 令太郎	同 上	〔辻 東 晋 堂 坂 東 文 夫
14	秋 野 不 矩	針 生 一 郎	岩 宮 武 二	針 生 一 郎
15	奥 村 厚 一	向 井 潤 吉	棚 橋 紫 水	管 沼 五 郎
16	同 上	吉 原 治 良	岩 宮 武 二	柳 原 義 達
17	松 尾 冬 青	中 谷 泰	同 上	向 井 良 吉
18	矢 野 鉄 山	池 島 勘治郎	同 上	安 田 周三郎
19	中 村 貞 以	森 芳 雄	堀 内 初太郎	堀 内 正 和
20	曲 子 光 雄	桂 ユキ子	岩 宮 武 二	植 木 茂
21	沢 野 文 臣	伊 谷 賢 蔵	同 上	佐 藤 忠 良
22	堂 本 阿岐羅	村 井 正 誠	同 上	辻 晋 堂
23	松 岡 政 信	山 下 大五郎	岩 宮 武 二	井 上 武 吉

展 審 査 員 一 覧

美術工芸	書 道	デ ザ イ ン
鬼塚信之	委 員	
同 上	田 中 白 村	
同 上	炭 山 南 木	
同 上	炭山南木・織田子青	
同 上	手 島 右 卿	
〔鬼塚信之 新田藤太郎〕	同 上	
鬼塚信之	小 坂 奇 石	
明石朴景	辻 本 史 邑	
会田裕宣	織田子青（漢）・出口草露（仮）	
鴨 政 雄	松 井 恕 流	
近藤悠三	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
平松宏春	同 上	
同 上	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠	
大西忠夫	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
明石朴景	同 上	
平松宏明	同 上	
大西忠夫	同 上	
鴨 政 雄	同 上	
平松宏春	同 上	
内田邦夫	同 上	
山脇洋二	同 上	
槻尾宗一	同 上	

部門 回数	日 本 画	洋 画	写 真	彫 刻 (46回まで彫塑)
24	山 崎 忠 明	大 沢 昌 助	棚 橋 紫 水	菊 池 一 雄
25	奥 村 厚 一	齐 藤 真 成	同 上	原 武 典
26	梶 喜 一	島 村 三七雄	同 上	掛 井 五 郎
27	上 原 卓	高 田 誠	伊 藤 知 己	松 村 外次郎
28	黒 光 茂 樹	中 間 冊 夫	岩 宮 武 二	小 畠 広 志
29	松 岡 政 信	島 田 章 三	同 上	保 田 春 彦
30	黒 光 茂 樹	田 中 岑	同 上	篠 崎 明 雄
31	河 合 健 二	田 中 忠 雄	同 上	江 口 週
32	長谷川 青 澄	山 口 長 男	〔岩 宮 武 二 伊 藤 藤 知 己〕	一 色 邦 彦
33	松 岡 政 信	吉 井 忠	〔岩 宮 武 二 秋 山 庄 太郎〕	柳 原 義 達
34	山 岸 純	小 西 保 文	岩 宮 武 二	清 水 九兵衛
35	樋 笠 数 慶	荻 太 郎	同 上	桜 井 祐 一
36	坂 口 麻 沙 子	吉 井 淳 二	同 上	土 谷 武
37	下 田 義 寛	野見山 暁 治	同 上	山 本 正 道
38	同 上	須 田 寿	高 田 誠 三	清 水 九兵衛
39	同 上	齐 藤 真 一	同 上	城 田 孝 一 郎
40	下 保 昭	津 高 和 一	〔岩 宮 武 二 高 田 誠 三〕	清 水 良 治
41	橋 田 二 朗	小松崎 邦 雄	奈良原 一 高	淀 井 敏 夫
42	松 本 哲 男	国 領 經 郎	岩 宮 武 二	木 津 一 夫
43	山 岸 純	利根山 光 人	三 木 淳	橋 本 省
44	平 川 敏 夫	赤 穴 宏	高 田 誠 三	山 崎 猛
45	福 井 爽 人	桜 井 寛	三 木 淳	土 谷 武
46	岩 沢 重 夫	大 森 朔 衛	三 木 淳	峯 田 敏 郎
47	穂 田 一 稗	谷 本 重 義	立 木 義 浩	小 島 弘
48	田 淵 俊 夫	大 沼 映 夫	杵 島 隆	建 畠 覚 造
49	中 路 融 人	馬 越 陽 子	杵 島 隆	綿 引 道 郎
50	下 田 義 寛	三 栖 右 嗣	奈良原 一 高	古 島 実 子
51	工 藤 早 人	中 根 寛	齐 藤 康 一	恩 田 静 子

美術工芸	書道	デザイン (37回まで商業美術)
山脇洋二	荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴 田中栢翠・富永眉峰	
藤本能道	同上	
三井安蘇夫	同上	金野弘
六角穎雄	同上	大智浩
鈴木貫爾	同上	早川良雄
田村耕一	同上	原弘
山脇洋二	同上	田中一光
浅野陽	同上	奥野英雄
前田泰次	同上	灘本唯人
山脇洋二	同上	大高猛
中村光哉	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・田中双鶴 田中栢翠・富永眉峰・新居藍州	福田繁雄
山脇洋二	同上	永井一正
田村耕一	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰 西岡楚峰	山城隆一
同上	同上	粟津潔
山下恒雄	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	田中一光
同上	同上	長友啓典
浅野陽	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・春藤大耿 高原清泉・田中双鶴・田中栢翠・長江清幽 新居藍州・西岡楚峰	亀倉雄策
中村光哉	明石春浦・坪井正庵	伊蔵憲治
浅野陽	桜井琴風・黒野清宇	サイトウ・マコト
山下恒雄	大岡皓崖・山田伍雲・西野象山	佐藤晃一
三浦小平二	花田峰堂・小山素洞・東地滄厓	河北秀也
松永勲	浅見綿龍・森本妙子・加藤大碩	松永真
山下恒雄	近藤撰南・東山一郎・中野北溟	浅葉克己
島田文雄	谷村憲齋・植村和堂・太田義久	藤井三雄
大西長利	安原臯雲・池田桂鳳・金子卓義	五十嵐威暢
山下恒雄	鈴木桐華・西本支星・金子聰松	青葉益輝
島田文雄	尾崎邑鷗・井茂圭洞・大井綿亭	松永真
中井貞次	栗原蘆水・榎倉香邨・種谷扇舟	安西水丸

第50回記念県美術展出品・入選等状況

部門		日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン	計
区分									
出品数		65	301	1,243	41	196	1,371	144	3,361
人数		56	213	228	31	127	800	98	1,553
入選	率	60.0%	39.5%	24.9%	61.0%	54.6%	41.0%	44.4%	36.4%
	記念大賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	特別賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	特選	3	4	5	2	3	7	3	27
	準特選	3	4	8	2	3	13	3	36
	入選	33	111	296	21	101	542	58	1,162
	計	39	119	309	25	107	562	64	1,225
落選	率	40.0%	60.5%	75.1%	39.0%	45.4%	59.0%	55.6%	63.6%
	落選	26	182	934	16	89	808	80	2,135
招待等	特別出品	1	3	1	1	1	4	1	12
	招待	10	9	19	5	10	40	2	95
	無鑑査	1		2		1	2		6
	賛助出品	6	13		1	2	1	1	24
	計	18	25	22	7	14	47	4	137
展示数		57	144	331	32	121	609	68	1,362

☆記念大賞・特別賞は特選の内数である。

第51回県美術展出品・入選等状況

部門		日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン	計
区分									
出品数		72	284	1,269	36	163	1,353	120	3,297
人数		60	192	247	31	116	826	85	1,557
入選	率	54.2%	38.7%	19.5%	61.1%	59.5%	40.0%	48.3%	33.8%
	特別賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	特選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準特選	3	5	8	2	3	13	3	37
	奨励賞	3	5	8	2	3	13	3	37
	入選	31	97	227	17	89	508	50	1,019
	計	39	110	247	22	97	542	58	1,115
落選	率	45.8%	61.3%	80.5%	38.9%	40.5%	60.0%	51.7%	66.2%
	落選	33	174	1,022	14	66	811	62	2,182
特別等	特別出品		3	1	1	1	4	1	11
	招待	7	8	20	6	8	41	2	92
	無鑑査						2	1	3
	賛助出品	6	10		1	2	1	1	21
	計	13	21	21	8	11	48	5	127
展示数		52	131	268	30	108	590	63	1,242

◎特別賞は特選の内数である。

第4回 放美展記録

会 期 平成7年5月3日(水)～7日(日)
会 場 県郷土文化会館

日 本 画

〔審査員〕 西野 和男
〔理事〕 田淵 冬湖 中川 健
〔運営委員〕 長谷 寿
〔無鑑査〕 岩瀬 洋子
〔放美賞〕 杉山 正子
〔優秀賞〕 西村美也子 柳田 一子
〔入 選〕 吉坂美智子 鶴 悦子 米田 梨恵 富田 達子 三木 義博
福岡ムメコ 板東 博美 西口 光代 坂東 美紀 市川 義幸
南 清子 鈴木 恵子 高橋タケ子 坂本 久江 森脇 泰子
三ッ本繁美 北村 浩子 久保協吉二 永井 貞枝(2) 高居あゆみ

洋 画

〔審査員〕 高橋 敬 川原 康孝 立岩 巖
〔美協会長〕 佐野比呂志
〔美協顧問〕 長井 公雄
〔理事・運営委員〕 永山 隆二
〔無鑑査〕 玉田 秀子
〔放美賞〕 南城ミツ子
〔優秀賞〕 桐島 豊子 元廣 俊子 関 京子 佐藤 昭子 曾我部秀子
吉永 房子 島川 君子 坂東佳代子
〔入 選〕 谷 節子 村田 恭一 篠原 稔 真野 孝彦 藤埜 理
堅田 妙子 福良 哲子 島田 英子 青木千奈美 木下 和江
佐藤 友美 西條 明彦 青木 幸子 古林 幸子 岩谷 明
長野 満子 佐藤 敬子 越久 高照 浅山 久子 江戸谷信夫
二條 均 北 美智子 吉田 実 村上 哲史 秋月ヒサヨ
四宮 キヨ 天満 洋子 正木 房子 宇高 桂子 岸 直次
伊勢 浩章 河本多恵子 宮井 一三 宮本 正義 浜田 益子
田野 安子 長田 武夫 徳長 洋子 辻野 正廣 新野 哲人
林 康太郎 近藤 駿男 福富 正二 藤井 節子 前田 保司
田中 康子 騎馬 政美 谷口 節 堀江 千寿 小倉 英子
浜尾みつ子 大西 文代 武田 洋子 金子 直規 井上 敏子
佐々木 超 住友富美子 大西 道夫 泰地 良重 三谷ミヤ子
阿部 昌子 中本真由美

写 真

[審 査]	井上 光雄	安長 剛	酒井 博司						
[美協顧問]	福島 正仁								
[理事・運営委員]	西條 征二	櫛淵 魏							
[理 事]	荒井 賢治								
[放 美 賞]	佐治 孝								
[優 秀 賞]	溝淵 寛治	小林 保子	一宮 泰彦	柳本 正	佐藤 考利				
	野藤みきよ	森住 博	左京 一	森内 昭雄	佐治 利弘				
	前坂 祥文	楠本 喜巳	折野 理悦	宮本 好美					
[入 選]	溝淵 寛治	さとう元雪	谷 賢太郎(2)	宮川 茂	中野 昭子				
	河田 清(2)	岡田 博信	久米 勝一	小林 保子	佐野 始志(3)				
	宮野 菁伍	姫田 仁美	姫田 慎治	須見 博文	佃 利美				
	妹尾 早苗	宮崎 行弘	管蔵 数久(3)	大石 峯雄(2)	潮 満寿子				
	三谷 敏行	野口 静男	山添 久市(2)	今出 弘	平賀俊次郎				
	柴田敬二郎(3)	割石晴二郎(2)	多川 静守	佐古 吉男(3)	原井 裕夫(3)				
	中村 茂人(2)	柳本 正(2)	長山 威男	佐藤 考利	中川 定典				
	中村 絹子(2)	武知 正昭	井上 憲治(2)	野藤みきよ(2)	野藤 敏美(2)				
	川真田慶治	吉田 弘(2)	丸岡 節子	竹原 章子	樽谷 治				
	大浦 孝悦	毛利 次郎	上杉 大一	森山 利明	尾崎 利男(3)				
	川端 武夫(2)	岡村 清(2)	藤本 宗子(2)	藤田 羔爾(2)	清水 宗保(2)				
	清水 貴功	西原やす子	森住 博	杉本 福(3)	土橋 成行(2)				
	森内 昭雄	堀口 幸男(3)	小山 秀夫	内田 忠秋(2)	稲井 芳男				
	森川 浩司	藤本 道広	猪子 啓治	三木 貞仁	清水 定七(2)				
	正満 恭子(2)	桑村 直政	大和 健司	井藤 光章	石田 良材				
	村上 弘	林 敏彦(2)	澤井 啓二	鮎川日出一(2)	佐々木敏幸				
	北島 義文	竹内 勝(2)	楠本 喜巳	田村 泰弘	林 晴之				
	森 賢一	折野 理悦	林 達也	宮本 好美	大西 啓子(2)				
	笹田 敏雄(3)	田中 義孝(2)	伊達 照子	三宅 隆子	米崎 慶子				
	松川 寛(2)	赤木 昭子	板東 敏晴	笠井 孝純					

彫 刻

[審 査 員]	井下 俊作	松永 勉				
[美協副会長]	河崎 良行					
[無 鑑 査]	蒔田 寿					
[放 美 賞]	笠井 正彦					
[優 秀 賞]	岡田 綾子					
[入 選]	小松 正司	佐藤 光代	佐藤真一郎	新田 陽史	吉見 俊介(2)	
	大山 泰加	笠岡奈緒美	長尾 哲宏	阿部 佳代(2)	加藤美津子(2)	

美術工芸

〔審査員〕	山下 馨	松下 慶一				
〔理事〕	森 昌男	森 浩				
〔運営委員〕	橘 恵					
〔放美賞〕	阿部 加代					
〔優秀賞〕	湯浅カツエ	寒川 治雄	斎藤 和彦	綱木 麻雄	森 明治	
	高橋 真帆					
〔入選〕	林 由井	小山美智子	多田 清明	矢野 祐志	岡本 陽子	
	隅田 良佑	陶久 敏郎	四十宮年代	吉田 晃子	松山 豊	
	榎本夫美子	近藤 賢二	山本 義子	杉原 素子	木内紀久乃	
	久次米文夫	天羽千津代	藤田 恭子	内田 孝子	岡本亀代子	
	楠 博子	赤井 幸子	宮岡 美佳	熊野 妙子	湯佐 厚子	
	藤井 敬子	環 定	中川 音春	吉田 満子	三原 春美	
	井村アイ子	椋原フサコ	椋原 道雄	楠 正陶	野 山人	
	工藤 英幸	近藤 鶴代	高田 竹子	新見 清香	新居美紗子	
	上田ミノル	近藤 英憲	福岡ムメコ	市原智美子	富永 和代	
	池淵 節子	野田 理人	安原多恵子	山野 英子	小林 朋美	
	千葉 智子	山田 実	徳川 万記	藤井 利夫	森本恵美子	
	吉田 敏明	木村 展子	前野 亮治	朝日 洋一	上野 祥代	
	高原真理子	日岡 健二	渋谷志津子	村上由希子	竹内 暢子	
	山本 敏子	是安 京子	原田 明夫	森本 明子		

書 道

〔審査員〕	田中 双鶴	田村 昇鶴	荒井彰仙			
〔美協副会長〕	荒井 天鶴					
〔理事・運営委員〕	新居 藍州					
〔理事〕	上田 溪水	久保 幽香	田中栢翠			
〔運営委員〕	玉城 乾香					
〔放美賞〕	中尾 勝子					
〔優秀賞〕	近藤 静苑	渡辺 草石	小野 幸久	川村 真澄	由利 里子	
	竹田 和代	川下 芳婉				
〔入選〕	市原 典子	田中 久恵	高田由里子	金子 博明	洲崎 忠雄	
	炭谷 嘉子	木村貴美子	木村 弘子	原田 尚鳳	中西 甫子	
	加藤香都子	石川 英郎	稲垣 幸	大林 理沙	高木 房一	
	上地 祥子	西野 四郎	原田チエ子	小川 満子	足達 玉美	
	中村 絢子	西谷 香峰	草刈 明美	山口 信子	引地 美貴	
	船崎 友子	武田 淳子	大西千鶴子	小出 圭子	徳永 逸夫	
	久住 律子	下村 清子	吉本 道子	岡島 順子	福田世津子	
	西村 徳栄	逢坂小由里	大塚 唯士	笠井 宣江	山本 恵子	

阿部 豊彦	播磨 恭子	吉田美重子	須藤 和子	福島 由子
清水 嘉子	藤本満里子	真鍋 洋子	藤 品子	片岡 友恵
古郷 弘江	廣田 佳余	釜内 深雪	大島 明美	八木 祐子
谷口 百世	奥 小風	加島 俊彦	田本 佳子	前田ひとみ
甲斐 貴子	安藤 一美	湊 紀子	仁木 亜矢	横田 典子
大平真由美	吉岡 理枝	今井 牧子	山下 直子	崎野亜希子
阿部 公恵	清水 晴絵	登川 涼子	西村 泰紀	野口 有香
逢坂 結美	吉田さい子	中島 和子	大石 正	吉本真理子
梯 周女	谷口 昭子	水落智英子	賀好 治美	和田 悦代
川又 敏香	藤原 松枝	楠 恵利子	島 栄子	吉坂希実子
柴田 公代	柴田 美和	森本知世子	沼田 裕司	金山 洋子
武知 宏美	坂尾 俊一	川端喜美子		

デザイン

[審査員]	福井 章	田中 一郎	浅野 昌哉	
[運営委員]	坂本三千一			
[放美賞]	川崎 孝志			
[優秀賞]	北島 豊嗣	濱田 直美	木村 優子	浅野 敦司
[入選]	天野 美砂	吉本 憲市	敷島のり子	長坂 美香
	酒巻 和弘	佐藤亜希子	宮道 孝明	一宮 伸匡
	福田 千絵	今田 智恵	寺西三千代	矢西 正人
	阿部真一郎	小泉まい子	野口 幾代	横関由美子
	大久保ゆかり	佐野めぐみ	宮岡江理子	東 妙
	北島 豊嗣	増岡 美保	宮本 享佳(2)	堤 志乃
	鎌田 浩美	溝淵 良枝	荒瀬 奈緒	高岡 篤史
	森出ふみこ(2)	清水 寿美(2)	石田 武	重清 嘉宏
	小松 美香	今村 美季	竹内 恭子	福島 智世
	岡田 綾子	須藤 政代		山下真由美(2)
				宮崎 涼子
				大塚 祐策
				西岡 志保
				大東 浩司
				吉野 敬子
				溝渕 幸子
				笠井 教代
				美鳥 悦子

第5回 放美展記録

会 期 平成8年5月8日(水)~12日(日)
会 場 県郷土文化会館

日 本 画

〔審査員〕 岡 英彦 森 薫苑
〔理事・運営委員〕 荻野 行夫
〔運営委員〕 篠原 三叢 高田 瑞雪
〔放美賞〕 藤原 満代
〔優秀賞〕 福田佳代子 柳田 一子 森脇 泰子
〔入 選〕 泰 照子 川原 光恵 白沢 栄一 坂本 久江 南 清子(2)
朝田 敏子 柳田イワエ 増田 由美 市川 義幸 西村美也子
高橋タケ子 中村 利明 米沢 稔 藤田 実 濱口 芳春
福岡ムメコ(2) 高部 恒香 永井 貞枝(3) 斎藤 春子 江上 豊
久保脇祥雲 橋本 隆雄 村上 綾 三木 義博 鶴 悦子
村松多美子 中本 貞代 水口 和煌 藤重 洋子 脇屋 未帆

洋 画

〔審査員〕 永山 隆二 川原 康孝 黒崎 志郎
〔美協会長〕 佐野比呂志
〔理事・運営委員〕 高橋 敬
〔無鑑査〕 玉田 秀子 南城ミツ子
〔放美賞〕 島川 君子
〔優秀賞〕 桐島 豊子 佐々木 超 浅山 久子 伊勢 浩章 佐藤 昭子
岡田 光男 関 京子 曾我部秀子
〔入 選〕 岩佐 千代 川原 万弥 宮井 一三 河田 純 喜多 沙織
浜尾みつこ 片山 富市 福良 哲子 武田 洋子 井沢 忠昭
平野 聖治 青木 幸子 三谷ミヤ子 宇高 桂子 長尾賀代子
佐藤 友美 井藤 茂雄 佐藤 敬子 答島 和年 真野 孝彦
関 政明 田野 安子 宮本 正義 長田 武夫 二條 均
正木 房子 岩谷 明 村田 恭一 丸関 朋子 辻野 正廣
木下 和江 高橋 陽平 谷口 節 阿部 昌子 松尾 泰子
前野 亮治 島田美奈子 藤井 香世 田中 康子 河本多恵子
北 美智子 小笠原秋子 山田 智千 前田 保司 林 康太郎
福富 正二 浜田 益子 越久 高照 安喜 純子 岡田 和泰
湯岑エミ子 小倉 英子 大山 泰加 中川 清隆 浜岡 美恵
藤丸 家栄 大西 道夫 藤川佐由美 林 紀恵 近藤 克子
折目 久美 三木 好子 若山 一恵 岩野 伸哉 松浦 節子
泰地 良重 岩佐 京子 中本真由美 杉本 祥子 小松 正司

折原 香子	原 貴義	大西 文代	騎馬 政美	坂井 浩美
岡田 和正	後藤ユリ子	吉永 房子	坂東佳代子	原田チエ子

写 真

[審査員]	西條 征二	酒井 博司	櫛淵 魏		
[美協顧問]	福島 正仁				
[理事]	井上 光雄	荒井 賢治			
[運営委員]	安長 剛				
[放美賞]	堀口 幸男				
[優秀賞]	粟田ふさえ	後藤 文男	川真田慶治	吉村 敏嗣	宮本 好美
	竹内 勝	原井 裕夫	柳本 正	阿部 美昭	森山 利明
	佐古 吉男	新居真一郎	赤木 昭子	中川 定典	尾崎 利男
	鶴田 真規	藤本 宗子			
[入 選]	野藤みきよ	野藤 敏美(2)	大久保利昭(3)	山本 玉見	笹本 靖夫
	長瀬 正任	北島 一(2)	中村 絹子	柳本 清一	溝淵 寛治
	谷 賢太郎(2)	清水 定七(2)	原口 正行	佃 利美(2)	潮 満寿子(3)
	逢坂 和幸	佐治 孝	鮎川日出一	割石 晴美	山畑富志広
	土橋 成行	山添 久市	佐野 始志(2)	小林 保子(2)	藤本 道広(3)
	三谷 敏行	山城三重子	宮野 菁伍	姫田 仁美	姫田 慎治
	宮川 茂(3)	妹尾 早苗	森内 昭男(2)	小島 重郎	竹岡 章(2)
	椛山吉五郎(2)	前坂 祥文	板東 泰雄(2)	杉本 福(2)	中野 昭子
	井藤 光章	内田 澄子	佐藤 考利(2)	一宮 由子	西原やすこ(2)
	酒井 和子	森住 博	竹宮 悦子	阿部 一雄	清水 貴功
	川真田慶治(2)	上杉 大一(2)	日浅 照夫	林 晴之(3)	大浦 孝悦
	井上 憲治(2)	正満 恭子	三宅 利道	吉村 敏嗣	岡田 博信(2)
	毛利 次郎(2)	吉田 弘	中尾 裕昭(2)	原田 宏	河田 清(2)
	岡村 清(3)	折野 理悦	布村 元	中山 良男(2)	佐治 利弘
	竹内 勝	岡本 清憲(2)	坂東 裕子(2)	坂東 進(2)	古井 謙吉(2)
	梅木 匠	多川 静守(2)	柳本 正(2)	中村 茂人	阿部 美昭
	大栗 隆夫	森山 利明(2)	藤井 秀昭	佐藤 義雄	結城 省三
	矢部 弘子	川端 武夫	赤木 昭子(2)	中川 定典	尾崎 利男(2)
	牧本 正	宮崎 行弘	岸上 俊博	堀口 幸男(2)	池上 充
	梅本 貞範	宮本 幸治	佐々木敏幸	森川ミサ子	大和 健司
	田中 義孝(2)	森本 芳一	浅川 理(3)	笹田 敏雄	原田 武二
	松田みゆき(2)	一宮 泰彦	森 賢一(2)	木下 昇(3)	小山 秀夫
	吉川 和雄	大西 啓子	高木 節子	楠本 喜巳	清水 宗保(2)
	後藤 和美(3)	日下 修三	木村美沙子(2)	小川 勝	藤本 宗子

彫 刻

〔審査員〕 松永 勉
 〔美協副会長〕 河崎 良行
 〔放美賞〕 笠井 正彦
 〔優秀賞〕 中川 伸一
 〔入選〕 沢井 良昭 椋本 幸男 東 光司 西岡 由恵 西島 登
 四宮 達司 原田 綾 田口 雅子 岡崎 陽子 江越 丈士
 加藤 真紀 高田 幸枝

美術工芸

〔審査員〕 森 浩 橋 恵
 〔理事〕 森 昌男
 〔放美賞〕 森 明治
 〔優秀賞〕 井村アイ子 湯浅カツエ 鳥羽 泰子 斉藤 和彦 檜原 道雄
 〔入選〕 喜多 義明 堀渕 素臣 山本 義子 網木 麻雄 野田 理人
 杉原 素子 木内紀久乃 隅田 良佑 鶴山 早苗 加藤 伴江
 森 克江 一條 宏明 石川 純子 住友 和子 佐治 孝
 松山 豊 平野仁太郎 前野 亮治 山田 実 四十宮年代
 檜原フサコ 黒田 雄生 寒川 治雄 岡本亀代子 北島 洋史
 野 山人 楠 正陶 阿部 加代 寺西美恵子 橋本 一成
 天羽千津子 吉田 晃子 濱堀 終規 福岡ムメコ 金澤 美穂
 渡辺知恵子 永山昭一郎 篠原 光彦 楠 博子 陶久 敏郎
 新見 清香 桶川 美恵 田村 恵子 三原 春美 九次米文夫
 渋谷志津子 矢野順三郎 小林 朋美 新居美紗子 千葉 智子
 四宮 恵子 長松 明代 山本 敏子 吉田 敏明 大西 英徳
 大島りつ子 高原真理子 久米 春江 大野麻里子

書 道

〔審査員〕 田村 昇鶴 讃岐 泰泉 荒井 天鶴
 〔理事・運営委員〕 新居 藍州
 〔理事〕 田中 双鶴 上田 溪水 久保 幽香
 〔運営委員〕 玉城 乾香
 〔無鑑査〕 中尾 勝子 近藤 静苑
 〔放美賞〕 平野 幸子
 〔優秀賞〕 高田由里子 武田 淳子 川村 春琴 小川 満子 荒川 佳代
 佐藤美智代 向井 幸子
 〔入選〕 洲崎 忠雄 渡邊 草石 阿部 豊彦 鶴本 彰子 原田 尚文

西野 四郎	阿部 智代	加藤香都子	原田チエ子	吉田 和子
田村 定雄	稲垣 幸	中村 絢子	小野 幸久	岡田 清桂
引地 美貴	谷口 香葩	山口 静濤	前田 美穂	藤本 瑶香
大塚 唯士	大島 明美	合田知恵子	上地 祥子	片山 保
山本 裕子	安東 善之	生田シゲミ	入谷 美伸	徳永 逸夫
小川 徳政	野村千寿子	澤田 哲子	篠原 純子	石川 英郎
柚木美代枝	高木 房一	市原 典子	川端喜美子	森本知世子
坂尾 俊一	横田 典子	前川 花子	日和田裕子	田井 晴風
部 品子	生田 勝子	門田登茂美	矢野由美子	谷井 理恵
井内 縁	須田美由紀	高田麻津咲	野田 和子	林野ひとみ
松島 波	谷口 君子	野口 有香	岩崎紀美子	増川 好美
宇多 千秋	町田 哲子	藤野 陽子	笹田 真里	篠原 加奈
湊 紀子	瀧倉 理恵	岡本 美紀	佐藤 紀子	坂東 光子
上田 久子	川口 裕代	米田 重子	佐野チヨミ	中谷つや子
川人 皓月	小西 敬子	佐藤 松子	浅野 義雄	姫野 君子
大久保愛子	廣瀬 晃代	桑田満里子	高島美恵子	西村 泰子
井内 愛	三浦由城子	太田百合子	福岡ひとみ	佐藤真由美
賀好 治美	稲田 悦代	沼田 裕司	川下 芳婉	藤永 真理
向井美由希				

デザイン

〔審査員〕	浅野 昌哉	坂本三千一	齋藤 繁次	
〔理事・運営委員〕	福井 章			
〔運営委員〕	田中 一郎			
〔無鑑査〕	川崎 孝志			
〔放美査〕	北島 豊嗣			
〔優秀賞〕	敷島のり子	佐藤亜希子	小泉まい子	美鳥 悦子
〔入選〕	北島 節子	天野 美砂	長坂 美香	山下真由美
	篠原由美子	岡山恵美子	筒井 万貴	石田 武
	木藤 祐美	西崎八千代	天野 美砂	堤 志乃(2)
	堀 恵理子	溝渕 幸子	竹内 恭子	森 めぐみ
	幸田 晴美	元木公美子	河内 麻里	常山かおり
	宮岡江理子	一宮 伸匡	清水 直子	阿部真一郎
	美鳥 悦子	福島 智世	重清 嘉宏	四宮 精子
				北島 豊嗣
				吉野 敬子
				背川 光恵
				福本 弥生
				大東 浩司
				遠藤 雅子(2)
				大梅 牧子

黨 綱 大 綱

（一九二九年三月）

（一九二九年三月）

本綱是根據一九二九年三月在莫斯科舉行的共產國際第六次大會的決議而編寫的。本綱是根據一九二九年三月在莫斯科舉行的共產國際第六次大會的決議而編寫的。本綱是根據一九二九年三月在莫斯科舉行的共產國際第六次大會的決議而編寫的。

各 部 記 錄

（一）本綱是根據一九二九年三月在莫斯科舉行的共產國際第六次大會的決議而編寫的。本綱是根據一九二九年三月在莫斯科舉行的共產國際第六次大會的決議而編寫的。本綱是根據一九二九年三月在莫斯科舉行的共產國際第六次大會的決議而編寫的。

（二）本綱是根據一九二九年三月在莫斯科舉行的共產國際第六次大會的決議而編寫的。本綱是根據一九二九年三月在莫斯科舉行的共產國際第六次大會的決議而編寫的。本綱是根據一九二九年三月在莫斯科舉行的共產國際第六次大會的決議而編寫的。

（三）本綱是根據一九二九年三月在莫斯科舉行的共產國際第六次大會的決議而編寫的。本綱是根據一九二九年三月在莫斯科舉行的共產國際第六次大會的決議而編寫的。本綱是根據一九二九年三月在莫斯科舉行的共產國際第六次大會的決議而編寫的。

（四）本綱是根據一九二九年三月在莫斯科舉行的共產國際第六次大會的決議而編寫的。本綱是根據一九二九年三月在莫斯科舉行的共產國際第六次大會的決議而編寫的。本綱是根據一九二九年三月在莫斯科舉行的共產國際第六次大會的決議而編寫的。

（五）本綱是根據一九二九年三月在莫斯科舉行的共產國際第六次大會的決議而編寫的。本綱是根據一九二九年三月在莫斯科舉行的共產國際第六次大會的決議而編寫的。本綱是根據一九二九年三月在莫斯科舉行的共產國際第六次大會的決議而編寫的。

日 本 画 部

部会長代行 中 川 健

平成7年度年間展望

◎第4回放美展（5/3～7県郷土文化会館） 応募点数43点。 昨年より9点多く、力作ぞろいで厳しい審査となった。全般的には好感が持て、期待を感じさせてくれる作品が多かったが、作者の言いたいことがもっと画面の効果として出てもよいと思った。

（放美賞） 「夏日」 杉山正子
（優秀賞） 「異国の花（パンダ）」 柳田一子
「軒下の早春」 西村美也子

◎第50回新作日本画展（6/23～25県郷土文化会館）

長い歴史の新作展です。半世紀の50回展になり部会活動のよい証となりました。

（新作大賞） 濱口芳春・船戸春子
（新 作 賞） 坂本翠雨・鈴木恵子・高橋貞順・中本貞代・秦 照苑・米沢 稔
（佳 作） 久保脇祥雲・坂 容子・高部谿仙・西口澄苑・板東博美・南 清琴

◎第50回県美術展（11/20～26県郷土文化会館）

50回記念展として特別なものがあつた。審査員として過去にもお世話になつた院展同人の下田義寛先生にお願いした。実情を把握された審査で好評であつた。「全国でもレベルが高いと思つた。特に入賞作品はそれぞれに個性的で、言いたいことがはっきり出ている」との総評でもあつた。応募点数65点と、記念展としては少なかつたのが残念であつた。

第50回記念大賞
（特 選） 「温室のハーモニー」 柳田一子
「暮れゆく」 反田 卓
「夜」 日浦猛史
（準特選） 「叢」 杉山正子
「アイスランドポピー」 林 幸子
「1995年1月17日午前5時45分」 鶴 悦子

会員消息 月別に紹介する

1月 鳴門市美協新春展 鳴門四電ギャラリー 高田瑞雪・釣島冬樹・村上凌雪
2月 第30回日本墨彩画院展 高松文化会館 篠原三叢・高田瑞雪・長谷 壽
森 薫苑・矢野秋溪

- 3月 第35回日本南画院展 東京 京都 大阪美術館 篠原三叢・長谷 壽・濱口芳春
村上凌雪・森 蔦苑
- 5月 徳島新聞「戦後50年徳島文化史」
日本画の部執筆 長尾弘子
- 〃 鳴門市文化展 鳴門市市民会館 高田瑞雪・村上凌雪・矢野秋溪
- 〃 5月(MAY)展 鳴門四電ギャラリー 高田瑞雪・村上凌雪
- 〃 第4回放美展 県郷土文化会館 (出品者の詳細は前頁で掲載済)
- 〃 第34回阿南市展 阿南市民会館 篠原三叢・津田津保三・長谷 壽
秦 照苑・森 蔦苑
- 6月 ドイツ・リュネブルグ日独交流小作品展 高田瑞雪・村上凌雪
- 〃 第50回新作日本画展 県郷土文化会館 (詳細は前頁で掲載済)
- 7月 第24回中央展出品絵画展 県郷土文化会館 江上豊溪・篠原三叢・長谷 壽
濱口芳春・村上凌雪・森 蔦苑
- 〃 第25回絵で見る徳島展 県郷土文化会館 篠原三叢・永井貞溪・長谷 壽
濱口芳春・森 蔦苑・横田谿秀
- 8月 夏展鳴門市美術協会展 鳴門四電ギャラリー 高田瑞雪・釣島冬樹・村上凌雪
- 10月 第53回有秋会展 大阪市美術館 森 蔦苑(無鑑査) 篠原三叢
長谷 壽・濱口芳春
- 〃 第27回日展 東京都美術館 岡 英彦(入選)
- 〃 第24回阿南市文化祭展 阿南市民会館 篠原三叢・津田津保三・長谷 壽
秦 照苑・森 蔦苑
- 〃 第29回珀雲社日本画展 県郷土文化会館 篠原三叢・長谷 壽・濱口芳春
林 幸子・村上凌雪・森 蔦苑
- 11月 土井洋子個展 県立近代美術館 土井洋子(芸術祭優秀賞)
- 〃 全国水墨画展 高知県田野町 秦 照苑・森 蔦苑
- 12月 第24回歳末チャリティー 徳島そごう8階 江上豊溪・岡 英彦・木内トシ
篠原三叢・高田瑞雪・長尾弘子
橋本正弘・土方喜美子・村上凌雪
森 蔦苑・矢野秋溪
- 〃 歳末助け合いチャリティー 善通寺市社会福祉協議会 森 蔦苑

平成8年度年間展望

◎第5回放美展（5／8～12県郷土文化会館）

回を重ねるたびに応募点数がふえていて、厳しい審査となってきたが、出品作のレベルも高くなり、フレッシュで意欲的な作品が数多く見られた。応募点数54点で、うち38が入賞、入選となった。選にもれた作品の中にも魅力ある作品が多かったが、絵を描くということはどういうことなのか、よく考える努力がほしいと思った。

- （放美賞）「ふたり」 藤原満代
（優秀賞）「百合の咲く」 福田佳代子
「祈り」 森脇泰子
「晩秋」 柳田一子

◎第51回新作日本画展（7／19～21県郷土文化会館）

荻野行夫部会長の御病気、入院により今回の新作展から、運営面で大きな穴ができ心配されたが、委員の方々のいっそうの御努力で79点という例年以上の出品点数がそろい、無事終えることができました。

- （新作大賞）濱口芳春・三ツ本繁美
（新作賞）市川義溪・中本貞代・若山一恵・木内和美・久保脇祥雲・南 清琴
（佳作）高橋貞順・秦 照子・宮城蒼泉・岡沢茂子・坂本翠雨・庄野香穂

◎第51回県美術展（11／10～17県郷土文化会館）

今回は創画会の工藤甲人先生に審査をお願いした。「県展としては一定の水準に達した作品が目立ち、懸命な努力の跡がうかがえる。会場の広さに合わせて入選作品数が限定されるのは展覧会の宿命。非常に惜しい選外作品もあった。今回つらい思いをした人たちは、研究を重ねながら作品に取り組んでほしいと思う」との総評であった。応募点数72点。入賞8点。入選31点。年ごとに作品が大きくなり、会場との関係を今回も考えさせられることになった。

- 第50回記念大賞
（特選）「あじさいの路」 斉藤久代
「朝が来るまで」 村松多美子
（準特選）「群」 中西芳雄
「はくれん花」 林 幸子
「梁家」 中本貞代
（奨励賞）「溪流」 久保脇吉二
「旅情（ベニス）」 西村美也子
「ヨーヨー釣り」 岩瀬洋子

会員消息

5月に長尾弘子氏が主宰する「第6回朱泥会展」と同時に、氏が25年間担当、制作してきた「とくしま県民文芸」の表紙絵25点を発表、展示、ともども好評を得られていた。以下月別に紹介する。

1月	個展「阿波の家屋」	ドクターエンド徳島店	吉崎 進
〃	新春鳴門市美術協会展	鳴門四電ギャラリー	高田瑞雪・釣島冬樹・村上凌雪
3月	日本墨彩画院展	高松文化会館	篠原三叢・高田瑞雪・長谷 壽 森 蔦苑
〃	第36回日本南画院展	東京 京都 大阪美術館	森蔦苑（佳作賞） 篠原三叢 長谷 壽・濱口芳春・村上凌雪
5月	第5回放美展	県郷土文化会館	（出品者の詳細は前頁で掲載済）
〃	日本墨彩画院展	高松文化会館	篠原三叢・高田瑞雪・長谷 壽 森 蔦苑
〃	第35回阿南市展	阿南市民会館	篠原三叢・津田津保三・長谷 壽 秦 照苑・森 蔦苑
7月	第51回新作日本画展	県郷土文化会館	（詳細は前頁で掲載済）
〃	第25回中央展出品絵画展	県郷土文化会館	篠原三叢・長谷 壽・濱口芳春 村上凌雪・森 蔦苑
〃	第26回絵で見る徳島展	県郷土文化会館	篠原三叢・永井貞溪・長谷 壽 濱口芳春・森 蔦苑・横田谿秀
8月	鳴門市美術協会日本画 小品展	ドイツ館ギャラリー	高田瑞雪
10月	第28回日展	東京都美術館	岡 英彦・橋本正弘 土方るみ子（入選）
〃	第54回有秋会展	大阪市美術館	森 蔦苑（無鑑査） 濱口芳春（雲谿賞） 篠原三叢 長谷 壽
〃	第25回阿南市文化祭典	阿南ひまわり会館	篠原三叢・津田津保三・長谷 壽 秦 照苑・森 蔦苑
〃	第30回珀雲社日本画展	県郷土文化会館	篠原三叢・長谷 壽・濱口芳春 林 幸子・村上凌雪・森 蔦苑
11月	全国水墨画展	高知県田野町	秦 照苑・森 蔦苑
12月	鳴門市美術協会日洋合同展 歳末助け合いチャリティ	徳島四電ギャラリー 善通寺市社会福祉協議会	高田瑞雪・村上凌雪 森蔦苑

洋 画 部

部 会 長 永 山 隆 二

平成7年度年間展望

◎第50回記念県美術展（第2期11/20～26 県郷土文化会館）

応募総数も300点前後に定着し、確かな存在感のある美術展となった。50回記念展を契機として益々の発展を期待したい。審査員には、三栖右嗣先生にお願いした。審査評を要約して紹介します。私は作者の気持ちがストレートに表現されている作品に最も感動を受ける。今回の審査でも、何に感動し、何を表現したかったのか、作者の心が響いてくるような作品を選んだ。記念大賞の南城ミツ子「阿波踊り」は、この街で生きる人の実感が出ている。色彩や構図にも熟練した力があり、おはやしが聞こえてきそうな躍動感がある。県美術家協会会長賞の玉田秀子「日曜市にて1」は、日曜市の人込みを楽しく描き、生活の温かさがにじみ出て、作者の思いが伝わってくる。特選の伊勢浩章「船溜り」は遠景のぼやけた景色の処理がうまく、作品に雰囲気を持たせている。同じく特選の増井厚子「早春」は田園のすがすがしい透明な空気が伝わってくるような作品。

◎第4回放美展（5/3～7 県郷土文化会館）

応募点数188点と昨年とほとんど変わらないが、壁面の関係上、相変わらず厳選となった。

放美賞 南城ミツ子 「阿波おどり」

優秀賞 桐島豊子 「田園風景」

曾我部秀子 「囲炉裏端の静物Ⅰ」

元廣俊子 「昼下り」

吉永房子 「街Ⅱ」

関 京子 「八月十五日」

島川君子 「阿波の木偶」

佐藤昭子 「ひまわりⅡ」

坂東佳代子 「阿波おどり」

◎第10回記念洋画部会員展（6/1～4 県郷土文化会館）

今回は第10回展を記念して、過去5年間の県展及び放美展の受賞作品を特別陳列することにした。その結果、一般71点、特別陳列23点となり合計94点という盛大な展覧会を開催することができました。

会員・個人消息

※○美術年報名簿順、△住所変更、◎新会員

○青木 幸子 放美展、県展（郷文）。八紅展（シビック）。

○天野 節 県展賛助、青美展、徳島市文化展審査、青美展審査（郷文）。慣用色名絵

覧（大学院資料として東京文化女子大学図書館へ）。

- 伊勢 浩章 放美展優秀賞、県展、洋画部会員展特別陳列、平和美術展（郷文）。むつ美会水彩展、月曜会展（四電）。
- 乾 繁春 美術文化展会友。関西美術文化展（大阪市立美術館）。県展奨励賞、洋画部会員展（郷文）。美術文化四国支部展（松山）。世代美術展（シビック）。キッキング16人展（四電）。県芸術祭秀作巡回展出品。個展、県芸術祭奨励賞（県立近代美術館ギャラリー）。
- 大神 良代 自由美術展会員。県女流美術展、洋画部会員展、県展賛助、県女流美術小品展（郷文）。個展（阿波の里）。
- 大西利津子 八紅展（シビック）。県展準特選（郷文）。
- 岡 多美子 新象展（東京都美術館）。第81回県女流美術家協会小品展、中央展出品絵画展、第82回県女流美術家協会展（郷文）。第25回徳島仙台文化交流美術展（仙台）。
- 岡田 君代 平和美術展、洋画部会員展、青美展（郷文）。16人展（四電）。
- 岡田 信一 サロン・デ・ボザール展（東京都美術館）。サロン・デ・ボザール展巡回展（大阪府立労働センター）。
- 岡田 守 県展賛助、洋画部会員展（郷文）。全美展、世代美術展（シビック）。
- 尾形 正二 日本アンデパンダン展。平和美術展、洋画部会員展、県展（郷文）。
- 賀木 道子 旺玄会展会員出品（東京都美術館）。旺玄会展選抜巡回展（愛知県立美術館、大阪市立美術館）。
- 河野 英昭 近代日本美術協会展努力賞（東京都立美術館）。鴨島美術グループ展（郷文）。
- 河田 安市 日展入選。白日会会員出品。県展賛助、洋画部会員展、教職員展委嘱（郷文）。
- 岸本 花子 洋画部会員展、県展（郷文）。八紅展（シビック）。八万町文化祭（八万町コミュニティセンター）。
- 騎馬 政美 洋画部会員展、放美展、青美展、県展（郷文）。キッキング16人展（四電）。
- 楠瀬 等 県展招待（郷文）。
- 黒崎 志郎 示現会展会員。日展。示現会徳島支部展（シビック）。県展賛助、放美展審査員、洋画部会員展（郷文）。
- 後藤ユリ子 現展。県展、放美展、洋画部会員展、県女流美術展、県女流美術小品展（郷文）。仙台徳島交流美術展（宮城県美術館）。
- 後藤田仁一 美術文化展会員出品。美術文化の14人展（銀座アートギャラリー）。関西美術文化会員出品（大阪天王寺）。美術文化四国支部展（愛媛県立美術館）。

県展賛助、洋画部会員展（郷文）。世代美術展（シビック）。

- 齋藤 靖子 日本板画院展同人。麻布美術館評議員。県女流美術展、県女流美術小品展、絵で見る徳島展、洋画部会員展、徳島市展招待（郷文）。OASIS' 96（大阪）。国際平和香日美術交流展（香港）。徳島仙台交流美術展（仙台）。キスング展（四電）。
- 嵯峨 潤三 '96・ザ・ニシノミヤ（アトリエ西宮）。joint 2人展（四電）。西宮美術協会展、すどり洋画展（西宮市民ギャラリー）。詩展（シビック）。個展（グレイス）。
- ◎相良 安彦 県展、洋画部会員展（郷文）。個展（アスティ徳島）。
- 笹川 五月 青美展、平和美術展、旺玄会展、洋画部会員展特別出品 5点（郷文）。八万町文化祭（八万コミュニティセンター）。18人展（四電）。
- ◎佐々木 超 放美展優秀賞、県展、洋画部会員展（郷文）。八紅展（シビック）。八万町文化祭（八万コミュニティセンター）。
- 佐野比呂志 関西独立展無鑑査（大阪市立美術館）。全展委員（東京都立美術館）。県展特別出品、放美展会長出品、徳島市展審査員、県教職員展招待出品（郷文）。世代美術展、全美展（シビック）。
- 四宮 久子 二紀展。6人展。アトリエバク展。
- 清水 亟悞 個展（徳島そごう）。
- 下内 裕次 モダンアート展。関西モダンアート展（高松市美術館）。県展、中央展出品絵画展（郷文）。徳島県秀作巡回美術展（県下巡回）。
- 鈴江美代子 旺玄会展。洋画部会員展、中央展出品絵画展、ふるさとを描き遺す会展、県展、県高齢者美術展受賞（郷文）。
- 谷 節子 ふるさとを描き遺す会展、旺玄会展、徳島市美術展、洋画部会員展、中央展出品絵画展（郷文）。画展ふるさと。旅の思い出個展。
- 玉田 秀子 放美展無鑑査、県展特選（郷文）。八紅展（シビック）。
- 辻野 正廣 県展、放美展、洋画部会員展（郷文）。
- 露口 敏幸 県展招待、教職員展委嘱（郷文）。
- 中村 晴代 全美展（シビック）。
- △長野 満子 二科展、旺玄展（東京上野）。ふるさとを描き遺す会展、洋画部会員展、中央展出品絵画展、絵で見る徳島展、三美展、阿波おどり展（郷文）。
- 永山 隆二 放美展運営委員。県展運営委員。県展特別出品、放美展審査員出品、教職員展招待、徳島市文化展審査員出品、洋画部会員展（郷文）。世代美術展（シビック）。18人展（四電）。
- 南城ミツ子 日展。東光会展会友。県展、洋画部会員展、放美展無鑑査、徳島市展無鑑

査、教職員展委嘱、東光会徳島支部展（郷文）。

- 西川 周三 平和美術展（郷文）。
- 西川 敬子 県展、洋画部会員展、平和美術展、県女流美術小品展、県女流美術家協会展、サギノー芸術家と文化展（郷文）。
- 平尾マサミ 放美展、県展（郷文）。二人展（森珈琲店）。二人展（常設展、文化の森美術館レストラン）。
- 平木 美鶴 浜松版画大賞展奨励賞（浜松市立美術館）。アルバータ大学版画センター竣工記念展（カナダ）。木版干花（銀座井上画廊）。二紀展。日本版画協会展。
- 福富 正二 放美展、洋画部会員展（郷文）。
- 藤居 文子 洋画部会員展（郷文）。
- 藤川 明子 中央絵画クラブ展、全美展（シビック）。徳島市文化展招待（郷文）。
- 榊田 務 東光会徳島支部展、県展賛助（郷文）
- ◎松浦 節子 旺玄会展。中央展出品絵画展、県展、放美展、洋画部会員展、ふるさとを描き遺す会展（郷文）。
- 三木 俊一 東光会展。東光会徳島支部展（郷文）。白鳳グループ展（鳴門市図書館）。
- 三谷ミヤ子 県展、放美展、洋画部会員展（郷文）。個展、八紅展（シビック）。八万文化祭展（八万コミュニティセンター）。個展（阿波銀行富田支店）。
- 峯 幸子 県女流美術小品展、洋画部会員展、む・アート展、県女流美術展（郷文）。仙台徳島文化交流展（仙台県民ギャラリー）。小さな風景スケッチ展（安田火災ギャラリー）。
- ◎宮井 一三 中央絵画クラブ展（シビック）。放美展、県展（郷文）。
- ◎元廣 俊子 県展、放美展、洋画部会員展（郷文）。八紅展（シビック）。
- 山口 和子 全美展、中央絵画展（シビック）。
- ◎吉田収二郎 旺玄会展会友。中央展出品絵画展、県展、ふるさとを描き遺す会展（郷文）。
- 吉永 房子 教職員展、放美展、青美展、県展（郷文）。
- 大西 文代 中央絵画クラブ展（シビック）。放美展、県展準特選（郷文）。
- 岡田 克美 県展（郷文）。新春展（四電鳴門）。鳴門市展（鳴門市民会館）。'96鳴門美協会展（四電徳島）。
- 尾崎 素子 東光会展。日展。白鳳洋画グループ展（鳴門市立図書館）。
- 河野 公子 青美展、洋画部会員展、平和美術展（郷文）。18人展（四電ギャラリー）。鳴門市展（鳴門市民会館）。
- 鈴木 明雄 青美展（郷文）。土曜展（安田火災ギャラリー）。
- 原田チエ子 東光会展、放美展、ふるさと展、青美展、東光会支部展（郷文）。白鳳グ

ループ展（鳴門市図書館）。鳴門市展（鳴門市民会館）。

- 北 美智子 徳島市展徳島新聞社長賞、放美展、県展（郷文）。八紅展（シビック）。
- 佐藤 敬子 放美展、洋画部会員展、青美展、鴨島美術グループ展（郷文）。
- 関 政明 洋画部会員展、放美展、県展（郷文）。小松島市展（中央会館）。ひのみね三人展（四電）。自由工房展、那賀川美術の会展（シビック）。
- 福本 武子 東光会展。洋画部会員展、東光会徳島支部展（郷文）。
- 福良 哲子 県展、放美展、徳島市芸術祭文化展市長賞（郷文）。八紅展（シビック）。加茂谷文化祭（加茂谷公民館）。
- 井沢 忠昭 放美展（郷文）。阿南市展阿南市長賞（阿南）。
- 大宮 和雄 青美展（郷文）。土曜展（安田火災ギャラリー）。
- 笹田 興一 美術文化展会友。美術文化関西展大阪市教育委員会長賞（大阪市立美術館）。洋画部会員展（郷文）。美術文化四国支部展（松山）。
- 中辻奈美枝 県展、洋画部会員展（郷文）。徳島二紀展（近代美術館）。徳島二紀小品展（鴨島町文化研修センター）。
- 住友 義彦 洋画部会員展（郷文）。羽ノ浦町民文化祭美術展。
- 武市善次郎 日本美術会会員。徳島青年美術家クラブ副会長。徳島平和美術展実行委員長。石井美術の会顧問。教職美術展招待、徳島平和美術展、洋画部会員展、青美展、石井美術の会作品展（郷文）。石井美術の会夏期作品展（シビック）。16人展（四電）。日本アンデパンダン展（東京都美術館）。
- 立岩 巖 第34回全日本美術協会展内閣総理大臣賞（東京都美術館）。第22回全展フォーカス作家選抜展（上野の森美術館）。第10回前年度各展受賞者選展（銀座松坂屋カトレヤサロン）。県展招待、教職員美術展招待、洋画部会員展、第28回石井美術の会作品展（郷文）。全美展、世代美術展、石井美術の会夏期作品展（シビック）。キッスング17人展（四電）。
- 谷 佳子 昭和美術展努力賞（京都美術館）。洋画部会員展（郷文）。センス展（四電）。
- 前野 亮治 放美展、県展、3美展（郷文）。
- 松川 寛 モダンアート徳島支部展、アトリエM展（近代美術館）。モダンアート展（東京都美術館）。洋画部会員展、燎4人展、県展賛助（郷文）。
- 水間 利生 美術文化展。美術文化関西展。県展、洋画部会員展（郷文）。世代美術展（シビック）。美術文化四国支部展（愛媛県立美術館）。石井美術の会展。
- 宮本 幸江 東光会展会友。洋画部会員展、県女流美術展、東光会徳島支部展、中央展出品絵画展、石井美術の会展、県女流美術小品展（郷文）。女流美術仙台交流展（仙台）。石井町文化展（石井中央公民館）。県秀作巡回美術展（県

下巡回)。

- 毛利 谷子 東光会会友。洋画部会員展、石井美術の会展、東光会徳島支部展、県女流美術展・サギノー芸術家と文化交流展、中央展出品絵画展（郷文）。個展（シビック）。仙台徳島文化交流展（仙台県民ギャラリー）。
- 大塚 政孜 県展、洋画部会員展、試行展（郷文）。
- 越久 高照 放美展、青美展（郷文）。藍美展（藍住町福祉センター）。
- 久米 正明 県展、洋画部会員展（郷文）。北島町ふるさとを描き残す会展（北島町図書館）。
- 二條 均 放美展、洋画部会員展、平和美術展、青美展、県展（郷文）。板野美術クラブ展。
- 浜尾みつこ 放美展、洋画部会員展（郷文）。北島町ふるさとを描き残す会展（北島町図書館）。
- 板東 俊一 大潮展会員。県展賛助（郷文）。藍美展顧問（藍住町福祉センター）。
- 堀切 蔦子 全美展、中央絵画展（シビック）。
- 三沢 尚子 関西水彩画展（大阪市立美術館）。燎四人展、県女流美術小品展、県女流美術展・サギノー芸術家と文化交流展、洋画部会員展（郷文）。ペアーレ水彩画展（四電）。
- 三好 初子 東光展会員。県女流美術小品展、洋画部会員展、中央展出品絵画展、県女流美術展・サギノー芸術家と文化交流展、東光会徳島支部展、県展準特選（郷文）。東光会会員選抜展（銀座セントラル美術館）。仙台徳島文化交流展（宮城県民ギャラリー）。藍美展（藍住町福祉センター）。
- 岡田 光男 洋画部会員展、放美展、鴨島美術グループ展、青美展（郷文）。
- 岡本 征二 県展招待、洋画部会員展（郷文）。土曜展（安田火災ギャラリー）。徳島二紀小品展（鴨島町文化研修センター）。
- △島上 二郎 東光展、県展、洋画部会員展（郷文）。
- 下時治郎秀臣 白日会展（東京都美術館）。白日会巡回展（大阪、名古屋、鹿児島）。白日会選抜展（大阪梅田）。白叡会展（大阪梅田）。秀作美術展（大阪、九州他）。麻の会展（徳島そごう）。
- 志摩 政照 鴨島美術グループ展（郷文）。
- 真野 孝彦 放美展、県展、青美展、鴨島美術グループ展（郷文）。徳島二紀展（近代美術館）。徳島二紀小品展（鴨島町文化研修センター）。県西部を描く展（池田四電ホール）。
- 湯岑エミ子 放美展、県展、鴨島美術グループ展（郷文）。
- 浅田 二郎 東光会会員。洋画部会員展（郷文）。

- 小笠 正明 旺玄会展。旺玄会徳島支部展（眉峰ギャラリー）。
- ◎佐藤 昭子 放美展、県展（郷文）。八紅展（シビック）。
- 島川 君子 東光会展会友。放美展放美賞、洋画部会員展、東光会支部展、県展特選四国放送社長賞（郷文）。脇町文化祭展（脇中体育館）。
- 関 京子 放美展優秀賞、県展準特選（郷文）。八紅展（シビック）。脇町文化祭（脇中体育館）。八万文化展（八万法花コミュニティセンター）。
- 田所 米子 平和美術展、青美展（郷文）。草美展（東京浅草）。脇町文化祭展（脇中体育館）。
- 藤本 晴子 二科展（東京都立美術館）。県展、洋画部会員展、中央展、試行グループ展（郷文）。個展（脇町郵便局）。
- 三谷多美子 中央展出品絵画展、試行展（郷文）。県秀作巡回美術展（県下6会場）。個展（つじよしギャラリー）。
- ◎片岡 光子 県展（郷文）。土曜画会展（池田小）。三好郡交流美術展（三加茂町）。
- 金岡 義和 現代童画展。中央展出品絵画展（郷文）。
- 川原 康孝 放美展審査員出品、洋画部会員展、県展招待（郷文）。全美展（シビック）。土曜画会展。三好文化祭。
- 川原 真琴 土曜画会展。三好文化祭（三加茂町）。洋画部会員展（郷文）。
- 藤埜 理 旺玄会展。洋画部会員展（郷文）。
- 山口美千代 洋画部会員展（郷文）。

平成8年度年間展望

◎第51回県美術展（第1期11/10～17 県郷土文化会館）

審査員には東京芸術大学名誉教授の中根 寛先生にお願いした。審査評を要約して紹介します。絵画は色彩や形、構図、デッサン力といった要素がバランス良く表現されて初めて、一つの効果としてわれわれに訴えてくる。作者が表現したいものと、それを支える技術、感覚が必要だ。そうした総合的な観点から審査した。四国放送社長賞の島川君子「舞台裏」は、色彩豊かでデッサン力がある作品。筆遣いに力強さが感じられ、表現に対する作者の自信が表れている。特選の玉田秀子「市のたつ日Ⅱ」は、柔らかい色彩感覚で、白色の使い方がうまい。日ごろ見慣れた生活の一場面をうまく表現している。同じく特選の島上二郎「門」は、点描的な技法を用いて、雪の日の寺院の静寂な雰囲気うまく表現されている。

◎第5回放美展（5/8～12県郷土文化会館）

放美展も第5回展を迎え、応募数も180数点に定着してきた感がある。受賞者は次のとおり。

放美賞 島川君子「舞台裏」

優秀賞 桐島豊子「田園風景」

浅山久子「露天市場」

佐藤昭子「ひまわりⅠ」

関 京子「秋の蓮池」

佐々木超「わかめの収穫」

伊勢浩章「漁船」

岡田光男「出稼ぎ（天津にて）」

曾我部秀子「囲炉裏のはたで」

◎第11回洋画部会員展（5／30～6／2 県郷土文化会館）

今回から会員展の会場において、ミニ個展として、希望する会員の作品を特別コーナーに展示することにした。4名の希望者があり、会員展出品者と合わせて100点になり、見ごたえのある大展示会を開催することができました。これも会員の皆様と会員展実行委員の方々の、ご協力のたまものと思っております。これからも皆様と協力しあって益々発展させていきたいと思っております。

会員・個人消息

※○美術年報名簿順、△住所変更、◎新会員

○青木 幸子 放美展、県展（郷文）。八紅展（シビック）。

○天野 節 県展賛助、青美展、徳島市文化展、洋画部会員展（郷文）。

○伊勢 浩章 放美展、県展特選、洋画部会員展、平和美術展（郷文）。日本水彩支部展、月曜会展（四電）。

○乾 繁春 美術文化展会友。関西美術文化展（大阪市立美術館）。県展、洋画部会員展、中央展出品絵画展、美術文化徳島巡回展（郷文）。世代美術展（シビック）。キッスング17人展（四電）。八万文化祭（八万コミュニティセンター）。

○岡田 君代 平和美術展、洋画部会員展、青美展（郷文）。16人展（四電）

○岡田 信一 県展（郷文）。

○岡田 守 県展賛助、洋画部会員展（郷文）。全美展、世代美術展（シビック）。

○尾形 正二 旺玄会展、平和美術展、洋画部会員展、中央展出品絵画展、旺玄会徳島支部展（郷文）。

○賀木 道子 旺玄会展会員出品。旺玄会選抜巡回展（愛知・大阪）。旺玄会徳島支部展、洋画部会員展、中央展出品絵画展（郷文）。

○河野 英昭 近美協会展（東京都立美術館）。長浜町を描く絵画展長浜町長賞（愛媛県立美術館）。鴨島美術グループ展（郷文）。

○河田 安市 白日会会員出品。県展賛助、洋画部会員展、教職員展委嘱（郷文）。

○岸本 花子 洋画部会員展（郷文）。八紅展（シビック）。八万町文化祭展（八万コミュニティセンター）。

○騎馬 政美 放美展、洋画部会員展、青美展（郷文）。キッスング18人展（四電）。

- 楠瀬 等 県展招待（郷文）。
- 黒崎 志郎 示現会展会員。示現会徳島支部展（シビック）。県展賛助、洋画部会員展（郷文）。
- 後藤ユリ子 現展。県展準特選、洋画部会員展、青美展、県女流美術展（郷文）。
- 後藤田仁一 美術文化会員出品。関西美術文化展会員出品（大阪天王寺）。県展賛助、洋画部会員展、徳島市展招待（郷文）。世代美術展（シビック）。
- 斎藤 靖子 日本板画院展同人（東京都美術館）。県女流美術展、県女流美術小品展、絵で見る徳島展、徳島市展招待（郷文）。メゾン・ド・アール展（大阪）。日本の美術交流展準大賞（東京）。麻布美術館大賞展準大賞（東京）。キスング（四電）。
- 嵯峨 潤三 '97・ザ・ニシノミヤ（アトリエ西宮）。第20回ART' 81展（大阪現美センター）。洋画部会員展（郷文）。西宮美術協会展。
- 佐野比呂志 関西独立展無鑑査（大阪市立美術館）。県展特別出品、放美展会長出品、徳島市展審査員、県教職員展招待（郷文）。世代美術展、全美展（シビック）。
- 四宮 久子 二紀展。6人展。アトリエバク展。個展（徳島そごう）。
- 清水 亟悞 モダンアート展会員。個展（高松宮武画廊）。M&M作品展。個展（徳島そごう）。平和美術展、県展招待（郷文）。ニレ選展（東京銀座）。一枚の絵掲載。国際美術展奨励賞。
- 下内 裕次 モダンアート展、モダンアート明日への展望（横浜市民ギャラリー）。関西モダンアート展（大阪府立現代美術センター）。県展、モダンアート徳島支部展、中央展出品絵画展（郷文）。個展（安田火災ギャラリー）。
- 玉田 秀子 放美展無鑑査、県展県美術家協会会長賞（郷文）。八紅展（シビック）。
- 露口 敏幸 県展招待、教職員展委嘱（郷文）。
- 中村 晴代 全美展（シビック）。
- △長野 満子 ふるさとを描き遣す会展、洋画部会員展、中央展出品絵画展、絵で見る徳島展、放美展（郷文）。二科展。旺玄展（東京上野）。
- 永山 隆二 放美展運営委員。県展運営委員。県展特別出品、放美展運営委員出品、教職員展招待、徳島市文化展審査員出品、洋画部会員展（郷文）。世代美術展（シビック）。18人展（四電）。
- 南城ミツ子 日展。東光会展会友。県展第50回記念大賞受賞、洋画部会員展、放美展放美賞、教職員展委嘱、徳島市展無鑑査、東光会徳島支部展（郷文）。
- 原 たず あわ洋画ぐるうぶ展（シビック）。
- 平木 美鶴 第1回東京国際ミニプリントトリエンナーレ展。汎瀬戸内現代美術展（岡

山県総合文化センター)。個展 (wakeupギャラリー)。二紀展。日本版画協会展。

- 福富 正二 放美展、洋画部会員展 (郷文)。
- 藤居 文子 洋画部会員展 (郷文)。
- 藤川 明子 中央絵画クラブ展、全美展 (シビック)。
- 樹田 務 東光会徳島支部展、県展賛助 (郷文)。
- 松浦 節子 旺玄会展。中央展出品絵画展、県展、放美展、洋画部会員展、ふるさとを描き遺す会員展 (郷文)。
- 峯 幸子 県女流美術小品展、洋画部会員展、む・アート展、県女流美術展 (郷文)。ぐるぐる展 (県立近代美術館)。
- ◎宮井 一三 中央絵画クラブ展 (シビック)。放美展、県展 (郷文)。
- ◎元廣 俊子 県展、放美展、洋画部会員展 (郷文)。八紅展 (シビック)。
- 山口 和子 全美展、中央絵画展 (シビック)。
- ◎吉田収二郎 旺玄会展会友。中央展出品絵画展、県展、ふるさとを描き遺す会展 (郷文)。
- 大西 文代 中央絵画クラブ展 (シビック)。放美展、県展 (郷文)。
- 岡田 克美 洋画部会員展 (郷文)。新春展 (四電鳴門)。鳴門市展 (鳴門市民会館)。
- 鈴木 明雄 青美展、県展 (郷文)。土曜展 (安田火災ギャラリー)。
- 田淵 浜子 旺玄会展会員。旺玄会大阪選抜展 (大阪市立美術館)。県展準特選 (郷文)。県秀作美術展 (県下巡回)。
- 北 美智子 徳島市展徳島新聞社長賞、県展、放美展、洋画部会員展 (郷文)。八紅展 (シビック)。
- 関 政明 洋画部会員展 (郷文)。小松島市展 (中央会館)。自由工房展、那賀川美術の会展 (シビック)。油絵三人展 (恰美術館)。個展 (那賀川町図書館ほか)。
- 福本 武子 東光会展。洋画部会員展、東光会徳島支部展 (郷文)。
- 福良 哲子 県展、放美展、徳島市芸術祭文化展市議会議長賞、洋画部会員展 (郷文)。八紅展 (シビック)。加茂谷文化祭 (加茂谷公民館)。
- 大宮 和雄 青美展 (郷文)。土曜展 (安田火災ギャラリー)。
- 笹田 興一 美術文化展会友。美術文化関西大阪市教育委員長賞 (大阪市立美術館)。美術文化四国支部展 (松山)。洋画部会員展 (郷文)。
- 中辻奈美枝 二紀同人。洋画部会員展 (郷文)。徳島二紀展 (近代美術館)。
- 住友 義彦 洋画部会員展 (郷文)。羽ノ浦町民文化祭美術展。
- 武市善次郎 日本美術会会員推挙。日本アンデパンダン展 (東京都美術館)。洋画部会員展、教職員展、石井美術の会作品展、青美展、徳島平和美術展 (郷文)。18人展 (四電)。

- 立岩 巖 第33回全日本美術協会展（東京都美術館）。第21回全展フォーカス作家選抜展佳作賞（上野の森美術館）。第9回前年度各展受賞者選展（銀座松坂屋）。県展招待、教職員美術展招待、洋画部会員展、中央展出品絵画展、第27回石井美術の会作品展（郷文）。全美展、世代美術展（シビック）。キッキング17人展（四電）。
- 谷 佳子 昭和美術会会友選抜展（京都）。昭和美術展奨励賞（京都市美術館）。洋画部会員展（郷文）。センス展（四電）。
- 前野 亮治 県展（郷文）。
- 松川 寛 モダンアート展（東京都美術館）。関西モダンアート展（大阪）。モダンアート徳島支部展、県展賛助、洋画部会員展、平和美術展、燎4人展、石井美術の会作品展（郷文）。アトリエM展（近代美術館）。
- 水間 利生 美術文化展。美術文化関西展。美術文化四国支部展（香川）。県展、洋画部会員展、石井美術の会作品展（郷文）。世代美術展（シビック）。
- 宮本 幸江 東光会会友。洋画部会員展、第80回徳島女流美術・仙台・ブラジル交流展、中央展出品絵画展、石井美術の会展、東光会徳島支部展（郷文）。石井町文化祭（石井中央公民館）。県女流美術小品展（阿波の里）。
- 毛利 谷子 東光会会友。洋画部会員展、東光会徳島支部展、石井美術の会展、県女流美術展、中央展出品絵画展（郷文）。
- 大塚 政孜 県展、洋画部会員展（郷文）。試行展（四電）。
- 越久 高照 洋画部会員展、放美展、県展、青美展（郷文）。藍美展（藍住町福祉センター）。
- 久米 正明 県展、洋画部会員展（郷文）。北島町ふるさとを描き残す会展（北島町図書館）。
- 二條 均 放美展、洋画部会員展、平和美術展、青美展、県展（郷文）。板野美術クラブ展。
- 浜尾みつこ 徳島市展、放美展、洋画部会員展、県展（郷文）。北島町ふるさとを描き残す会展（北島町図書館）。
- 板東 俊一 大潮展会員。藍美展顧問（藍住町福祉センター）。
- 堀切 蔦子 全美展、中央絵画展（シビック）。
- 三沢 尚子 関西水彩画展（大阪市立美術館）。燎4人展、県女流美術展、県女流美術小品展、洋画部会員展（郷文）。ペアーレ水彩画展（四電）。
- 三好 初子 東光会会員。徳島市展無鑑査、洋画部会員展、中央展出品絵画展、県女流美術展・仙台徳島文化交流展・ブラジル文化交流展、東光会徳島支部展、県展（郷文）。東光会会員選抜展（銀座セントラル美術館）。藍美展（藍住

町福祉センター)。

- 岡田 光男 鴨島美術グループ展 (郷文)
- 岡本 征二 県展招待、洋画部会員展 (郷文)。土曜展 (安田火災ギャラリー)。徳島二紀 (近代美術館)。
- △島上 二郎 東光展。県展、洋画部会員展 (郷文)。
- 下時次郎秀臣 白日会展 (東京、名古屋、大阪、九州)。白叡会展。白日会選抜展。麻の会展 (徳島そごう)。鴨島美術グループ展 (郷文)。
- 志摩 政照 白日会展。県展、鴨島美術グループ展、試行展 (郷文)。
- 湯峯エミ子 示現会展 (東京都美術館)。県展、鴨島美術グループ展 (郷文)。
- 浅田 二郎 東光会会員。洋画部会員展 (郷文)。
- ◎佐藤 昭子 放美展、県展、洋画部会員展 (郷文)。八紅展 (シビック)。
- 藤本 晴子 二科展 (東京都立美術館)。県展、洋画部会員展、中央展出品絵画展 (郷文)。個展 (岩倉郵便局)。脇支部グループ展 (脇町N T T) 試行グループ展 (四電)。
- 三谷多美子 二科会展。中央展出品絵画展、洋画部会員展、県展 (郷文)。試行展 (四電プラザ)。
- 川原 康孝 放美展審査員出品、洋画部会員展、県展招待 (郷文)。全美展 (シビック)。土曜画会展。三好文化祭。
- 川原 真琴 土曜画会展。三好文化祭 (三加茂町)。洋画部会員展 (郷文)。
- ◎西條 明彦 県展 (郷文)。香川県展、香川県勤労者美術展県知事賞 (香川県文化会館)。橋の美術展 (坂出市民美術館)。創元展 (東京都美術館)。
- 藤埜 理 放美展、県展、洋画部会員展 (郷文)。創元会展。
- 山口美千代 洋画部会員展 (郷文)。

写 真 部

部 会 長 西 條 征 二

平成7年度年間展望

◎第50回記念県美術展（第2期平成7年11月20日(月)～26日(日) 県郷土文化会館）

50年の伝統ある50回記念展の年にあたり日本写真協会員奈良原一高先生に審査をお願いした。広い公開審査会場であったが、終始にわたり熱の入った審査であった。出品者も良い指導者にあい、勉強になった。盛会裡に審査も終了した。

審査評は高い水準の作品がそろった。特に表現力が要求されるモノクロの写真が多かったのは、カラーに偏りがちな他県と比べると異例のことで、出品者の写真に対する情熱と愛情を感じた。50回記念大賞の佐治孝「光景」は、砂浜に撮影機材だけを残したフィクションの世界。生と死のような二重の世界がこの中にある。県知事賞川端武夫「花火の日」偶然の面白さをとらえた作品。映画のセットのような不思議な世界。その他特選に井上憲治「あそびつかれて」、坂東進「吉日」、宮本幸治「夏」(二枚組)が受賞した。

◎第4回放美展（5月3日～7日 県郷土文化会館）

春の県展らしく新人のフレッシュな作品が会場を彩る。出品点数337点、出品者数152人と前年を大幅に上回った。放美展の定着化を示すものと思われる。放美賞佐治孝「猫」は徹底した単純化、感覚の鋭さを感じた。優秀賞森住博「風」、溝淵寛治「黄昏時」、小林保二「三千院一隅」、一宮泰彦「新一年生」、柳本正「明日香」、佐藤考利「舞う」、野藤みきよ「枯渇」、左京一「北の海」、森内昭雄「雪樹」、佐治利弘「春」、前坂祥文「野良犬」、楠本喜巳「虚」、折野理悦「晩夏」、宮本好美「花の寺」が受賞した。

審査員は井上光雄、安長剛、酒井博司。

◎県美協写真部会主催「倉敷」撮影会 7月2日

三木晴夫、折野理悦、林敏彦、安長剛、古井謙吉、井藤光章の世話人により行われ、当日は晴天で盛会な撮影会となった。写真部会会員37名の参加があった。

◎県芸術祭（徳島県芸術祭執行委員会）

9月1日より12月20日迄の間、県下各地で開催された。写真部門の審査員は西條征二、増田清次、古谷政二であった。優秀賞を次の方が受賞した。

久米健雄（久米健雄写真展、アフリカサハラ砂漠一人旅）、中川定典（中川定典写真展、海部川流域）。

表彰式は平成8年1月19日(金) 午前10時 徳島県庁11階講堂で行われた。

◎二科会写真部公募展（9月1日より東京上野美術館 上野の森美術館）

今年は5名の入選者があった。田中昭男「裏街の子供」、吉田弘「ファンタジック阿波踊」、荒井賢治「路地のひととき」、増田寿「出番前」、栗田一衛「チビっ子山伏」

◎第42回阿波踊り写真コンクール作品展（10月7日(土)～11日(水) ヨンデンプラザ徳島1F）

審査員は森井禎紹氏である。阿波踊りの魅力はリズム、色気、踊り手の表情である。それらを的確にとらえた作品が見る者を引き付ける。夜の撮影という悪条件でもあり、手ぶれ、ピントの甘さなどが目立つ作品もあったと評された。

推選 須見昇司「仮面の男」、特選 原井裕夫「熱演」、藤本道正「優雅」、石井充「踊りに行こう」、岩崎英昭「踊り子」、大櫛以手紙「熱演」

◎県文化協会芸術文化奨励賞

佐治孝が初の受賞をうけた。

◎「アフリカサハラ砂漠一人旅」久米健雄写真展を祝う会（10月21日阿波観光ホテル）

司会 伊達昭子

◎中川定典写真展を祝う会（12月16日 ホテルクレメント）

司会 上野照文 両祝賀会共に美協写真部会会員が多数参加、盛大に祝った。

◎その他主な県下の展覧会

◦第24回徳島県教職員美術展

1月13日(金)～1月15日(日) 県郷土文化会館 審査員 西條征二

◦写友「吉野川」写真展（真実の映像を求めて）

1月14日(土)～16日(月) アミコシビックセンター5Fギャラリー

◦夢のきざはし六人展

1月25日(水)～28日(土) ヨンデンプラザ徳島2Fギャラリー

◦第10回全日写連県本部写真展

1月27日(金)～29日(日) アミコシビックセンター5Fギャラリー

◦徳島ライカクラブ写真展

2月2日(水)～3日(金) ヨンデンプラザ徳島2Fギャラリー

◦ウエノテルフミ・フォト・コレクション

3月2日(水)～5日(日) アミコシビックセンター5Fギャラリー

◦うずしおの旅写真展

3月4日(土)より うずしお汽船（長谷昌男）

◦ナルトびんぼけクラブ写真展

3月19日(日)～21日(火) 山高ギャラリー

◦第7回写団阿波っ子写真展

4月14日(金)～4月16日(日) アミコシビックセンター5Fギャラリー

- 第12回サンカ会写真作品展
4月15日(土)～17日(月) アミコシビックセンター5Fギャラリー
- 鳴門市文化展
5月12日(金)～14日(日) 鳴門市市民会館
- 第2回「無」写真展
5月19日(金)～21日(日) アミコシビックセンター5Fギャラリー
- 「徳島商売繁昌記」写真展(西田茂雄撮影)
6月1日(木)～4日(日) ウエイ・アップ2Fギャラリー
- 第21回小松島カメラクラブ写真展
6月2日(金)～4日(日) 県郷土文化会館
- 第13回写真集団「風」作品展
6月2日(金)～4日(日) アミコシビックセンター5Fギャラリー
- 写友「関」作品展
8月11日(金)～27日(日) ギャラリー・リュウネの森
- 「眉山に集う」服部和夫写真展
6月14日(木)～16日(金) アミコシビックセンター5Fギャラリー
- 第18回写真同人「炎」作品展
6月23日(金)～25日(日) アミコシビックセンター5Fギャラリー
炎 賞 上野照文「素人ちんどん祭」
優秀賞 井上憲治「燃ゆる」、土橋成行「夜」、大和健司「フェイス」、
林 敏彦「南の風」
- 酒井博司写真展
6月16日(金)～30日(金) 徳島メガネ石井店
- 第15回写団「未知草」作品展
7月28日(金)～30日(日) アミコシビックセンター5Fギャラリー
- 日本光画会写真展
8月23日(水)～28日(月) アミコシビックセンター5Fギャラリー
- 写楽会写真展
9月1日(金)～3日(日) アミコシビックセンター5Fギャラリー
- 第29回県芸術祭参加第9回徳島花を写す会写真展
9月22日(金)～24日(日) 県郷土文化会館
- 第6回写真展グループ「巢立」
9月19日(火)～22日(金) ヨンデンプラザ徳島2Fギャラリー
- 徳島フォトサロン展
9月30日(土)～10月2日(月) アミコシビックセンターギャラリーA.D.室

- 西田茂雄「阿波の男17衆」写真展
10月27日(金)～31日(火) ヨンデンプラザ徳島2 F ギャラリー
- 鳴門市展
10月28日(土)～30日(月) 鳴門市市民会館
- 第29回県芸術祭参加久米健雄写真展「アフリカサハラ砂漠一人旅」
10月21日(土)～22日(日) アミコシビックセンター5 F ギャラリー
- 第7回新浜写真クラブ写真展
11月17日(金)～20日(月) アミコシビックセンター5 F ギャラリー
- 日光会写真展「阿波の海部川」
11月17日(金)～19日(日) ヨンデンプラザ徳島1 F
- 「花とたはむれ」井上翔写真展
11月25日(土)～27日(月) 藍住町福祉センター2 F (緑の広場)
- 第29回県芸術祭参加中川定典写真展「海部川流域」
12月15日(金)～17日(日) アミコシビックセンター5 F ギャラリー

平成8年度年間展望

◎第51回県美術展 (第1期平成8年11月10日(日)～17日(日) 県郷土文化会館)

東京都から日本写真家協会理事、斉藤康一先生に審査をお願いした。出品点数が非常に多く、公開審査会場も県郷文の5F小ホールに変えて行った。審査方法も少し変わった為に写真部委員の方々に大変御世話になりました。審査員総評として、全体的に可もなく不可もなくといった感じで、飛び抜けた作品が出にくい状況にある。撮影者の腕が上がり、もう一步の工夫がほしい。一般受けはしても、写真の完成度という点、つまらないものがあつた。展示した時の効果を考え、被写体の多様さにも配慮して選んだ。

県美術家協会会長賞で特選の大和健司「親子」はかわいらしさと親しみがあつて、温かさがよく伝わるすっきりした作品である。特選野藤みきよ「水浴び」は、子供にかかる水の感じが面白い。特選森住博「共演」(2枚組)は踊り子の本番のまじめな表情と、練習中の楽しそうな表情との対比が非常に良い。特選久保英樹「燦」は、光の入れ込みや、山の形の入れ方が効果的と批評され、それぞれ受賞した。

第51回県美術展の開催パーティーは11月9日(土)午後7時より阿波観光ホテルにて開催された。今回展の表彰者と県美術家協会役員及び関係者が一堂に会し喜び合い、さらなる充実を期した。

◎県美術家協会写真部会主催「尾道市」撮影会 6月23日(日)

雨天決行としたが当日は晴天にて実施され、写真部会会員45名が参加した。阿波交通

の大型貸切バスにて、徳島駅前ポッポ街東口を午前6時20分出発した。瀬戸大橋経由で尾道市に入る。各自撮影をし、徳島駅前午後5時30分に帰着した。各人無事家路についてた。

◎第5回放美展（5月8日(水)～12日(日) 県郷土文化会館）

美術愛好家の発掘に努め、県内外から出品される7部門の作品を募集し、優秀作品を一堂に展示することにより、作品を通じて交流を図ると共に、創作する喜びや鑑賞する楽しさが味わえる開かれた美術展とすることがその趣旨である。

総出品点数422点、出品人数190人、審査員は西條征二、酒井博司、櫛渕魏。

放美賞 堀口幸男「航跡」

優秀賞 栗田ふさえ「壬生狂言」

後藤文男「霊峰石鎚夕景」

川真田慶治「綿帽子」

吉村敏嗣「輪廻」

宮本好美「朝光」

竹内 勝「仲よし」

原井裕夫「最期」

柳本 正「ドリー夢」

阿部美昭「午後のひととき」

森山利明「兄妹」

佐古吉男「eye」

新居真一郎「ナイトフライト」

赤木昭子「男」

中川定典「春映」

尾崎利男「照見」

鶴田真規「心臓マッサージ」

藤本宗子「チャトラ」

◎第30回県芸術祭（徳島県芸術祭執行委員会）

9月1日より12月25日の間、県下各会場にて行われ、毎年各部門ごとに多数の参加があり、作品点数も増加し、内容も充実した。写真部門審査担当は西條征二、増田清次、古谷政二である。

美術第一部門 優秀賞 吉本 旭「ユニットH³ 裸景」が受賞した。

表彰式は平成9年1月20日、徳島県庁11F講堂で行われた。

◎第44回二科会写真部公募展（東京上野美術館 上野の森美術館）

本県から8名の栄冠者があった。

推薦 荒井賢治「ともだち」

入選 西條征二「紙吹雪舞う」、潮満寿子「阿波踊りの街」、栗田一衛「合間」、

森住博「踊り子」、宮本幸治「夏」、田中節雄「ひととき」、長瀬正任「黄ひく

チバシ」

◎阿波踊り写真コンクール作品展（10月13日～20日 ヨンデンプラザ徳島）

審査員森井禎紹により行われた。

推薦 森下明子「ひと休み」、

特選 野藤みきよ「群青」、岡村 清「祭のひととき」、柳本 正「阿波っ子」、

和田幸尾「艶舞」、須見 昇「燃える男」

◎棚田フォトコンテスト作品展（県文化の森 県立21世紀館 9月10日～15日）

棚田は貴重な遺産であり、過疎地の中で保存策を模索している。保全が叫ばれる棚田を見つめ直すきっかけにしてみらおうと勝浦郡上勝町が初めて企画した棚田フォトコンテストである。応募総数215点は予想をはるかに上まわり、棚田に対する認識の高さを感じさせた。

最優秀賞 田所 勲「雨の棚田」

特選 前坂祥文「棚田模様」、森内昭男「山田の棚田」

◎徳島新聞読者写真コンクール

第21回年間賞 野藤みきよ 二位 逢坂登 二位 坂東裕子

第16回ニュース写真賞 東 文夫

◎荒井賢治インド写真展並びに二科会写真部会友推挙を祝う会（11月2日(土) 阿波観光ホテル5F）

13年間、18回にもおよぶ取材より80点の作品を展覧し、「個展人間讃歌 遙かなるインド」を開催した。二科会写真部会友に推挙された。

◎その他主な県下の展覧会

・県出身写真家

三好和義出版記念写真展「SAHARA」金の砂・銀の砂 1月9日(火)～15日(月) 徳島そごう5F

・第49回鳴門市展

1月14日(火)～16日(木) 鳴門市市民会館

・第25回徳島県教職員美術展

1月19日(金)～1月21日(日) 県郷土文化会館 審査員 井上光雄

・第4回夢のきざはし七人展

1月20日(土)～23日(火) ヨンデンプラザ徳島2Fギャラリー

・第4回コンタックスクラブ徳島支部写真展

1月24日(木)～27日(土) ヨンデンプラザ徳島2Fギャラリー

・第27回ナルトびんぼけクラブ写真展

2月10日(土)～12日(月) 山高ギャラリー

・第11回全日写連県本部写真展

2月23日(金)～25日(日) アミコシビックセンター5Fギャラリー

・吉本旭写真展「裸景II」

3月23日(土)～25日(月) ヨンデンプラザ徳島2Fギャラリー

・第13回サンカ会写真作品展

4月13日(土)～15日(月) アミコシビックセンター5Fギャラリー

・唯我独存

4月16日(火)～18日(木) ヨンデンプラザ徳島2Fギャラリー

- 第19回写真同人「炎」作品展
 5月3日(金)～6日(月) アミコシビックセンター5Fギャラリー
 炎 賞 林 敏彦「紅葉しぐれ」
 優秀賞 中川定典「草千里冬景」, 井上憲治「古都の秋」, 折野理悦「寒」,
 古井謙吉「蓮花」
- 写一会写真展
 5月21日(火)～23日(木) ヨンデンプラザ徳島2Fギャラリー
- 第3回写真展「無」
 5月24日(金)～26日(日) アミコシビックセンター5Fギャラリー
- 第14回写真集団「風」作品展
 5月31日(金)～6月2日(日) アミコシビックセンター5Fギャラリー
- 第22回小松島カメラクラブ写真展
 6月7日(土)～9日(日) 県郷土文化会館
- 吉成正一写真展「阿波の人」
 6月28日～30日 アミコシビックセンター5Fギャラリー
- 徳島ライカクラブ写真展
 7月5日(金)～7日(日) ヨンデンプラザ徳島2Fギャラリー
- 写団「未知草」作品展四季のアルバム
 7月26日(金)～28日(日) アミコシビックセンター5Fギャラリー
- 第31回日本光画会写真展「光展」
 8月3日(土)～7日(水) 県郷土文化会館
- 第17回フォトGRU写真展
 8月30日(金)～9月1日(日) ヨンデンプラザ徳島2Fギャラリー
- 第4回JCCフォトクラブ作品展
 8月30日(金)～9月1日(日) アミコシビックセンター5Fギャラリー
- 第30回県芸術祭参加「ユニットH³写真展」
 9月21日(土)～23日(月) アミコシビックセンター5Fギャラリー
- 第7回写真展グループ「巢立」
 9月23日(月)～26日(木) ヨンデンプラザ徳島2Fギャラリー
- 第36回写楽会写真展
 9月27日(金)～29日(日) アミコシビックセンター5Fギャラリー
- 第30回県芸術祭参加 徳島フォトサロン展
 10月9日(水)～11日(金) アミコシビックセンターギャラリー-B.C.室
- 上野照文写真展
 10月17日(木)～11月7日(木) ギャラリー リューネの森

◦ 荒井賢治写真展人間讃歌 遥かなるインド

10月30日(水)～11月4日(月) 徳島そごう8F特設会場

◦ 第30回県芸術祭参加第10回徳島花を写す会写真展

11月9日(土)～11日(月) アミコシビックセンター5Fギャラリー

◦ 日光会写真展

11月9日(土)～11日(月) アミコシビックセンター5Fギャラリー

彫 刻 部

部 会 長 松 永 勉

平成7・8年度年間展望

第50回記念県展（平成7年）は、審査を国画会会員の古島実先生にお願いした。数年、出品数の減少で心配していたが、今回は記念展でもあり、少し増えて、41点の出品があった。審査評として、「こじんまりまとめて仕上げるよりは、もっと大胆に表現したらどうか、素材の新しさを求めるより、訴える力のある作品を考えてほしい。特にデッサン力、構成力を重視し、作者の感性と彫刻の持つ重厚さが、いかに作品から感じられるかを意識した。」との評であった。

特選で第50回記念大賞には居上真人「オシャレな三人組」の石彫作品が選ばれた。居上氏は動物をユーモラスに表現する感覚を持っており、石材を生かした作品で、二科展、各地の彫刻コンクール、個展などで活躍している。今後楽しみな作家である。同じく特選の蒔田寿「構築されたもの」は木彫作品で、構成の面白さで選ばれたが、やや不必要な装飾が指摘された。蒔田氏も、二紀展などで活躍している若手であり、今回は、特にこの2人の作品が目立った気がする。彫刻では、やはり、木、石、金属など実材で作った作品からは、素材の美しさと、彫刻として存在感の強さが伝わって来る。これまでよりも実材を扱った作品が増えているため、今後一層の力作を期待したい。

第51回県美術展（平成8年）は、彫刻の審査員として初めての女性で、二紀会委員、監事の恩田静子先生に審査をしていただいた。

総評では「常識的作品が多数目に付き、ただ作るというよりは創ることを意識して制作してほしい。相手に何かを訴えることが大切だ。中には個性的で、豊かな造形をしている作品もあり、期待できる」と述べられた。

県知事賞の特選になった蒔田寿「構築されたものⅡ」は、木の大作で、素材を生かし、構成と空間処理が優れているとのことで選ばれた。準特選の居上真人「夢はそこまで来ているぞ」は温かみのある表現、石を扱う技法もうまいと言われた。同じ準特選の阿部佳代「アルミニウムな朝」には、荒々しいタッチが力強く未完のういういしさが感じられると話された。今年の出展数は36点であったが、大作が多くそれも、石彫の大作が増え、迫力のある会場となった。また、抽象彫刻が多くなったことも、自由な発想で創作活動をされ、個性的な作品の出品につながったのではないかと思われる。しかし、作品が、大型化、重量化する程、構造的な問題や、安全性に十分気を付ける必要がある。制作者は、このような点も考えて、力溢れる作品を発表してほしい。

個人消息

- | | | | |
|-------|---|------------------------|---------------------------|
| 居上 真人 | 1995 | 天理ビエンナーレ入選 | 大阪市立美術館 |
| | | 第80回二科展出品 | 東京都美術館 |
| | | 個展 | 県立近代美術館・
ギャラリーゆうげん(東京) |
| | | 第50回県展 50回記念大賞 | 郷土文化会館 |
| 1996 | 倉敷まちかど彫刻コンクール入選 | 横浜彫刻展 模型入選 | 横浜市 |
| | | 石彫二人展 | 岡山県倉敷市 |
| | | アートリゾート in 多々良木彫刻コンクール | 県立近代美術館 |
| | | 町民賞 | 兵庫県 |
| 井下俊作 | 1995 | 第81回二科展 | 東京都美術館 |
| | | 第51回県展準特選 | 郷土文化会館 |
| | | 第50回行動展 | 東京都美術館 |
| | | 第33回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島中央公園 |
| 1996 | 第15回安田火災美術財団奨励賞展 | 優秀賞受賞 | 東京安田火災美術館 |
| | | 第34回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島中央公園 |
| | | 第51回行動展 | 東京都美術館 |
| | | 第33回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島中央公園 |
| 大津文昭 | 1995 | 第50回県展 | 郷土文化会館 |
| | | 第34回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島中央公園 |
| | 1996 | 第51回県展 | 郷土文化会館 |
| | | 第34回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島中央公園 |
| 河崎良行 | 1995 | 第28回現代美術選抜展 招待出品 | 福岡県田川市美術館 |
| | | モニュメント「DU-ET」設置 | アスティとくしま |
| | | 個展 | 阿波之里ギャラリー |
| | | 新潟県能生町海洋公園「風をうけて」設置 | 新潟県能生町 |
| | | 静岡県芸術祭(県展) 審査員 | 静岡県総合文化センター |
| | | PARIS平和芸術祭彫刻招待出品 | パリ・エスパス・エセック |
| | | 第14回汎瀬戸内現代美術展招待出品 | 岡山県総合文化センター |
| | | 野外彫刻 in 多々良木 | 兵庫県朝来町 |
| 1996 | 日本学術振興会より海外COE研究員として
フランスに派遣
二紀会理事に就任 | | |

		韓日文化交流世界彫刻展に招待出品	ソウル松坡美術館
		平成8年度静岡県芸術祭(県展)美術部門 審査員	静岡県
		土成町道の駅に切上り長兵衛モニュメント を設置	土成町
		りんくうタウン彫刻プロムナードに作品展示	
鎌田邦宏	1996	第51回県展	郷土文化会館
		50周年記念二紀展	東京都美術館
佐藤 隆	1995	第33回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
		第50回県展	郷土文化会館
	1996	第34回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
		第51回県展	郷土文化会館
濱口 恵	1995	モダンアート展(版画)	東京都美術館
		関西モダンアート展	大阪府立現代美術センター
		第33回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
	1996	第46回モダンアート展	東京都美術館
		第16回関西モダンアート展	高松市美術館
		第34回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
		「アートEC欧州芸術祭」木版画出品	フランス シェジー市
		名誉理事賞受賞	欧州造形美術サロン
		「フィレンツェ芸術祭典」木版2点出品	イタリア チェントロ
		FANTASIA RICCA賞受賞	・アフアリー
東 光司	1995	第29回モダンアート協会徳島支部展	県立近代美術館
	1996	第6回ストーンミュージアム石彫展	庵治町
松永 勉	1995	兵庫県御津町道の駅モニュメント	
		「風のしらべ」設置	兵庫県御津町
		公募彫刻展 in 能生「風の帆」佳作賞	新潟県能生町
		第50回行動展	東京都美術館
		第16回現代日本彫刻展模型入選	山口県宇部市
		第33回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
	1996	箕面ライフプラザに「生命の宇宙」設置	大阪府箕面市
		在モロッコ日本大使館に「光と風の協奏」 設置	モロッコ
		倉敷まちかど彫刻コンクール模型入選	岡山県倉敷市

		第51回行動展	東京都美術館
		徳島出版玄関ホールに「蒼空へ」設置	徳島市
		森住医院に「森の家族」設置	鴨島町
蒔田 寿	1995	第49回二紀展・同人推挙	東京都美術館
		第50回県展 特選県議会議長賞	郷土文化会館
	1996	第3回春季二紀展	東京セントラル美術館
		第50回記念二紀展	東京都美術館
		第51回県展 特選県知事賞	郷土文化会館
三木健司	1996	徳島二紀小品展	鴨島町文化研修センター
		二紀展入選	東京都美術館
		第51回県展	郷土文化会館
		徳島二紀展	県立近代美術館
林 一美	1995	徳島彫刻会	四電ギャラリー
	1996	徳島彫刻会	四電ギャラリー
渋谷吉昭	1996	馬の彫刻コンクール本展入選	岩手県
		三好ヶ丘彫刻フェスタ優秀マケット展	
		優秀賞	愛知県
		倉敷まちかど彫刻展優秀マケット	岡山県
		国民文化祭とやま入選	富山県
長岡 強	1996	第72回白日展会員出品	東京都美術館
		第26回日彫展会員出品	東京都美術館
		第28回日展会友出品	東京都美術館

美術工芸部

部会長 山上 馨

平成7年度年間展望

◎第50回記念県美術展

第50回県展は応募点数196点、出品者数127人、入賞・入選107点で記念展にふさわしい盛況となった。第39回展（S59年）ではじめて100点を越した応募点数が年毎に増加し、過去最高の第48回展（H5年）の171点を凌ぎ10年余で増えたことは誠によろこばしいことである。その背景には社会情勢の変化による工芸人口の増加、従来の陶芸・染織・木工・金工・漆等に加えガラス・パッチワーク等の工芸のジャンルの拡大が挙げられる。作品も記念展にふさわしく力作が目立った。

審査員の東京芸大工芸科助教授島田文雄先生には「三年ぶりに審査をさせてもらったが、今回は前回にくらべて力のこもった作品が多かった。安易に作られたと思われる作品はほとんどなく全体的にかなりレベルアップしていると感じた。また、作風が多様化し、作者それぞれがオリジナリティーを出そうと懸命になっているのが伝わってくる。しかし、染色作品の健闘が目立った一方で金工・漆の作品が少なかったのは少し残念だ。審査は工芸的なテクニック、感性を十分に兼ね備えたうえで、いかに高度な質をもった作品に仕上げているかを基準にした。」という総評をいただいた。

作品の質の向上、個性的な表現への志向を認めていただいたことは誠に心強い励みとなった感じがする。その一方で、ジャンルの拡大と裏腹に金工・漆等の出品者の減少を指摘されたことは今後の課題として受けとめるべきであろう。

賞作品については、「50回記念大賞の森明治の陶器「炭化窯大皿」は、陶器の装飾効果をよく心得た作品で、見る者に力強い印象を与える。恐らく、ろくろや窯の扱いをよく理解している人の作品だろう。実に質の高い作品に仕上げている。県教育長賞（特別賞）の青木潤子「手織りシルクマフラー」は、上品な色遣いで織物特有の軽やかさをうまく表現している。同様に効果的な織りに力強さを感じる。糸の紡ぎ方も個性的だ。特選井後宏「流水」は銅板の鍛造作品。形が実に精練され、水の流れやリズムをうまく表現している。作者が何を表現したいのか、その意図が非常によく伝わってくる。上位に選ばれた作品はいずれも素材の良さをうまく引き出すことで、作者の持ち味を出している。ぜひ参考にしてもらいたい。」ということであった。

準特選は、渋谷志津子「さりげない日々」、三宅真弓「或る心」、林宏「trois（トロワ）」でいずれも個性を發揮した力作であった。

他に多くの賞候補作品が挙げられ、審査終了後に個別に指導をいただいた。また、恒例

の「審査員を囲む会」で審査員を中心に造形論に花を咲かせたことは今後の創作活動への大きな指針となったようである。

◎第4回放美展

第4回放美展の出品点数127点は、昨年に比べ30%近くの増加となった。出品者も多彩で高校生・大学生・家業の延長で作品を出展された方、退職後の趣味・生き甲斐の成果としての出品等老若男女各ジャンルでの工芸愛好家が増え、年を追って活況を呈しているのはよろこばしいことである。

放美賞の阿部加代「蒼いシンフォニー」は色彩感覚にすぐれ色の調和を通して独自の幻想的な世界を構成したパッチワークの秀作である。優秀賞には森明治「暁光」、寒川治雄「幾何紋壺」、網木麻雄「壺」と、ともに造形性・技術性を兼ね備えたすばらしい作品である。この3点をはじめとし陶芸の出品点数が半分近くになり、今や県内での工芸の主流となり、作品の質が高まってきたことはすばらしいことであり、他のジャンルへの波及効果も期待できそうである。金工の斎藤和彦「コンポジションA」は七宝の巧みな構成作品、着物の湯浅カツエ「夕映えの郷愁」は枯淡の味を感じさせる色調にすぐれ、染色・高橋真帆「遊牧」は新しい技法に挑戦し表現の巾を拡げた秀作である。

賞7点に続く入選69点も力作が多く今後の期待が拡がりそうである。

平成8年度年間展望

◎第51回県美術展

県展50周年記念を経て、新たな半世紀に踏み出した第51回展での美術工芸部の出品点数は、163点であった。出品者数116名は記念展の127名には及ばないが平年の県展で見れば漸増傾向にあり、工芸愛好者が定着してきたことは誠に心強いものがあるように思われる。作品もそれぞれのジャンルで落ち着いた重厚な作品が見られるようである。

今年の審査員は京都芸大教授中井貞次先生にお願いした。総評では「工芸における地方の時代ということが言われ始めて久しい。地方には風土に培われた生活の中から生まれる工芸があり、素材や技術と相俟ってその地域独得のものを作りあげている。徳島なら徳島に伝えられた固有のものを育て、そこから何か新しいものを生み出すことが創作の世界では大事だと思う。今回出品が多かった藍染なら、それをいかに自分の藍色として表現するかが問われる。工芸はその人の持つイメージの世界を、素材と、素材にかなった技術でいかに表現するかが課題になる。土なら土でしかできない表現でなければだめだ。」とのご指導をいただいた。地域の伝統を生かすこと、素材を生かす技術や感性を積み上げること、イメージを主題に高めることを通して個性的な、創造的な造形力を培うことを示唆されたようである。

賞作品については「県議会議長賞の吉田敏明「黄昏」は、素材の持つよさを存分に引き

出ただけでなく、技術的にもしっかり構成している。表面にレリーフされた線条紋が力強く形態にマッチし、立体感を浮かび上がらせた。特選の西浩子「木もれび」は、曲線と直線をうまく組み合わせた具象に近い作品。細部にいたるところに織り独得の技術や効果が入り込み、見る人にさまざまなイメージを与える。ほかにも、今後まだまだ伸びる可能性を感じさせる作品が多かった。展覧会の時だけ力を入れるのではなく、しかも人の作品もよく研究してオリジナリティーあふれる作品を目指して欲しい。」ということであった。

準特選には井後宏「渦」、森克江「深淺」、隅田良佑「焼締條紋壺(A)」がそれぞれのジャンルで素材を生かした造形力が評価されて入賞した。また、51回展より新たに設けられた奨励賞には小栗加代子「赤の記憶」、富田ちえ子の「秋の陽だまり」、日岡健二「古城ランプシェード」が色彩や光の感覚を通して主題を表現した作品として入賞を果たした。

◎第5回放美展

第5回放美展は出品点数109点、出品者80名、入賞5点、入選60点、入選率60%であった。前回に比べ作品数はやや減少したが、作品が大きく、制作に時間をかけた力作が多く見られた。

審査評では、陶器が過半数を占め秀作が目立った。技術的な差が見られるが初心者らしい感性や取り組みに期待がもたれる。次いで多い染織は技術的にもレベルが高く年毎にすばらしい作品が増えているようである。パッチワークも実力者の力作が出揃い重厚な趣きを呈していた。金工は出品点数は少ないが秀作揃い今後の出品増を期待したい。

放美賞は森明治「炭化窯変大皿」が技術力・色彩感覚で群を抜いて受賞。優秀賞には井村アイコ「萌」、湯浅カツエ「ローケツ染きもの・そと春風」、鳥羽泰子「静寂なる生」、斎藤和彦「流炎」、榎原道雄「辰砂釉花瓶」が主題を感覚的にとらえ、すぐれた技術で素材を生かし受賞を果たした。

放美展・県展と春秋を飾る県二大総合美術展で造形を志す者が集い、新しい仲間をふやして美術工芸の世界を拓いていくことは誠に素晴らしいことである。また、近年国内はもとより外国の展覧会への出品も急速に増加しているようで心強い限りである。趣味を生かし、特技を磨き新たな目で素材と取り組み自分らしい創作活動を展開することは、何にかえ難い生き甲斐であると思う。

個人消息

- | | | | |
|-------|--------------------|--------|------------|
| 天野 和子 | ・夢のきざはし六人展出品 | H 7.1月 | 徳島四電プラザ |
| | ・第1美術四国支部展出品 | H 7.1月 | 坂出美術館 |
| | ・夢のきざはし六人展出品 | H 8.1月 | 徳島四電プラザ |
| | ・アメリカAQSキルトコンテスト入選 | H 8.4月 | アメリカ・パデューカ |

	◦キルトEXPO 入選	H 8.5月	フランス・リヨン
	◦第1美術四国支部展出品	H 8.12月	高松市美術館
鴨川美佐子	◦現代工芸 入選	H 7.3月	東京
	◦インターナショナルキルト フェスティバル 入選	H 8.11月	アメリカ・ヒューストン
多智花美佐子	◦第34回日本現代工芸美術展（会員出品）	H 7.3月	東京都立美術館
	◦第6回現代工芸ゆめいろ展	H 7.5月	高松・三越
	◦第27回日展 入選	H 7.11月	東京都立美術館
	◦現代工芸四国会展 三越店賞受賞	H 7.12月	高松・三越
	◦第35回日本現代工芸美術展（会員出品） 現代工芸会員賞受賞	H 8.3月	東京都立美術館
	◦第7回現代工芸ゆめいろ展	H 8.5月	高松・三越
	◦現代工芸四国会展	H 8.12月	高松・三越
九十九健二	◦第68回第一美術展出品	H 7.5月	東京都立美術館
新居 猛	◦IFI'95名古屋に対し「日頃の問題意識 を携えて」掲載	H 7.6月	JID NEWS
	◦世界インテリアデザイン会議 ニーチェアー2点招待出品	H 7.10月	名古屋国際会議場
	◦“日本の木の椅子”にニーチェアー 2点とインタビュー掲載	H 7.10月	別冊商店建築78
	◦ヨーロッパ家具視察（ジェトロ主催）	H 8.1月	パリ・ケルン
	◦“芸術新潮”誌にニーチェア× 「外国の真似から始まった日本の椅子 デザインだが海外から真似された 最初の椅子」が掲載される	H 8.5月	新潮社
	◦“徳島県美術展50年の歩み”に 「県展で育ったデザイン人生」掲載	H 8.8月	
西 浩子	◦第80回徳島県女流美術家協会展	H 7.9月	県郷土文化会館
	◦現代工芸四国会展	H 7.12月	高松・三越
	◦第81回徳島県女流美術家協会小品展	H 8.4月	県郷土文化会館
	◦第82回徳島県女流美術家協会展	H 8.9月	県郷土文化会館
	◦現代工芸四国会展	H 8.12月	高松・三越
日浦 久代	◦藍染5つの世界グループ展	H 7.6月	徳島四電ギャラリー
	◦平和美術展	H 7.6月	県郷土文化会館

	◦ 女流美術家協会仙台・ブラジル交流展	H 7.8月	県郷土文化会館
	◦ 女流美術家協会小品展	H 8.4月	県郷土文化会館
	◦ 平和美術展	H 8.5月	県郷土文化会館
	◦ 藍染5つの世界グループ展	H 8.6月	徳島四電ギャラリー
	◦ 女流美術家協会サギノー文化交流展	H 8.9月	県郷土文化会館
平井 恵子	◦ 日本現代工芸美術展出品	H 7.3月	東京都立美術館
	◦ 滋賀県美術展特選	H 7.11月	滋賀県立近代 美術館
	◦ 日本現代工芸美術展	H 8.3月	東京都立美術館
	◦ 大津市美術展 市展賞	H 8.7月	大津市立歴史 博物館
	◦ 滋賀県美術展 芸術祭賞	H 8.11月	滋賀県立文化産業 交流会館
	◦ 日本現代工芸美術家協会近畿展選抜展	H 8.12月	京都府立文化芸術 会館
森 賢一	◦ 第34回日本現代工芸美術展	H 7.3月	東京都立美術館
	◦ 現代工芸四国会展	H 7.12月	高松・三越
	◦ 第35回日本現代工芸美術展	H 8.3月	東京都立美術館
	◦ 現代工芸四国会展 現代工芸四国会 会長賞	H 8.12月	高松・三越
森 昌男	◦ 第30回中部染色作家協会展	H 7.7月	愛知県立美術館
	◦ 第8回藍生葉染実技講習会	H 7.6月	アトリエ染色 モリ工房
	◦ 第5回全日本総合美術展 優秀賞	H 7.7月	京都市美術館
	◦ 第31回中部染色作家協会展	H 8.7月	名古屋市博物館
	◦ 第9回マーブリングと生葉染の講習会	H 8.7月	アトリエ染色 モリ工房
	◦ 第6回全日本総合美術展 京都市長賞, 理事, 四国支部長拝命	H 8.10月	京都文化博物館
四十宮年代	◦ 徳島市芸術文化展 無鑑査出品	H 7.3月	県郷土文化会館
	◦ 兵庫ふれあいの祭典全国手工芸創作 刺しゅうコンクール出品	H 7.10月	兵庫県
	◦ 日本手工芸美術展 佳作賞	H 7.12月	東京都立美術館
	◦ 徳島市芸術祭文化展	H 8.3月	県郷土文化会館

	◦ 第31回中部染色作家協会展	H 8.7月	名古屋市博物館
	◦ シルクフェア96と染織作品展	H 8.10月	横浜シルク博物館
中川 存	◦ 一匠会展	H 7.10月	三条画廊
	◦ 幻想の世界・伝説の旅(個展)	H 8.4~5月	恰美術館
	◦ 一匠会展	H 8.10月	三条画廊
松山 豊	◦ 鳴門市展	H 7.10月	鳴門市体育館
	◦ 松茂文化祭	H 7.11月	松茂資料館
	◦ 陶炎会	H 8.5月	県郷土文化会館
	◦ 鳴門市展	H 8.10月	鳴門市民会館
	◦ 松茂文化祭	H 8.10月	松茂資料館
矢野 款一	◦ 日本伝統工芸展	H 7.9月	東京・日本橋三越
	◦ 日本工芸会四国支部展	H 7.11月	高松・三越
	◦ 陶の会焔	H 7.11月	淡路市民センター
	◦ 日本工芸会四国支部展 無鑑査出品	H 8.11月	高松・三越
	◦ 陶の会焔	H 8.11月	徳島工芸村ギャラリー
	◦ 矢野款一作陶展	H 8.12月	神戸・三越ギャラリー
影谷美代子	◦ 藍染5つの世界3人展	H 7.6月	ヨンデンプラザ徳島
	◦ 徳島平和美術展	H 7.6月	県郷土文化会館
	◦ 小松島芸術祭展	H 7.12月	小松島中央会館
	◦ 徳島平和美術展 優秀賞	H 8.5月	県郷土文化会館
	◦ 藍染5つの世界3人展	H 8.6月	ヨンデンプラザ徳島
	◦ 小松島芸術祭展	H 8.12月	小松島中央会館
山本 和子	◦ 第6回徳島現代クラフト展	H 7.3月	県郷土文化会館
	◦ 小松島芸術祭展	H 7.12月	小松島中央会館
	◦ 第7回徳島現代クラフト展	H 8.3月	県郷土文化会館
	◦ 第35回日本現代工芸美術展	H 8.3月	東京都立美術館
	◦ 日本現代工芸ゆめいろ展	H 8.4月	高松・三越
	◦ 創手人53染展	H 8.5月	広島県民文化センター
	◦ 日本現代工芸四国会展	H 8.12月	高松・三越
斎藤 和彦	◦ 日本七宝作家協会展	H 7.2月	東京都立美術館
	◦ 日本七宝作家協会国際展	H 7.9月	上野の森美術館
	◦ 日本七宝作家協会展 会長賞	H 8.2月	東京都立美術館
小栗加代子	◦ 現代工芸展	H 7.3月	東京都立美術館
	◦ 第1美術展	H 7.5月	東京都立美術館

	◦ インターナショナル横浜キルトウィーク		
	講師招待出品	H 7.10月	パシフィコ横浜 展示ホール
	◦ 現代工芸展	H 8.3月	東京都立美術館
	◦ 第1美術展	H 8.5月	東京都立美術館
	◦ インターナショナル横浜キルトウィーク		
	講師招待出品	H 8.10月	パシフィコ横浜 展示ホール
井後 宏	◦ 日本七宝作家協会展	H 7.2月	東京都立美術館
	◦ 日本七宝作家協会展	H 8.2月	東京都立美術館
	◦ 国際七宝日本展	H 8.10月	東京・武蔵野 スイングホール
堺 都美子	◦ 第34回日本現代工芸美術展	H 7.3月	東京都立美術館
	◦ 徳島平和美術展	H 7.5月	県郷土文化会館
	◦ 藍住町美術展	H 7.11月	藍住町福祉センター
	◦ 現代工芸四国展	H 7.11月	高松・三越
	◦ 第35回日本現代工芸美術展	H 8.3月	東京都立美術館
	◦ 徳島平和美術展	H 8.5月	県郷土文化会館
	◦ 藍住町美術展	H 8.11月	藍住町福祉センター
	◦ 現代工芸四国展	H 8.12月	高松・三越
橋 恵	◦ 徳島平和美術展	H 7.6月	県郷土文化会館
	◦ AWAクラフト野外展	H 7.8月	徳島中央公園
	◦ 徳島デザインドリーム	H 7.9月	徳島市立木工会館
	◦ 藍愛私パッチワークキルト展	H 7.11月	シビックセンター
	◦ 第1回個展	H 8.1~2月	藍染工芸館
	◦ 徳島平和美術展	H 8.5月	県郷土文化会館
	◦ 藍愛私パッチワークキルト展	H 8.12月	シビックセンター

書 道 部

部会長 新 居 藍 州

平成7年度年間展望

県展50回を迎えた記念すべき年であった。この年美協書道部会員は447名となっている。県展出品点数は1371点と過去最高となった。

第4回放美展は公募出品160点、審査員は田中双鶴、荒井彭仙、田村昇鶴の3氏が担当された。今回を以て中尾勝子、近藤静苑の両氏が無鑑査となった。

第12回読売書法展で隅田英二氏が読売新聞社賞を獲得した。また第27回日展では県内在住入選者が5名にのぼった。

このごろ書壇で「読める書を書こう」という提案がなされ多くの追従者を得て展覧会の様相もかなり変わったものになったが、一方これに対して有力な諸大家からの反対論も展開され、あらためて書芸術の本質が問われたことであった。二十一世紀へ向けて書道の現状とあるべき姿について真剣な省察が必要であろう。

◎第29回県芸術祭

1. 参加行事

- ・第13回双愛書道会作品展 9 / 8～10 徳島市シビックセンター
- ・第18回泉心書作展 9 / 14～17 県郷土文化会館
- ・第25回記念直心会書展 9 / 15～17 県郷土文化会館
- ・第24回徳島雪心会書作展 9 / 15～17 県郷土文化会館
- ・第40回書協人展 9 / 22～24 県郷土文化会館
- ・第4回砂光篆会作品展 9 / 22～24 徳島市シビックセンター
- ・第8回阜玄書道会展 9 / 22～24 徳島市シビックセンター
- ・第25回記念東玄書道会展 10 / 5～8 県郷土文化会館
- ・第3回聖邨一門書作展 10 / 27～29 県郷土文化会館
- ・第25回光輪社書作展 10 / 27～29 県郷土文化会館
- ・第30回書道研究清潮書作記念展 11 / 1～3 徳島市シビックセンター
- ・第16回書研社展 12 / 1～3 徳島市シビックセンター
- ・徳島かな書道会第16回書作展 12 / 9～11 県郷土文化会館
- ・第25回四国大学書道コース学外展 12 / 15～17 県郷土文化会館

2. 協賛行事

- ・城南高校OB芳墨書道展 12 / 22～24 県郷土文化会館

- 第16回臨池書展 12/22～24 県郷土文化会館

3. 受賞者

- 優秀賞 藤村柳葉・三浦富美代・横谷清亭

個人消息 (平成7年1月～12月)

1. 中央展・県外展に審査員・役員として活躍し・作品を発表した人々

- 第36回太玄書展 (東京都美術館 1/11～17)
田中双鶴・中谷史子・中尾勝子・竹田和代・清水嘉子・春藤大耿
- 第23回日本の書展 (東京セントラル美術館 1/31～2/5)
久保幽香・勝瀬景流
- 関西の書家100人展 (大丸ミュージアム梅田 1/3～15)
勝瀬景流
- 第49回日本書芸院展 (大阪市立美術館外 2/2～19 4/11～16)
上田溪水・東 南光・以西恒心・長江頌石・吉田素川・能仁華瑤・駒田水洗
山口華城・隅田英二・伊丹東龍・島田小園・勝瀬景流・吉岡景鵬・薄田玲泉
- 東京書作展選抜作家展'95 (東京都美術館 2/24～3/2)
春藤大耿
- 第17回日本書道学院展 (東京都立産業会館 3/21～22)
勝瀬景流・吉岡景鵬・薄田玲泉・赤川景舟・河野真流
- 第18回日本かな書展 (東京日本橋高島屋 5/18～24)
讃岐泰泉・藤若美風
- 高野山競書大会 (金剛峯寺 5/27～28)
久保幽香
- 現代の詩と書の世界展 (東京セントラル美術館 5/30～6/4)
久保幽香・浜 佳香
- 第31回太玄役員書展 (新宿朝日生命ビル 6/1～6)
春藤大耿
- 第39回東方書道展 (東京都美術館 7/1～6)
東 南光・上田溪水
- 第47回毎日書道展 (東京都美術館 7/12～18)
荒井天鶴・荒井彭仙・玉城乾香・永松春苑・久保幽香・岸 潮風・多田清芳
浜 佳香・芝原醒鶴・長原阜鵬
- 第4回日本の顔書展 (東京朝日ギャラリー 7/7～12)
勝瀬景流

- 第41回関西美術展（大阪市美術館 7/14~17）
東 南光・上田溪水
- 日本の女流展（東京セントラル美術館 7/25~30）
久保幽香
- 第12回産経国際書展（東京池袋サンシャイン会館 7/30~8/7）
讃岐泰泉・藤若美風・三浦富美代・増田愛子・津田玉泉
- 第12回読売書法展（ふくやま美術館外 8/29~9/6）
東 南光・上田溪水・能仁華瑤・新居藍州・山口華城・隅田英二・伊丹東龍
勝瀬景流・吉岡景鵬・薄田玲泉
- 第47回毎日展四国展（愛媛県立美術館 8/8~13）
荒井天鶴・荒井彭仙・玉城乾香・永松春苑
- 第56回書団連選抜書作家展（東京椿山荘 9/4~7）
能仁華瑤
- 第17回東京書作展（東京都美術館 11/28~12/5）
田中双鶴・春藤大耿・近藤静苑・中尾勝子

2. 中央展・県外展に入賞した人々

- 第36回太玄書展（東京都美術館 1/11~17）
（特別賞） 中西甫子
（奨励賞） 清村宗子
（推 薦） 西宇明美・足立玉美・西村徳栄
- 第49回日本書芸院展 2月展（大阪市立美術館 2/14~19）
（大 賞） 隅田英二
（一科推薦賞） 黒田清蘭・河内晨輝・宮森崇流
（二科推薦賞） 椎野春翠・松浦翠篁・品川滝華・豊田典子
- 第17回日本書道学院展（東京都立産業会館 3/21~22）
（準大賞） 近藤俊流
（特別賞） 徳山景城・井上虹雨・湊 景桃
（推 薦） 木田青玉
（特 選） 鶴澤輝流・椎野彩月
- 第49回日本書芸院展 4月展（インテックス大阪ほか 4/2~16）
（特別賞） 高田青蓮
（特 選） 海原暁風・小西玉翠・清水桂月・片山浩然・高井春華
佐々木華月・高田青處・清田千江子・浜田真由里・小松美佳
福家美鵬・古川秀蕙・松下悟道

- 第47回毎日展（東京都美術館 7 / 7～16）
（秀作） 高岡晃祥・武田淳子・森本香陽・山口幽径・木田史香
- 第39回東方書道展（東京都美術館 7 / 1～6）
（褒賞） 清水桂月
- 第12回産経国際書展（東京池袋サンシャイン会館 7 / 30～8 / 7）
（産経書会会長賞） 増田愛子
（産経大賞） 松本清香
（特選） 川人皓月・出口未喜子・米田重子
（秀作） 井上愛・上田裕泉・岡本美紀・株木マサノ・桑田満里子・近藤紅恵
佐藤松子・佐野千代美・高島瑞峰・姫野祥光・藤野陽子・藤原育代
町田哲子・向井幸子・竹中喜代子
- 第47回毎日展四国展（愛媛県立美術館 8 / 8～13）
（秀作） 佐原和清・長野恵裕
- 第12回読売書法展（ふくやま美術館ほか 8 / 29～9 / 3）
（読売新聞社賞） 隅田英二
（特選） 京野白燕・近藤松翁・長谷美峰・宮守崇流・東 弥生
（秀逸） 高田青蓮・古川秀蕙・佐野翠苑・森光 翔・弥木香雲・倉本景雨
益田光舟・板東準子
- 第27回日展（東京都立美術館 11 / 2～24）
（入選） 隅田英二・伊丹東龍・勝瀬景流・薄田玲泉・簗毛个庵
- 第17回東京書作展（東京都立産業貿易センター 11 / 28～12 / 5）
（特別賞） 瀬藤豊子・中西甫子・西字明美
（東京新聞賞） 草苺明美・辻 尚子
（優秀賞） 南 溪石
（特選） 久次米佳泉

3. 個展

- 第11回チャリティー田中双鶴書作展（徳島そごう5階画廊 5 / 2～8）
- 第9回荒井天鶴個展（県郷土文化会館 5 / 11～14）
- 第12回特別チャリティー田中双鶴書作展（東京銀座画廊「奏」 10 / 2～8）

備考 紙面の都合により個人消息の1.2.の項目については社中行事に関するものは省略させていただいた。

平成8年度年間展望

本年は県書道界にとってまことに意義深い年になった。

7月5日。故小坂奇石先生の遺作130点が長女淳子さんによって県に寄贈された（すで

に寄贈された分と併せて154点になった。

7月15日。県内各社中代表者約20名が参加して「県立書道美術館建設促進打合せ会」が開かれた。

9月16日。建設センターホールで「徳島県立書道美術館建設をすすめる会」が開かれた。加盟団体43・参加者約250人。会長新居藍州ほか役員を選出・運動のすすめ方として署名運動の展開・県及び県議会への陳情等を決定した。田中双鶴先生の記念講演「嵯翁の書芸」をいただいた。

11月26日。知事及び県議会に対して請願書を提出した。急ぎ取りまとめた陳情署名は当日持参した分だけで実に61,000人にのぼり県民の理解と要望の大きさを示した。現在県が策定中の新長期計画のうちの芸術文化活性化プロジェクトに盛り込まれ・文学館などとともに具体化されるものと考えられる。また・知事は平成9年の年頭会見で本年策定する基本構想の中で具体化する方針を発表された。大きい進展が見られたわけである。

また・第28回日展で勝瀬景流氏が特選の栄に輝いた。本県在住の書家としては初めての快挙であり今後の活躍と大成が期待されるところである。

◎第30回県芸術祭

1. 参加行事

- | | | |
|-------------------|----------|-------------|
| ・第5回砂光篆会展 | 8/30～9/1 | 県郷土文化会館 |
| ・第14回双愛書道会作品展 | 9/6～8 | 徳島市シビックセンター |
| ・第26回東玄書道会展 | 9/6～8 | 県郷土文化会館 |
| ・第19回泉心会書作展 | 9/13～16 | 県郷土文化会館 |
| ・第25回徳島雪心会書作展 | 9/14～16 | 県郷土文化会館 |
| ・第9回阜玄書道会展 | 9/21～23 | 県郷土文化会館 |
| ・第26回直心会書展 | 9/21～23 | 県郷土文化会館 |
| ・第41回書協人展 | 9/27～29 | 県郷土文化会館 |
| ・第4回徳島書芸院尚真支局社中展 | 9/27～30 | ヨンデンプラザ徳島 |
| ・第4回聖邨一門書作展 | 10/4～6 | 県郷土文化会館 |
| ・第8回睦月会書展 | 11/2～4 | 徳島市シビックセンター |
| ・第31回書道研究清潮書作展 | 11/13～15 | 徳島市シビックセンター |
| ・第26回光輪社書作展 | 11/20～22 | 徳島市シビックセンター |
| ・第15回書研社展 | 11/23～25 | 徳島市シビックセンター |
| ・第17回臨池書展 | 12/6～8 | 県郷土文化会館 |
| ・第26回四国大学書道コース学外展 | 12/6～8 | 県郷土文化会館 |

2. 協賛行事

- | | | |
|-----------|-------|---------|
| ・第59回書芸院展 | 9/5～8 | 県郷土文化会館 |
|-----------|-------|---------|

3 受賞者

- 優秀賞 矢部知子・佐川菁流・武市鳴雲・富永美祥

個人消息 (平成8年1月～12月)

1. 中央展・県外展に審査員・役員として活躍し・作品を発表した人々

- 第37回太玄書展 (東京都美術館 1/11～17)
田中双鶴・笹尾芳石・春藤大耿・田村昇鶴・大櫛一峰・下村清子
- 第10回産経書会代表展 (上野の森美術館 1/19～24)
讃岐泰泉・藤若美風・松本清香・増田愛子・三浦富美代・津田尊子
- 第24回日本の書展 (東京セントラル美術館 1/30～2/4)
久保幽香
- 第50回日本書芸院展 (大阪市立美術館外 2/20～25 3/31～4/4 4/9～14)
東 南光・伊丹東龍・上田溪水・隅田英二・山口華城・勝瀬景流・島田 小園
高田青蓮・長江頌石・吉田素川・薄田玲泉・吉岡景鵬
- 東京書作展選抜作家展 (東京都美術館 2/20～26)
春藤大耿
- 第15回日本刻字展 (東京都美術館 3/7～12)
横田素林・吉田素川
- 第20回書壇全貌展 (東京セントラル美術館 3/12～17)
東 南光・上田溪水
- 第12回日本篆刻展 (大阪市美術館 5/14～19)
横田素林・吉田素川
- 第19回かな書展 (東京日本橋高島屋 5/16～21)
讃岐泰泉・藤若美風
- 第18回日本書道学院展 (東京都立貿易センター 3/16～18)
勝瀬景流・吉岡景鵬・薄田玲泉・赤川景舟
- 高野山競書大会 (高野山金剛峯寺 5/25)
久保幽香
- 第40回東方書道展 (東京都美術館 7/1～6)
東 南光・上田溪水
- 第48回毎日書道展 (東京都美術館 7/8～17)
荒井天鶴・荒井彭仙・玉城乾香・永松春苑・久保幽香・岸 潮風・多田 清芳
浜 佳香・芝原醒鶴・長原皐鵬
- 第13回産経国際書展 (東京サンシャイン文化会館 7/27～8/4)

讃岐泰泉・藤若美風・増田愛子

- 日本の女流書展（東京セントラル美術館 8／6～11）

久保幽香

- 書と詩歌抒情の世界（函館美術館 9／14～10／20）

久保幽香

- 第13回読売書法展（ふくやま美術館外 10／24～30）

東 南光・上田溪水・能仁華瑤・新居藍州・山口華城・隅田英二・伊丹東龍
西岡五峰・勝瀬景流・吉岡景鷗・薄田玲泉

- 第22回創玄現代書展（東京セントラル美術館 10／29～11／3）

久保幽香

- 第18回東京書作展（東京産業貿易センター台東館 12／8～15）

田中双鶴・近藤静苑・中尾勝子

2. 中央展・県外展に入賞した人々

- 第37回太玄書展（東京都美術館 1／11～17）

（特別賞） 川村春琴

（奨励賞） 大塚秀峰・吉田美重子

（新人賞） 岸田いち子

（推 薦） 木村弘子・椎野春翠

（準推薦） 坂口霞苑・森 恵美・山本恵子・日下明峰

（特 選） 高木泰山・福田雪江・西宮由希子・笹田和美・原田味佳
篠原純子・片岡友恵

（準特選） 小川満子・西野四郎・鶴旨宮子・柚木美代枝・祖出津岐
井上小百合・上松笑子・三崎久子・猪子弘美・畠山政子
松浦静江・原田千苑・折野佳子・釜内深雪・武市恵美
仁木亜矢・杉本智子・森本裕子・大久保和美

- 第50回日本書芸院展2月展（大阪市立美術館 2／20～25）

（一科推薦賞） 椎野春翠・花本清香・細堀恵美・竹内虹舟
鶴澤輝流・益田光舟・細川耀淹・品川淹華

（二科推薦賞） 矢野由美子

- 第50回日本書芸院展4月展（インテックス大阪 3／31～4／4）

（特別賞） 豊浦春光・能仁華瑤・浜田真由里

（特 選） 奥本益世・加藤玲子・河内晨燁・熊代厚子・小松美佳
高田青處・鳩成青嶂・馬淵直枝・松永翠月・美馬潤子

- 第18回日本書道学院展（東京都立貿易センター 3／16～18）

（大 賞） 近藤俊流

- (準大賞) 上田輝芳
- 第15回日本刻字展 (東京都美術館 3/7~12)
 - (特選) 吉田素川
 - 第12回日本篆刻展 (大阪市立美術館 5/14~19)
 - (秀作賞) 吉田素川
 - 第40回東方書道展 (東京都美術館 7/1~6)
 - (褒状) 清水桂月
 - 第48回毎日書道展 (東京都美術館 7/8~17)
 - (秀作賞) 佐原和清・長野恵裕・大西 眸・丸岡香貞・山口幽徑
 - 第13回産経国際書展 (東京サンシャイン会館 7/27~8/4)
 - (無鑑査準大賞) 井川敏子
 - (特別賞) 平野幸子
 - (特選) 西浦千代里・高島美恵子
 - (秀作) 町田哲子・浅野義雄・大久保愛子
 - 第13回読売書法展 (ふくやま美術館外 10/24~30)
 - (特選) 高田青蓮・古川秀蕙・竹内虹舟・東 弥生
 - (秀逸) 福家美鵬・吉田素川・島田小園・高田青處・長江頌石・河野真流
近藤俊流・長谷美峰
 - 第28回日展 (東京都美術館 11/2~24)
 - (特選) 勝瀬景流
 - (入選) 伊丹東龍・美馬幾美賀・宇山泰鳳
 - 第18回東京書作展 (東京都立産業貿易センター台東館 12/8~15)
 - (特別賞) (審査員推挙) 竹田和代・岡島順子・西 直子
 - (特選) 広島章子・草刈明美
 - (優秀賞) 大櫛一峰・椎野春翠・松永裕子・増田恵子・吉本道子・久住律子
魚井香光・井川幸子・稲垣 幸・吉田翠彩・山本愛美・稲井知子
 - (奨励賞) 近藤大谿・岩見亜希子・林野ひとみ・鈴木恵理・富永竹香

3. 個展その他

- 第13回チャリティー田中双鶴書作展 (徳島そごう5階美術画廊 4/30~5/6)
- 第2回宇山泰鳳小品展 (森珈琲店10/1~10/31) (県芸術祭参加)
- 古希記念チャリティー第2回長原阜鵬書作展 (徳島そごう5階美術画廊 11/20~25)
- 第3回大歌会書作展 (県郷土文化会館 7/26~28)
- 第22回克展 (徳島市シビックセンター 8/2~4)

備考 紙面の都合により1.2.の項目については社中行事に関するものは省略させていただきます。

デザイン部

部会長 福井 章

平成7・8年度年間展望

1995年（平成7年）は県美術展が50回を迎えた節目の年であり、多くの場所で県展を含め戦後50年が振り返られた年だった。中でも印象に残るのは'95年1月から12月まで徳島新聞文化面で連載された「戦後50年徳島文化史」である。後に徳島新聞社から単行本として出版されたが、文芸・美術など19分野の中で、デザインもその一部門として徳島県の文化を担ってきたことが、美協デザイン部・理事坂本三千一氏によりまとめられている。徳島のデザイン史として誠に貴重なものだ。

また'96年8月に県美術家協会が発行した「徳島県美術展50年の歩み」も大変な労作で、編集を担当された委員の方々のご苦勞は並み大抵ではなかったと思われる。デザイン部は県展参加25年であるが、記念になる立派なものがあった。記して感謝したい。

'95年の第4回放美展は審査員が浅野昌哉・田中一郎・福井章で、放美賞に川崎孝志、優秀賞に北島豊嗣・濱田直美・木村優子・浅野敦司の各氏を選んだ。川崎孝志氏は無鑑査となった。

第50回記念県美術展。デザイン部は審査員に県展審査2回目になる松永真氏にお願いして行われた。第50回記念大賞は坂野美恵子、特選特別賞（徳島新聞社長賞）は敷島のり子、特選は斎藤剛、準特選は美馬美保、鈴江芳美、小松美香の各氏が受賞。すでに二科会会友でもあった坂野美恵子さんは、これで浅野昌哉・斎藤繁次氏に次いで県展招待作家の仲間入りをした。審査員の評も「県展としてはいい水準で、それが上位になると、さらに飛びはねて高くなる」と非常に良い評価を頂いた。第50回展にふさわしい作品展であったと言える。なお50回展のポスター・図録のデザインはデザイン部理事浅野昌哉氏が制作した。（第51回展もこれを引き継ぎ坂野美恵子さんがデザインを担当した）

デザイン部は9月に25周年記念部会展を近代美術館ギャラリーで、歴代審査員の作品と会員作品を併せた作品展を開催した。12月には恒例の干支〔子〕展をシビックセンター市民ギャラリーで行った。

以上が'95年の美協デザイン部のあらましが、会員ではないが、県内在住のデザイナー板東孝明氏がドイツ、キール市の「キール週間」を演出する国際デザインコンペで優勝し、国際的な場で活躍したことを特記しておきたい。

1996年（平成8年）放美展は審査員に浅野昌哉・坂本三千一・斎藤繁次があたり、放美賞に北島豊嗣、優秀賞に敷島のり子・佐藤亜希子、小泉まい子、美鳥悦子各氏を選んだ。

放美展も第5回目で春の展覧会として、すっかり定着した。

第51回県美術展はイラストレーターとして高名な安西水丸氏が審査員で、特選に新部会員の齋藤志津子（徳島市長賞）・北島豊嗣氏が選ばれ、準特選に的井瑞枝・片山恵津子・天羽恵子、新設された奨励賞は宮岡江理子・新井博之・浅野敦司、各氏が受けた。審査員の評は「予想に反してそこそこ工夫し、技術力や構構力もしっかりした作品が多かった」であった。50回展に比べて応募点数は若干減だったが、記念展の後だけに予想通りと言えた。ただ与えられた会場の広さでは展示が窮屈なので、入選率を下げて展示作品を少なくし、見易いものにすることが必要ではないか、との意見も出た。例年12月から1月にかけて行われてきた干支展は見送りとなり、代わりにデザイン部部会展「環境とデザイン展」を開いた。干支展は'97年に回し総集展とすることになった。

'96年の終わりの12月に前記「戦後50年徳島文化史」の中でデザイン部門の重要な位置を占めていた。ADG（徳島アートデザイナーズグループ）が解散した。現在徳島のプロのデザイナー達が確固とした地位を得ているのも、デザイン勃興期の昭和37年に結成され、活動し続けてきたADGが果たした役割りに負う所が大きい。残念だが、結成35年にして役目を終えたということであろうか。

'95、'96年と美協デザイン部を見てきたが、部会員の個展が多かったのも特徴的であった。敷島のり子・沢口功・齋藤繁次・坂野美恵子・齋藤志津子・北島豊嗣など各氏の個展による活動が相次いだ。新しい流れの萌芽であろうか。

行 事

1995年度（平成7年）

■第50回記念県美術展 第2期 11月20日～26日 県郷土文化会館

審査員 / 松永 真（東京）

出品点数 / 144点 入選 64点

賛助出品 / 坂本三千一

特別出品 / 福井章

招待 / 浅野昌哉 齋藤繁次

特選（記念大賞） / 坂野美恵子

特選（徳島新聞社長賞） / 敷島のり子

■第4回放美展 5月3日～7日 県郷土文化会館

審査員 / 田中一郎 浅野昌哉 福井章

出品点数 / 90点 入選 55点

優秀賞 / 北島豊嗣

■徳島県秀作巡回美術展 10月21日～ 県下各会場

出品者 / 齋藤繁次 坂野美恵子 田中一郎 福井章

1996年度（平成8年）

■第51回県美術展 第1期 11月10日～17日 県郷土文化会館

審査員 / 安西水丸（東京）
出品点数 / 120点 入選 58点
賛助出品 / 坂本三千一
特別出品 / 福井章
招待 / 浅野昌哉 斎藤繁次
無鑑査 / 坂野美恵子
特選（徳島市長賞） / 斎藤志津子
特選 / 北島豊嗣

■第5回放美展 5月8日～12日 県郷土文化会館

審査員 / 浅野昌哉 坂本三千一 斎藤繁次
出品点数 / 82点 入選 42点
放美賞 / 北島豊嗣
優秀賞 / 敷島のり子

■徳島県秀作巡回美術展 10月19日～ 県下各会場

出品者 / 沢口功 敷島のり子 吉本 實

会員消息 <順不同>

■吉本 實

['95] 平成7年

9月 県美術家協会デザイン部会展出品 9/19～24 文化の森近代美術館
9月 第7回デザインドリーム展出品 9/29～10/3 徳島市立木工会館

['96] 平成8年

7月 JAGDA平和と環境のポスター展出品 7/27～8/2 県郷土文化会館
10月 第8回デザインドリーム展出品 10/1～7 徳島市立木工会館
10月 徳島県秀作巡回美術展出品 10/19～11/26 県下各会場
12月 県美術家協会デザイン部会展
「環境とデザイン展」出品 12/20～23 県郷土文化会館

■坂野美恵子

['95] 平成7年

1月 坂野美恵子個展 1/4～31 バーレル（20点出品）
8月 第80回二科展デザイン部門 会友出品

- 10月 第50回記念県美術展デザイン部門
50回記念大賞受賞
- 12月 県美術家協会デザイン部
干支〔子〕展出品 12/20～1/6 シビックセンター市民ギャラリー

〔'96〕平成8年

- 5月 二科会デザイン部〔顔たち〕展1点出品
- 8月 第81回二科展デザイン部門 会友賞受賞
- 10月 第51回県美術展 無鑑査出品
- 12月 NHK出版 心を育てる放送（藤澤千代子著）
表紙デザイン担当
- 12月 県美術家協会デザイン部会展
〔環境とデザイン展〕出品 12/20～23 県郷土文化会館

■敷島のり子

〔'95〕平成7年

- 4月 第4回放美展出品 県郷土文化会館
- 5月 徳島市文化展 徳島県教育長賞受賞 県郷土文化会館
- 7月 世代美術展出品 シビックセンター5Fギャラリー
- 9月 県美術家協会デザイン部
25周年記念部会展出品 文化の森近代美術館
- 9月 徳島デザインドリーム展出品 徳島市立木工会館
- 11月 第50回記念県美術展 特別賞・徳島新聞社長賞受賞 県郷土文化会館
- 12月 移動県美術展出品
- 12月 県美術家協会デザイン部〔干支展〕出品 シビックセンター市民ギャラリー

〔'96〕平成8年

- 1月 県美術家協会デザイン部干支展「子」出品
- 4月 第24回徳島市芸術祭文化展
徳島市教育委員会 教育長賞受賞「ポスター」
- 5月 第5回放美展 優秀賞受賞「HUMAN RIGHTS」
- 9月 敷島のり子イラスト小品展 9/26～10/24 阿部珈琲店
- 10月 敷島のり子グラフィックデザイン展（初個展）
10/9～11 シビックセンター5Fギャラリー
- 11月 第51回県美術展 入選2点

- | | | | |
|-----|-----------------------------|----------|---------|
| 11月 | 徳島県秀作巡回美術展出品 | 10月～11月 | |
| 12月 | 県美術家協会デザイン部会展
「環境とデザイン展」 | 12/20～23 | 県郷土文化会館 |

■沢口 功

['95] 平成7年

- | | | | |
|-----|------------------------|--|---------------------|
| 1月 | タイポグラフィックスティ掲載（東京） | | |
| 2月 | 徳島文化協会チャリティー展出品 | | シビックセンター5Fギャラリー |
| 3月 | ヨンデンプラザ作品展出品 | | 徳島ヨンデンプラザ |
| 3月 | 沢口功デザイン展 | | 隣保館（那賀川町） |
| 6月 | 沢口功第2回デザイン展 | | 阿南市ヨンデンエネルギー
プラザ |
| 9月 | 沢口功第2回イラスト個展 | | 那賀川町立図書館 |
| 9月 | 県美術家協会デザイン部会展出品 | | 文化の森近代美術館 |
| 12月 | 県美術家協会デザイン部
「干支展」出品 | | シビックセンター市民ギャラリー |

['96] 平成8年

- | | | | |
|-----|-------------------------------------|------------|----------------------|
| 5月 | シンボルマーク4点 タイポグラフィーニュー
フェイス掲載（東京） | | |
| 6月 | 沢口功デザインアート展 | 6/1～30 | 喫茶やまなみ（小松島市） |
| 10月 | 徳島県秀作巡回美術展出品 | | |
| 10月 | 徳島デザインドリーム出品 | 10/1～7 | 徳島市立木工会館 |
| 11月 | 沢口功デザインアート展（個展） | | ヨンデンプラザ徳島
2Fギャラリー |
| 11月 | 沢口功デザインアート展 | 11/26～12/1 | エネルギープラザ阿南 |
| 12月 | 県美術家協会デザイン部会展
「環境とデザイン展」 | 12/20～23 | 県郷土文化会館 |

■福井 章

['95] 平成7年

- | | | | |
|-----|--|--|-----------|
| 5月 | 放美展 審査員出品 | | 県郷土文化会館 |
| 6月 | 県美術家協会デザイン部部会長就任 | | |
| 9月 | 美術協会デザイン部25周年記念部会展
— 県展審査員と会員による作品展 — | | 文化の森近代美術館 |
| 10月 | 徳島県秀作巡回美術展出品 | | 県内各地 |

- | | | |
|-----|-----------------------|-----------------|
| 11月 | 第50回記念県美術展 特別出品 | 県郷土文化会館 |
| 12月 | 美術家協会デザイン
干支〔子〕展出品 | シビックセンター市民ギャラリー |

〔'96〕平成8年

- | | | |
|-----|---|------------|
| 4月 | 阿波踊り観光ポスター・パンフレットに
「阿波踊りイラストレーション」採用 | 徳島市観光協会 |
| 5月 | 放美展 運営委員出品 | 県郷土文化会館 |
| 7月 | JAGDA「平和と環境のポスター展」出品 | 県郷土文化会館 |
| 7月 | 阿波踊りイラストレーション10点発表 | 徳島新聞紙上 |
| 11月 | 第51回県美術展 特別出品 | 県郷土文化会館 |
| 11月 | イラストレーション「水のある風景」展 | 阿部珈琲店（徳島市） |
| 12月 | 第25回徳島新聞社会文化事業団チャリティー展出品 | |
| 12月 | 美術家協会デザイン部会展
「環境とデザイン」展出品 | 県郷土文化会館 |

■北島豊嗣

〔'96〕平成8年

- | | | |
|-----|---------------------|---------|
| 4月 | 徳島市芸術文化祭 徳島市文化協会会長賞 | 県郷土文化会館 |
| 5月 | 放美展 放美賞受賞 | 県郷土文化会館 |
| 6月 | 個展 WOMAN | 森珈琲店 |
| 8月 | 個展 C.Gイラスト | 阿部珈琲店 |
| 9月 | バジャーアーティスト 参加 | |
| 9月 | 徳島県芸術祭参加 レタリング クラブ展 | |
| 11月 | 県美術展 特選受賞 | 県郷土文化会館 |

■田中一郎

〔'95〕平成7年

- | | | |
|-----|--|-----------------|
| 5月 | 第4回 放美展出品（審査員） | |
| 9月 | 第3回“燃えさかる西陽”音楽祭in旧青木邸
ポスター・チラシ・チケット・プログラムデザイン | |
| 11月 | 第16回 ヴォーカルグループSoleコンサート
ポスター・チラシ・チケット・プログラムデザイン | |
| 12月 | 第10回 徳島ジュニアコーラス 定期演奏会
チラシ・チケット・プログラムデザイン | |
| 12月 | 県美術家協会デザイン部
「干支展」出品 | シビックセンター市民ギャラリー |

〔'96〕平成8年

- | | | |
|-----|--|---------|
| 5月 | 第5回 放美展出品（運営委員） | |
| 9月 | 第4回“燃えさかる西陽”音楽祭in旧青木邸
ポスター・チラシ・チケット・プログラムデザイン | |
| 10月 | 第17回 ヴォーカルグループSoleコンサート
ポスター・チラシ・チケット・プログラムデザイン | |
| 11月 | 第11回 徳島ジュニアコーラス 定期演奏会
チラシ・チケット・プログラムデザイン | |
| 12月 | 県美術家協会デザイン部会展
「環境とデザイン展」出品 | 県郷土文化会館 |

■坂本三千一

〔'95〕平成7年

- | | | |
|-----|--------------------------------------|-------------|
| 1月 | シビックデザイン懇話会（委員）
第二小鳴門橋・福島橋等景観について | 徳島県土木部都市計画課 |
| 3月 | 徳島市文化展（市展）審査委員 | 徳島市社会教育課 |
| 5月 | 第4回放美展（運営委員） | |
| 6月 | イメージアップ懇話会委員 | 徳島県 |
| 7月 | ふるさとづくり懇話会委員（未来懇） | 藍住町企画課 |
| 8月 | 戦後50年徳島文化史（デザイン） | 徳島新聞朝刊掲載 |
| 9月 | 7年度・徳島県芸術祭審査委員会委員 | 徳島県生活文化国際総室 |
| 9月 | ラジオカー「らじまる」外装デザイン | 四国放送 |
| 11月 | 県展（賛助出品） | |

〔'96〕平成8年

- | | | |
|-----|--------------------------|-------------------|
| 2月 | 藍住町ふるさとづくり懇話会（未来懇）委員 | 藍住町企画課 |
| 4月 | 徳島北高校校章制定委員会委員 | 県教育委員会高校教育課 |
| 5月 | 第5回放美展（審査委員） | |
| 8月 | 阿波踊りイラスト新聞掲載（10作品） | 徳島新聞 |
| 9月 | 8年度・徳島県芸術祭審査委員会委員 | 徳島県生活文化国際総室 |
| 11月 | 第51回展（賛助出品） | |
| 11月 | 全通記念マスコットキャラクター審査会委員 | 徳島県企画調整部 |
| 12月 | 第12回海の祭典テーマ、シンボルマーク審査会委員 | 徳島県土木部港湾空港
整備局 |
| 12月 | 18日・ADG（徳島アートデザイナーズグループ） | 解散 |

■浅野昌哉

〔'95〕平成7年

- | | | |
|-----|----------------------------|-----------------|
| 5月 | 徳島市文化展 出品 | 県郷土文化会館 |
| 5月 | 第4回放美展審査員 出品 | 県郷土文化会館 |
| 9月 | 県美術家協会デザイン部
25周年記念部会展出品 | 文化の森近代美術館 |
| 11月 | 第50回記念県美術展招待 出品 | 県郷土文化会館 |
| 12月 | 県美術家協会デザイン部
千支「子」展 出品 | シビックセンター市民ギャラリー |

〔'96〕平成8年

- | | | |
|-----|-------------------------------|---------|
| 5月 | 第5回放美展審査員 出品 | 県郷土文化会館 |
| 11月 | 第51回県美術展招待 出品 | 県郷土文化会館 |
| 12月 | 県美術家協会デザイン部会展
「環境とデザイン展」出品 | 県郷土文化会館 |

■斎藤志津子

〔'95〕平成7年

- | | | |
|-----|--------------|------------|
| 8月 | アーティストバジャー展 | 松茂町広島 阿波之里 |
| 11月 | 第50回記念県美術展出品 | 県郷土文化会館 |
| 11月 | 斎藤志津子イラスト展 | 川島町喫茶「大都会」 |
| 11月 | 藍美展 | 藍住町福祉センター |

〔'96〕平成8年

- | | | |
|-----|-----------------------------|---------------------|
| 4月 | 斎藤志津子イラスト展 | 川島町喫茶「大都会」 |
| 9月 | 神々の遊ぶ庭「阿波」展 | 文化の森21世紀館
多目的活動室 |
| 11月 | 第51回県美術展 特選 | 県郷土文化会館 |
| 11月 | 藍美展 | 藍住町福祉センター |
| 12月 | 県美術家協会デザイン部会展
「環境とデザイン展」 | 県郷土文化会館 |

■斎藤繁次

〔'95〕平成7年

- | | | |
|----|----------------------------|-------------|
| 6月 | サイトウシゲジ イラスト展 | ドクターエンドウ鳴門店 |
| 8月 | アーティスト バジャー展 | 松茂町広島 阿波之里 |
| 9月 | 県美術家協会デザイン部
25周年記念部会展出品 | 文化の森近代美術館 |

10月	斎藤繁次イラスト展	川島町喫茶「大都会」
11月	藍美展	藍住町福祉センター
11月	第50回記念県美術展招待出品	県郷土文化会館
11月	西日本アヴァンギャルド音楽祭	文化の森21世紀 多目的活動室
12月	斎藤繁次イラスト展	川島町立図書館
12月	県美術家協会デザイン部 千支「子」展出品	シビックセンター市民ギャラリー
[’96] 平成8年		
2月	第5回アーティストバジャー展	松茂町広島 阿波之里
2月	サイトウシゲジ イラスト展	ドクターエンドウ鳴門店
5月	第5回放美展 審査員出品	県郷土文化会館
8月	第6回アーティストバジャー展	松茂町広島 阿波之里
9月	神々の遊ぶ庭・「阿波」展	文化の森21世紀館 多目的活動室
10月	斎藤繁次イラスト展	川島町喫茶「大都会」
11月	第51回県美術展 招待出品	県郷土文化会館
11月	藍美展	藍住町福祉センター
12月	県美術家協会デザイン部会展 「環境とデザイン展」	県郷土文化会館

第50回記念徳島県美術展（県展）公募規定

区分	部門	日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン
搬入日		10月22日	10月21日	10月15日	10月22日	10月22日	10月14日	10月22日
搬入先		徳島県郷土文化会館						
審査日		10月22日	10月22日	10月15日	10月22日	10月22日	10月15日	10月22日
審査員		下田 義 寛	三 栖 石 嗣	奈良原 一 高	古 島 実	島 田 文 雄	尾 崎 邑 鵬 大 井 圭 洞 大 井 錦 亭	松 永 真
出品料		協会員 1点目 2,200円		その他の方 3,300円		2点目からはすべて 1,100円		
出品制限・大きさ・仕上げ		<ul style="list-style-type: none"> ・未公開作品に限る ・点数は制限なし ・小・中学校在学者は出品できない ・20号以上額プチふくめタテ、ヨコ1.9m以内、額・枠張り（ガラス・アクリル不可） ・吊り紐 	<ul style="list-style-type: none"> 同 左 ・20号以上（水彩・版画も20号以上） ・額 ・吊り紐 	<ul style="list-style-type: none"> 同 左 ・組・単写真とも画面サイズ、半切以上（カラーは印画に限る） ・無鑑査以上は画面サイズ半切以上、単写真に限る ・パネル張り・額（組写真は1パネル（90×180cm以内）に全作品をレイアウトしたもの又は全作品を固定したもの） 	<ul style="list-style-type: none"> 同 左 ・高さ2m×幅1.5m×奥行1.5m重量200kg以内 ・材料は自由、展示可能なものに限る 	<ul style="list-style-type: none"> 同 左 ・大きさ制限なし（ただし、平面作品はタテ2.2×ヨコ1.8m以内） ・木・竹・金工・陶磁・漆・染色・織物・人形・ガラス等 ・展示できる用具をつける 	<ul style="list-style-type: none"> 同 左 ・半切又は全紙横½以上、仕上がり面積が1.47㎡（16平方尺）以内、縦・横自由 ・巻子本・帖（40×300cm以内）（例） 61cm（2尺）×242cm（8尺）枠張 79cm（2.6尺）×181cm（6尺）枠張 91cm（3尺）×161cm（5.3尺）枠張 121cm（4尺）×121cm（4尺）枠張 ・半切・全紙½・聯落まで額装 ・アクリル入りでもよい ・無鑑査以上は半切以内 ・部門は漢字・仮名・近代詩文・前衛とする 	<ul style="list-style-type: none"> 同 左 ・B1パネル横728×縦1,030ミリ ・厚さ5～75ミリ程度 ・重さ5kg以内 ・課題は自由（実在の商品名・会社名等は除く） ・パネル張り ・吊り紐
入賞		記念大賞 1点 特別賞 1点 特選 3点 準特選 3点 入選 若干点	記念大賞 1点 特別賞 1点 特選 4点 準特選 5点 入選 若干点	記念大賞 1点 特別賞 1点 特選 5点 準特選 8点 入選 若干点	記念大賞 1点 特別賞 1点 特選 2点 準特選 2点 入選 若干点	記念大賞 1点 特別賞 1点 特選 3点 準特選 3点 入選 若干点	記念大賞 1点 特別賞 1点 特選 7点 準特選 13点 入選 若干点	記念大賞 1点 特別賞 1点 特選 3点 準特選 3点 入選 若干点
（各部門とも記念大賞・特別賞は特選の内数）								
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・落選作品は審査終了後、各部門で決められた日時までに搬出すること。 ・展示作品は一期は11月18日（土）、二期は11月26日（日）の午後5時から午後6時までに搬出すること。 ・所定の期日までに搬出しえない場合は主催者において処分する。 						

第51回徳島県美術展（県展）公募規定

区分	部門	日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン
搬入日		10月13日	10月12日	10月20日	10月13日	10月13日	10月19日	10月13日
搬入先		徳島県郷土文化会館						
審査日		10月13日	10月13日	10月20日	10月13日	10月13日	10月20日	10月13日
審査員		工藤甲人	中根寛	斉藤康一	恩田静子	中井貞次	栗原蘆水 榎倉香扇 種谷郵舟	安西水丸
出品料		協会員 1点目 2,500円		その他の方 3,500円		2点目からはすべて 1,500円		
出品制限・大きさ・仕上げ		<ul style="list-style-type: none"> 未公開作品に限る 点数は制限なし 小・中学校在学者は出品できない 20号以上額プチふくめタテ、ヨコ1.9m以内、額・枠張り（ガラス・アクリル不可） 吊り紐 	<p>同左</p> <ul style="list-style-type: none"> 20号以上（水彩・版画も20号以上） 額 吊り紐 	<p>同左</p> <ul style="list-style-type: none"> 組・単写真とも画面サイズ、半切以上（カラーは印画に限る） 無鑑査以上は画面サイズ半切以上、単写真に限る パネル張り・額（組写真は1パネル（90×180cm以内）に全作品をレイアウトしたもの又は全作品を固定したもの） 	<p>同左</p> <ul style="list-style-type: none"> 高さ2m×幅1.5m×奥行1.5m重量200kg以内 材料は自由、展示可能なものに限る 	<p>同左</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きさ制限なし（ただし、平面作品はタテ2.2×ヨコ1.8m以内） 木・竹・金工・陶磁・漆・染色・織物・人形・ガラス等 展示できる用具をつける 	<p>同左</p> <ul style="list-style-type: none"> 半切又は全紙横$\frac{1}{2}$以上、仕上がり面積が1.47㎡（16平方尺）以内、縦・横自由 卷子本・帖（40×300cm以内）（例） 61cm（2尺）×242cm（8尺）枠張 79cm（2.6尺）×181cm（6尺）枠張 91cm（3尺）×161cm（5.3尺）枠張 121cm（4尺）×121cm（4尺）枠張 半切・全紙$\frac{1}{2}$・聯落まで額装アクリル入りでもよい 無鑑査以上は半切以内 部門は漢字・仮名・近代詩文・前衛とする 	<p>同左</p> <ul style="list-style-type: none"> B1パネル横728×縦1,030ミリ 厚さ5～75ミリ程度 重さ5kg以内 課題は自由（実在の商品名・会社名等は除く） パネル張り 吊り紐
入賞		特別賞 1点 特選 2点 準特選 3点 入選 若干点	特別賞 1点 特選 3点 準特選 5点 入選 若干点	特別賞 1点 特選 4点 準特選 8点 入選 若干点	特別賞 1点 特選 1点 準特選 2点 入選 若干点	特別賞 1点 特選 2点 準特選 3点 入選 若干点	特別賞 1点 特選 8点 準特選 13点 入選 若干点	特別賞 1点 特選 2点 準特選 3点 入選 若干点
（各部門とも特別賞は特選の内数）								
その他		<ul style="list-style-type: none"> 落選作品は審査終了後、各部門で決められた日時までに搬出すること。 展示作品は一期は11月17日（日）、二期は11月26日（火）の午後5時から午後6時までに搬出すること。 所定の期日までに搬出しない場合は主催者において処分する。 						

第50回記念県美術展

特別・招待・無鑑査・賛助出品者名

☆ 日 本 画

(特別出品)	荻野行夫	長尾弘子	田淵冬湖	岡英彦	土井洋子	北島節子	篠原三叢	長谷寿	村中土	上川方	凌	雪健	るみ子	橋本正弘	矢野秋溪	西野和男	
(招待)																	
(無鑑査)																	
(賛助出品)									森	葛	苑	進		高	田	瑞	雪
									吉	崎				釣	島	冬	樹

☆ 洋 画

(特別出品)	佐野比呂志	清水野水	高橋	服部	浅田	大河	板岡	永川	山原	隆康	二孝	巖	征	二節	多美	志	郎	務	長楠	井瀬	公	雄
(招待)								立岡	岩本	康	孝	本	征	巖	美	志	郎	務	露	口	敏	等
(賛助出品)								天岡	野	征	二節	野	多美	巖	子	郎	務	務	長	尾	史	幸
								黒	崎	多	郎	崎	志	田	郎	務	務	務	今	木	雅	久
								榎	田	志	郎	田		藤	郎	務	務	務	柏	田	仁	男
														松	川	川	川	川	後	川	仁	一
																						寛

☆ 写 真

(特別出品)	福島正仁	増田清次	西武征二	酒内亨	森井博賢	前浦芳晴	多中野建	井勝	上西	光雅	雄夫	雄義	祐治	木藤	田井	英	之
(招待)								笹	田	敏	夫	義	治	櫛	井	照	梵
(無鑑査)								三	好	和	雄	義	治	上	野	敏	魏
								橋	本	圭	義	祐	安	長	敏	剛	彦
								荒	井	賢	治	治	林				
								古	井	謙	吉						

☆ 彫 刻

(特別出品)	河崎良行	佐藤俊隆	井下俊作	上田久利	大津	文	昭	濱	口	惠
(招待)					松	永	勉			
(賛助出品)										

☆ 美術工芸

(特別出品)	山 上	馨					
(招待)	新 居	猛 浩	高 橋	勇	森 昌	男	
	森 下	介 恵	七 条	猪 三	多 智	花 佐	代 子
	松 橋	雄 介	松 下	慶 一	森 賢	一	
(無鑑査)	犬 伏	絢 典					
(賛助出品)	村 上	正 典	中 川	存			

☆ 書 道

(特別出品)	荒 井	天 鶴	田 中	双 鶴	田 中	栢 翠
(招待)	新 久	藍 幽	讚 高	岐 泰	宮 井	青 雨
	長 原	臯 臯	渡 原	清 草	西 田	南 霄
	成 尾	莊 醒	前 川	古 大	原 清	桂 潮
	芝 美	幾 美	春 川	虹 溪	岸 三	好 溪
	中 近	史 静	上 荒	彭 美	日 竹	和 鳴
	岡 山	順 華	藤 佐	小 霄	武 富	鳴 景
	中 永	勝 春	島 坂	清 晃	吉 隅	英
	浜 松	佳 清	多 高			
(無鑑査)	王 東	乾 南				
(賛助出品)						

☆ デザイン

(特別)	福 井	章		
(招待)	浅 野	昌 哉	斎 藤	繁 次
(賛助出品)	坂 本	三 千 一		

第 51 回 県 美 術 展

特 別 ・ 招 待 ・ 無 鑑 査 ・ 賛 助 出 品 者 名

☆ 日 本 画

(招 待)	村 上 凌 雪	橋 本 正 弘	中 川 健
	岡 英 彦	土 方 るみ子	西 野 和 男
	土 井 洋 子		
(賛助出品)	篠 原 三 叢	森 葛 苑	高 田 瑞 雪
	長 谷 壽	吉 崎 進	釣 島 冬 樹

☆ 洋 画

(特別出品)	佐 野 比呂志	永 山 隆 二	長 井 公 雄
(招 待)	清 水 亟 愼	川 原 康 孝	楠 瀬 等
	高 橋 敬	立 岩 巖	露 口 敏 幸
	服 部 裕	岡 本 征 二	
(賛助出品)	浅 田 二 郎	天 野 節	大 神 良 代
	柏 木 雅 雄	河 田 安 市	黒 崎 志 郎
	後藤田 仁 一	榭 田 務	松 川 寛
	岡 田 守		

☆ 写 真

(特別出品)	福 島 正 仁		
(招 待)	増 田 清 次	井 上 光 雄	木 田 英 之
	西 條 征 二	勝 西 雅 夫	藤 井 英 之
	武 内 亨	笹 田 敏 雄	藤 井 英 之
	酒 井 博 司	三 好 和 義	上 野 照 文
	森 賢 一	橋 本 圭 祐	安 長 剛 彦
	前 浦 芳 久	荒 井 賢 治	
	多 田 晴 美	古 井 謙 吉	

☆ 彫 刻

(特別出品)	河 崎 良 行		
(招 待)	佐 藤 隆 作	大 津 文 昭	濱 口 恵 勉
	井 下 俊 作	鎌 田 邦 宏	松 永 勉
(賛助出品)	長 岡 強		

☆ 美術工芸

(特別出品)	山 上 馨			
(招待)	新 居 猛	高 橋 勇	森 昌 男	
	多智花 佐代子	松 下 雄 介	松 下 慶 一	
	森 賢 一	橋 中 川		
(贊助出品)	村 上 正 典			

☆ 書 道

(特別出品)	荒 井 天 鶴	田 中 双 鶴	田 中 栢 翠
(招待)	新 居 藍 州	讚 岐 泰 泉	宮 井 青 雨
	久 保 幽 香	高 原 清 泉	西 田 南 龍
	長 原 臯 鵬	渡 邊 草 石	原 田 霄 月
	成 尾 莊 秀	前 川 古 大	清 岸 桂 潮
	芝 原 醒 美	春 藤 谷 美	勝 瀨 景 順
	美 馬 幾 賀	長 三 日 竹	近 岡 山 中
	中 川 上 虹	武 富 吉	永 坂 松 本
	上 荒 藤 佐 島	隅 玉 能	
	濱 多 薄 東		
(無 鑑 査)			
(贊助出品)			

☆ デザイン

(特別出品)	福 井 章	
(招待)	浅 野 昌 哉	斎 藤 繁 次
(無 鑑 査)	坂 野 美 恵 子	
(贊助出品)	坂 本 三 千 一	

あ と が き

1997年報をおとどけいたします。

徳島県美術展（県展）も平成7年11月に50回記念展を開催し、その50年（回）のまとめとして『徳島県美術展50年の歩み』を平成8年8月に刊行いたしました。

そして、平成8年11月には、県展検討委員会でこれまでの県展に対して検討を加えた結果として奨励賞の設置、県外からの県出身者の出品可能など、新しくとりいれた規定のもとで第51回の県展が開催され、新たな半世紀にむけて第一歩をふみだしました。

『徳島県美術展50年の歩み』を刊行した関係上、'96年報は休刊いたしましたので、この度は'97年報として平成7・8年についての内容とさせていただきます。（一部50年の歩みで掲載したものは省略しました）そして、この年報から版を大きくして少しでも見やすいようにしました。

例年のように、各部長から各部の平成7・8年の動きについてまとめていただきました。表紙作品は美術工芸部の森賢一氏からいただきました。

放美展も第5回を平成8年5月に開催し、春の総合美術展として定着してまいったかと考えております。春の放美展、秋の県展にはどうぞお仲間をさそってご出品くださるようお願いいたします。

会員の皆さん方がご健勝で創作活動に励まれ、多方面でご活躍くださいますとともに、本会が発展いたしますようご協力のほどお願い申し上げます。

平成9年3月

県美術家協会事務局

美 術 年 報 1997年

平成9年3月28日 印刷

平成9年3月29日 発行

編集者 清 水 博

装幀者 森 賢 一

発行人 佐 野 比呂志

印刷所 原田印刷出版株式会社

発行所 徳島県美術家協会

